

黒須小学校校舎便所改修工事

建 築 図		電 気 設 備 図		機 械 設 備 図	
図面No.	図面名称	図面No.	図面名称	図面No.	図面名称
A-00	図面リスト	E-01	電気設備特記仕様書-2	M-01	機械設備特記仕様書-1
A-01	特記仕様書（改修その１）	E-02	幹線設備 1～3階平面図	M-02	機械設備特記仕様書-2
A-02	特記仕様書（改修その２）	E-03	電灯盤図・照明器具姿図	M-03	（改修後）給排水設備系統図
A-03	特記仕様書（改修その３）	E-04	電灯（照明）設備 各階便所平面詳細図	M-04	（改修後）機器表・器具表・凡例
A-04	特記仕様書（改修その４）	E-05	電灯（コンセント）設備 各階便所平面詳細図	M-05	（改修前後）給排水設備 1・2・3階平面図
A-05	特記仕様書（改修その５）	E-06	トイレ呼出設備 1階全体平面図・東側1階平面詳細図	M-06	（改修前）給排水設備 R階平面図
A-06	特記仕様書（改修その６）			M-07	（改修後）給排水設備 便所平面詳細図
A-07	案内図、配置図・仮設計画図			M-08	（改修後）換気設備 便所平面詳細図
A-08	1階平面図 仮設計画図			M-09	（改修前）給排水設備系統図・器具表・機器表
A-09	2階平面図 仮設計画図			M-10	（改修前）給排水設備 便所平面詳細図
A-10	3階平面図 仮設計画図			M-11	（改修前）換気設備 便所平面詳細図
A-11	断面図			M-12	（改修前・後）A棟1階 便所平面詳細図
A-12	改修前 矩計図			M-13	（参考）給排水設備 仮設平面図
A-13	改修後 矩計図				
A-14	改修前 A棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-15	改修後 A棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-16	改修前 C棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-17	改修後 C棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-18	改修前 C棟2階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-19	改修後 C棟2階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-20	改修前 C棟3階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-21	改修後 C棟3階便所平面詳細図・天井伏図・展開図				
A-22	建具キープラン、建具表				
A-23	部分詳細図（1）				
A-24	部分詳細図（2）				

摘 要	設 計 年 月 日	株 式 会 社 金 子 設 計	総 括	設 計	製 図	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
		事 務 所 登 録 一 級 建 築 士 事 務 所 埼玉県知事登録(11)第577号 管 理 建 築 士 一 級 建 築 士 第33287号 木 村 邦 房					黒須小学校校舎便所改修工事	図面リスト	A-00

工 事 名		黒須小学校校舎便所改修工事																
I 工事概要																		
1. 工事場所	入間市春日町二丁目14番60号																	
2. 敷地面積	13.248	m ²																
3. 工事種目 (建物概要)	鉄筋コンクリート造 地上3階 校舎A棟（特別教室棟）：バリアフリートイレ設置 校舎C棟（普通教室棟）：生徒便所改修 仮設トイレ設置																	
4. 工事内容	撤去工事 床：A棟 土間コンクリート及びタイル一部撤去、塩ビシート撤去一部Pタイル撤去 ：B棟 土間コンクリート全面及び一部撤去、塩ビシート及びPタイル撤去 巾木：ビニル巾木及びモルタル巾木一部撤去 壁：コンクリート・C18壁及びモルタルタイル一部撤去、塗装除去 天井：ボード下地共撤去及びボード一部撤去 建具：トイレブース・出入口扉枠共撤去 付帯：流し・スノコ・掃除具掛け棚・手摺・窓名札・壁ガラリ撤去、指示板取り外し、 改修工事 床：土間コンクリート及びモルタル打ちセルフレベリング下地ビニルシート貼り 巾木：ビニルシート巻上げ巾木新設、ビニル巾木新設モルタル一部新設既設共撤替え 壁：既存面不陸補修一部耐水合板及びビニルボード下地化粧ケイ酸カルシウム板張り 天井：軽鉄天井下地組、化粧石膏ボード張り一部平ボード貼り 建具：トイレブース・出入口・壁点検口新設、 付帯：手洗いカウンター・掃除具入・天井点検口・手洗い洋便器小便器手すり ビカリガ72部新設、外壁部分新設、指示板復旧																	
5. 工 期	契約工期 契約日から令和 年 月 日まで 共通仮設費率の算定に用いる工期 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで 現場施工期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで ただし、仮設工事等は施設との協議による																	
6. 工事範囲		※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。																
工事種目		工事項目	便所改修工事															
2 仮設工事	○																	
3 防水改修工事																		
4 外壁改修工事																		
-1 コンクリート打直し 仕上り外壁	○																	
-2 モルタル塗り仕上り外壁																		
-3 タイル張り仕上り外壁																		
-4 塗り仕上り外壁	○																	
-5 外壁用塗膜防水塗り																		
5 建具改修工事	○																	
6 内装改修工事	○																	
7 塗装改修工事	○																	
8 耐震改修工事																		
9 環境配慮改修工事	○																	
10 鉄筋工事	○																	
11 コンクリート工事	○																	
II 建築改修工事仕様																		
(1) 質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。 なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。																		
(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法、検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む。）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。																		
(3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。○印と※の場合は、○のみを適用する。 3) 特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 4) 特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 5) 特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（ ）内は製品名を示す。 7) 本工事に於いて、「環境物品等」の調達に際しては基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）及び「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。 なお、〔G〕印は設計図書で定めのある品目を示す。 8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。																		
項 目		特 記 事 項																
1 一般共通事項	① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和4年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。																
	② 条件明示事項	保険の種類 [1.1.3] ※法定外の労災保険（工事に従事する者（全ての下請負人を含む）の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事的目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間 ※行方（請負代金額500万円以上、10日以内に登録） ・行わない [1.1.4] [1.1.8]																
	③ 工事実績情報の登録	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V= m/s） 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・積雪荷重 H12.531告示第1455号における区域 別表（ ） ・大地震時の非構造部材の変形追随性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200 ・1/150 ・1/120 ・（ ） 図示（ ） 確認箇所（ ）																
4 適用区分		※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主動的に調整する。 [1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。																
5 別契約の関連工事		本工事場所以は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12、13] 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物																
7 工事の記録		埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 [1.2.4] [1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（CD-R又はDVD-Rで1部提出） ・適用しない																
8 電気保安技術者		適用する [1.3.3] [1.3.1]																
9 施工条件		施工時間 [1.3.5] ※作業機関の休日に関する法律（S63第9号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督機関の承認を受けた場合は上記に限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%（8日/28日）以上であること。 年末年始6日間、夏休み3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 （ ） 施工時間以外の施工条件 ・図示による																
10 施工中の安全確保		本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。 [1.3.7]																
11 環境保全等		建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]																
12 発生材の処理等		引渡しを要するもの [1.3.12] [1.1.3] ※無し（全て構外搬出適正処理） ・有り（※図示） 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理搬入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構内に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。																
13 農産物の使用		受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は [1.4.2] 埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県とするよう努める。																
14 環境への配慮		建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び [1.4.1] [1.4.3] 性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。																
15 材料の品質等		※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承認を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承認を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。																
16 石綿含有建材の調査		調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 資与資料（石綿建材有無分析結果 2024年11月19日実施） 無含有材：校舎A棟外壁吹付塗材、水飲み床ビニルシート、 便所床材24角モイロクォイル貼り、便所内壁モルタル金こて 便所天井材フレキシブルボード、P.S内配管保温材、 含有材：廊下床材Pタイル（クリソニール含有） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソニール、 クロソライト、トロンライト 分析方法 <table><thead><tr><th></th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>材料名</td><td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></tbody></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示			定性分析方法	定量分析方法	材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所
	定性分析方法	定量分析方法																
材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																
・	・ 箇所	・ 箇所																
・	・ 箇所	・ 箇所																
・	・ 箇所	・ 箇所																
17 技能士		[1.6.2] [1.3.3] 工事種別 適用技能士 仮設工事 ・とび作業 防水改修工事 ・77																

6	改質アスファルトシート防水	屋内防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 備考 ・P1E ・E-1 保護層 ・設ける ・P2E ・E-2 設けない ・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示 屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類 [3.4.2、3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 [9.2.1～3] 仕上塗料 備考 ・M4AS ・AS-T1 （種類・使用量） ・AS-T2 ※改質アスファルトの製造所の仕様 ・AS-J2 ・設ける ・M3AS ・AS-T3 （種類・使用量） ・POAS ・AS-T4 ※改質アスファルトの製造所の仕様 ・AS-J1 ・設ける ・AS-J3 （改修用ドレ） （POASのみ） ・設けない ・M3AS1 ・AS1-T1 （材質） ・M4AS1 ※JIS A 9521による ・POAS1 発泡ポリウレタン（断熱材） ・AS1-J1 （厚さ） （厚さ） 高日射反射率防水の適用 [9] ※適用する ・適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 断熱装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・種類（ ）個/㎡ 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び断熱工法の断熱装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定 （個） 断熱断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない 新設防水層の種類 [3.5.2～4][表3.5.1～3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 [9] 仕上塗料 備考 ・POS ・S-F1 （種類・使用量） ・S4S ・S-F2 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・S-M1 ・設ける ・S-M2 （改修用ドレ） ・S-M3 ・設けない ・S3S ・S-F1 ・プレキャスト下地 （種類・使用量） ・S-F2 ・プレキャスト下地 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・M4S ・S-M1 （種類・使用量） ・S-M2 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・S-M3 ・設けない ・POS1 ・S1-F1 ・プレキャスト下地 （材質） ・S3S1 ※JIS A 9521による ・S4S1 S1-F2 発泡ポリウレタン（断熱材） ・M4S1 S1-M1 （厚さ） ・S1-M2 （厚さ） ・25mm ・50mm 高日射反射率防水の適用 [9] ※適用する ・適用しない ・S-M2で立上り面を接着工法とする場合 立上り面のシート厚（※1.5mm） ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用 ※非歩行使用 ・軽歩行仕様 ・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム（ ・設置する ・設置しない） 屋内防水 防水層の種類 改修工法 種別 施工箇所 平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ・PIS ・S-C1 ・ ・7mm以下 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合 厚さ（ ）mm 目地割リ（※2㎡程度 最大目地間隔3m程度） 目地の種類（※押し目地） 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 断熱用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面 若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 断熱装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の指定による ・種類（ ）個/㎡ 接着工法の目地処理 ・Pコンクリート下地の場合（ ） Pコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合） 行う（ ・図示 ） ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法	高日射反射率防水の適用 [9] ※適用する ・適用しない 断熱装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による ・種類（ ）個/㎡ ゴムアスファルト系塗膜防水工法 工法 種別 施工箇所 各工程数及び各工程の使用量 保護層 ・PIY ※Y-2 ※主材料の製造所の仕様 ・設ける ・設けない ・P2Y ※Y-2 ※主材料の製造所の仕様 ・設ける ・設けない シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3、7、8] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブローカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類（記号） 内壁 変成シリコン（MS-2） 仕上を行わない施工箇所 ○図示による シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 注 繰り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。 その他の材料等 [3.8.2、3] ※配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフレッドレン（ ） ・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗装の種類） とい受金物及び足金物の材質、形状、取付け間隔 材質 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） 形状 ※市販品 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による ルーフレッドレンの種類及び呼び 種別 呼び 施工箇所 ・ろく屋用型たて形1型 ※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150 ・ろく屋根用模形1型 ※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150 ・バルコニー中継用 ※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100 ・バルコニー用 ※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100 たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフレッドレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填 種類 ・オーブン形式（ ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ） [3.9.2、3] ・板材折曲げ形（ ・オーブン形式 ・シール形式 ） 本体幅：（ ）mm、板厚（※2.0mm ）mm 表面処理 種別 ・ 着色 ・標準色（ ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー） 特注色 既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ） ・行わない 下地修繕の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 ※設置する（ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入） ・設置しない 11 アルミニウム製笠木 種類 ・オーブン形式（ ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ） [3.9.2、3] ・板材折曲げ形（ ・オーブン形式 ・シール形式 ） 本体幅：（ ）mm、板厚（※2.0mm ）mm 表面処理 種別 ・ 着色 ・標準色（ ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー） 特注色 既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ） ・行わない 下地修繕の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 ※設置する（ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入） ・設置しない 12 防水工事施工票 [2.1.2] ・設置しない	2 欠損部改修工法 ※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル [4.1.4][4.2.4、7] 4-2 1 既存モルタル塗りの撤去 ※全面 ・図示の範囲 2 ひび割れ部改修工法 ・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5～8] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) ※自動式低圧エポキシ 0.2以上～0.5未満 低 ※200～300 ・130 樹脂注入工法 0.5以上～1.0以下 中 ※200～300 ・130 ・自動式エポキシ 0.2以上～0.3未満 低 ・50～100 ・40 樹脂注入工法 0.3以上～0.5未満 低 ・100～200 ・70 ・機械式エポキシ 0.5以上～1.0以下 中 ・150～250 ・130 樹脂注入工法 ※エポキシ樹脂 低・低粘度形 中・中粘度形 コア抜き検査 ・行う ・行わない 抜き取り箇所 ※長さ500mmごと及びその端数につき1箇所 ・抜き取り部の補修方法 ※図示 ・Uカットシール材充填工法 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 3 欠損部改修工法 ・充填工法 [4.1.4][4.3.9、10] ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 ・現場調査材料 セメントの種類 ※普通ポルランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメント A種又はフライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 [9] ・フライアッシュセメントB種 [9] 普通ポルランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の値、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・既調合材料（ 既製自地材 ・使用する（形状） 仕上り厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.3.11～16] 工法の種類 アンカービンの本数（本/㎡） 注入口の間隔数（箇所/㎡） 注入量（ml/箇所） 一般部 指定部 一般部 指定部 ・アンカービニング部分 ※16 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ・アンカービニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ・アンカービニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50 ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカービニング部分 ※9 ※16 エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカービニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカービニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカービニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50 充填工法 ・モルタル塗替え工法 アンカービン ※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカービン ※ステンレス鋼（SUS304）呼び径6mm 注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー 広がり速度 長さ変化量（収縮） 引張接着性（材齢28日） 曲げ性能（材齢28日） 吸水性（72時間） 耐久性（劣化曲げ強さ） （cm/s）（%）（N/mm²）（N/mm²）（%）（N/mm²） 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 充填工法 ※3 欠損部改修方法の「充填工法」による モルタル塗替え工法 ※3 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による 4-3 1 既存タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・
---	---------------	---	---	--

⑧

合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接合の程度

板面の品質

防虫処理

間伐材等の適用

壁

※5.5
○12

※1類・2類

広葉樹
※2级以上・1等針葉樹
※C-D以上

・適用する
・適用しない

・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6.6.2、3]

施工箇所

等級

単板の樹種名

接合の程度

板面の品質

厚さ (mm)

防虫処理

強度等級

間伐材等の適用

※2級以上・1級

※1類・特類

※C-D以上

※12

・適用する
・適用しない

・適用する
・適用しない

・

・「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 [6.6.2、3]

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接合の程度

防虫処理

間伐材等の適用

・特類・1類

・適用する
・適用しない

・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6.6.2、3]

施工箇所

化粧びり使用する単板の樹種名

厚さ (mm)

接合の程度

防虫処理の適用

・1類・2類

・適用する
・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6.6.2、3]

施工箇所

厚さ (mm)

接合の程度

単板の樹種名

化粧加工の方法

防虫処理の適用

・1類・2類

・適用する
・適用しない

・パーティクルボード [6.6.2、3]

施工箇所

表裏面の状態による区分

曲げ強さによる区分

耐水性による区分

難燃性による区分

厚さ (mm)

※13タイプ

※P又はM

※15

・JAS 0360 に基づく構造用パネル [6.6.2、3]

施工箇所

寸法 (mm)

・MDF [6.6.2、3]

施工箇所

厚さ (mm)

表裏面の状態による区分

曲げ強さによる区分

接着剤による区分

難燃性による区分

⑨

接合具等

造作材の化粧面の釘打ち

※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF程度)
(形状) 寸法: ()

⑩

接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆ [6.5.3、4]

11

防霉・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防霉、防蟻処理 [6.5.5]

適用部材

保存処理性能区分

・K2 ・ K3 ・ K4

12

内部間仕切軸組及び床組み

間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松
床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松

⑬

窓、出入口その他

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
吊弁枠、水掛りの下枠及び数層 ※ひき ・
その他 ※松又は杉

⑭

軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外 (※25形 ・ 19形) 屋内 (※19形 ・ 25形) 屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ○図示 ・
周切部の幅からの間隔 ○図示 ・
野縁の間隔 ○図示 ・
既存の埋込みインサート ○使用する ・ 使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験 ○行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該部において3箇所 ・ () 箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400mm程度 ・ () N
・ 行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井のふところ高が3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示

⑮

軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類
※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ○図示 ・
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・
出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4] (5) による ・

⑯

ビニル床シート [6.8.2、3]

種類の記号

色柄

厚さ (mm)

備考

※FS (複層ビニル床シート)

○無地
・マーブル柄
・柄物

※2.0
・2.5

接合部の処理

※熱溶接工法

⑰

ビニル床タイル [6.8.2]

種類の記号

色柄

寸法 (mm)

厚さ (mm)

備考

※KT (コボシヨビニル床タイル)

・無地
○柄物

○300×300
・450×450

※2.0
・3.0

・TT (単層ビニル床タイル)

・無地
・柄物

・300×300
・450×450

・2.0

・FT (複層ビニル床タイル)

・無地
・柄物

・300×300
・450×450

・2.0
・2.5
・3.0

・FOA (置敷きビニル床タイル)

・無地
・柄物

・500×500

・4.0

・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)

・無地
・柄物

⑱

特殊機能床材

・帯電防止床シート

性能 ()

厚さ (mm) ()

[6.8.2]

・帯電防止床タイル

種類 ()

性能 ()

寸法 (mm) (×)

厚さ (mm) ()

・視覚障害者用床タイル

視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。

種類 ()

形状 ()

・耐動荷重性床シート

種類 ()

厚さ (mm) ()

○防滑性床シート

種類 ()

厚さ (mm) (2)

・防滑性床タイル

種類 ()

寸法 (mm) (×)

厚さ (mm) ()

⑲

ビニル幅木

材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 ・ 床シート巻上げ (端部の処理は図示による) [6.8.2]
高さ (mm) ※60 ・ 75 ○100
厚さ (mm) ※1.5以上

20

ゴム床タイル

種類 ・ 単層品 ・ 積層品 [6.8.2]
色柄 ()
厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法 (mm) () × ()

21

カーペット敷き [6.9.2、3] [表6.9.1]

織り方

バイル形状

・ウィルトンカーペット

・カットバイル

・ダブルフェスカーペット

・ループバイル

・アキスミンスターカーペット

・カット/ループバイル

色柄 ※模様のない無地 ・
バイル糸の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種)
帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ つづり縫い
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・タフテッドカーペット

バイル形状

色柄長さ (mm)

工法

帯電性

備考

・カットバイル

・5～7

・

・ループバイル

・4～6

・

全面接着工法 ・ 適用する
・グリッパ工法 ・ 適用しない

・カット、ループ併用

下敷き材 (グリッパ工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

・タイルカーペット

バイル形状

種 別

施工箇所

寸法

総厚さ (mm)

備考

※ループバイル

※第一種
・ 第二種

※500× 500

※6.5

・カットバイル

・第一種
・ 第二種

※500× 500

※6.5

・カット、ループ併用

・第一種
・ 第二種

※500× 500

※6.5

22

合成樹脂塗床

種別

施工箇所

工法

仕上げの種類

・厚膜型塗床材 (弾性ポリ樹脂系塗床)

※平滑仕上げ
・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

・厚膜型塗床材 (非弾性樹脂系塗床)

・薄膜流しのべ工法 ・ 平滑仕上げ
・ 厚膜流しのべ工法 ・ 防滑仕上げ
・樹脂砂利工法

・薄膜型塗床材 (非弾性樹脂系塗床)

※平滑仕上げ

・7mm樹脂塗床 (防塵塗料塗り)

※製造所の指定による

表面仕上げ ※平滑
溶剤 ※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

23

フローリング張り [6.11.2～6]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・
単層フローリング (フローリングボード1等)
工法 ・ 釘止め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法
樹種 ※なら ・
間伐材等の適用 ・ する ・ しない
単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種 厚さ (mm)
大きさ ・
間伐材等の適用 ・ する ・ しない
複合フローリング
工法 ・ 釘止め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法
樹種 ※なら
種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種
間伐材等の適用 ・ する ・ しない
接着工法の場合の不随縁和材 ※合成樹脂防汚シート ・
・ 現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・
・ オイルステインの上、ワックス塗り ・
・ 生地のままワックス塗り

24

畳敷き

種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)
下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン 図)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビチレンを発散しないか、
発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 (畳表: ・ C1 ・ C2)

MD F及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3]
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2.(2) (4) (a)～(d)のいずれか ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

木質系セメント板 [6.13.2、3]

種 類

厚さ (mm)、規格等

・ 硬質 (HW)

・ 15 ・ 20 ・ 25

・ 中質 (MM)

・ 15 ・ 20 ・ 25

・ 普通 (NW)

・ 15 ・ 20 ・ 25

木片セメント板 [6.13.2、3]

種 類

厚さ (mm)、規格等

・ 硬質 (HF)

・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21

・ 普通 (NF)

・ 30

繊維強化セメント板

種 類

厚さ (mm)、規格等

・ けい酸カルシウム板

普通ボード0.8FK タイプ 2 (無石線) ・ 6 ・ 8

○化粧けい酸カルシウム板

普通ボード0.8FK タイプ 2 (無石線) ○6 ・ 8
表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系焼付け

火山性ガラス質複層板

種 類

厚さ (mm)、規格等

・ 火山性ガラス質複層板

○ 図示による

繊維板

種 類

厚さ (mm)、規格等

ハードボード (素地)

・ 素地ハードボード (未研磨板 (RN)・研磨板 (RS))
・ 内装用化粧ハードボード (DI)
厚さ ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7

テンパードボード (処理)

・ 素地ハードボード (未研磨板 (RN)・研磨板 (RS))
・ 外装用化粧ハードボード (DE)
厚さ ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
厚さ ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12

・ ミディアムデンシティ
ファイバーボード (MDF) [6.13.2、3]

厚さ ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12

・ インシュレーションボード [6.13.2、3]

A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ ・)
・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

パーティクルボード [6.13.2、3]

種 類

厚さ (mm)、規格等

・ 単板張りパーティクルボード

・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS)
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18

・ 化粧パーティクルボード

・ 単板パーティクル (DV)
・ プラスチックパーティクル (DO)
・ 塗装 (DC)
・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・

吸音材料

種 類

厚さ (mm)、規格等

・ ロックウール化粧吸音板 (DR)

・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・)
・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)
・ 25
・ 25 (ガラスクロス色) ・

せっこうボード製品

種 類

厚さ (mm)、規格等

○せっこうボード (GB-R)

○12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用)
・ 化粧有 (トラバーチン模様)

○化粧せっこうボード (GB-F)

・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)

○強化せっこうボード (GB-L)

・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)

○せっこうラスボード (GB-L)

9.5

○化粧せっこうボード (GB-D)

・ 木目12.5 (不燃) 幅 440mm 程度
模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り
○12.5 (不燃) 9.5 (準不燃)

合板 [6.13.2、3]

種 類

厚さ (mm)、規格等

○普通合板

表面の樹種
生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度 ・)
・ 不透明塗料塗り (※なし合板程度 ・)
板面の品質 ※図示による ・
厚さ (mm) 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない

・ 天然木化粧合板

化粧板の樹種名 ・
厚さ (mm) ※図示による ・
防虫処理 ・ 行う ・ 行わない

・ 特殊加工化粧合板

化粧加工の方法 ・ オパール・プリント・塗装 (タイプ)
表面性能 (タイプ)
厚さ (mm) ※図示による ・
防虫処理 ・ 行う ・ 行わない

化粧板
・ メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による (※1.2 ・)
・ ポリエステル樹脂化粧板

天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※図示による
合板類の取付け ・ A種 ・ B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類 ※仕上表による

突付け工法及び目通し工法のエッジの種類
突付け工法のエッジの種類 ・ ペペルエッジ ○スクエアエッジ
目通し工法のエッジの種類 ・ ペペルエッジ ・ スクエアエッジ
化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・)

26

壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆ [6.14.2、3]

施工箇所

紙

織物

植込

化繊

木質

無機質

その他

防火種別

備考

・

・

・

・

・

・

・

・不燃・準不燃・難燃

・

・

・

・

・

・

・

・不燃・準不燃・難燃

・

・

・

・

・

・

・

・不燃・準不燃・難燃

モルタル及びせっこうプaster一面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・ A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・ A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・ A種

27

モルタル塗り

モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 [6.15.3、5、6]
既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・)
・ 設けない
床目地 ・ 設ける 目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度) ・
種類 ※押し目地
・ 設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理 ※図示による ・

伸縮調整目地の位置 [6.16.2～4]
(※縦、横とも4mm以内ごと ・ 図示 ・)
床タイル
床タイル以外 (・ 図示 ・)

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改訂記仕様書第3章による
試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない
見本焼き ・ 行う (施工箇所: ・)
・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り

タイルの形状・寸法等

施工箇所

種類

形状/寸法 (mm)

再生材料の適用 G

吸水率による区分

うわぐすり

役物

色

耐凍害性

耐滑り性

備考

100×100

・

・

Ⅰ類

Ⅱ類

Ⅲ類

Ⅳ類

Ⅴ類

Ⅵ類

Ⅶ類

Ⅷ類

Ⅸ類

Ⅹ類

Ⅺ類

Ⅻ類

Ⅼ類

Ⅽ類

Ⅾ類

Ⅿ類

ⅰ類

ⅱ類

ⅲ類

ⅳ類

ⅴ類

ⅵ類

ⅶ類

ⅷ類

ⅸ類

ⅹ類

ⅺ類

ⅽ類

ⅾ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

ⅿ類

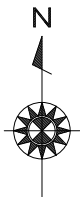
ⅿ類

ⅿ類

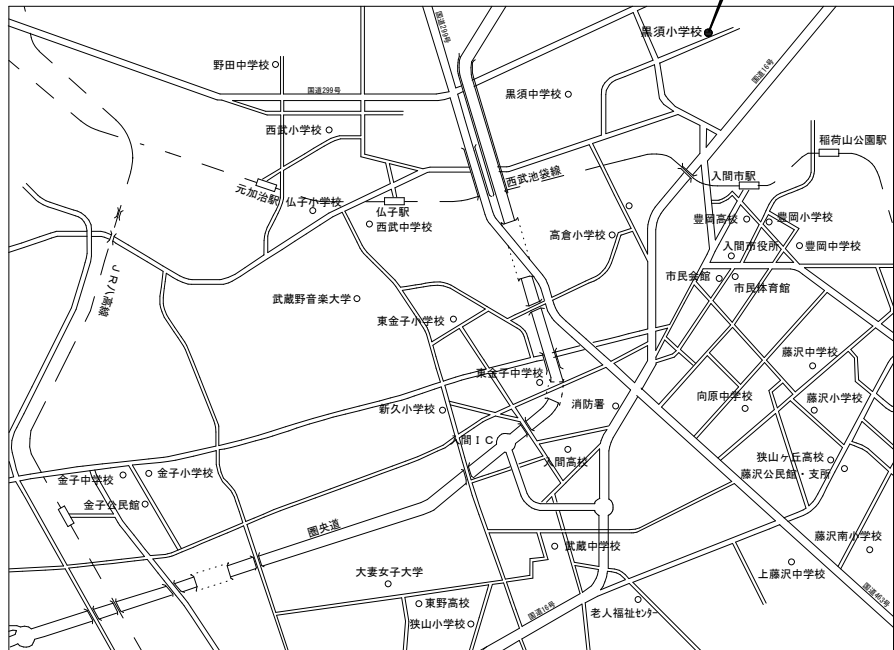
ⅿ類

ⅿ類

10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類 種類(記号)呼び径(mm)備考 ○SD295※D16以下 ・SD345※D19以上 ・ ・ 形状等 (5.2.2) 種類種類(記号)網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)使用部位 ○溶接金網 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位継手方法呼び径(mm) 柱、梁の主筋・ガス圧接・機械式継手※D19以上 耐力壁の鉄筋・重ね継手・ 基礎、耐圧スラブ、土圧壁・重ね継手・ガス圧接 その他の鉄筋()○重ね継手・ 継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・基礎梁主筋の継手位置・図5.2・図5.3・図5.4 ・図示による() 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ウ)) ・図示による() 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等 ・図示による() 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ○図示による() 機械式定着工法 適用場所 ・図示による() 種類 ・摩擦圧接接合・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。 (5.3.5) 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による() 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり適用箇所() ・主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm ・ ⑥ 各部配筋 (5.3.7) ※図示による 7 ガス圧接 (5.4.10) 圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(a)による) ・引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(b)による ・ 8 機械式継手 (5.5.3、5) 適用箇所 ・図示による() ・ H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式・有機グラウト方式 ・ ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする ・ 試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 ・ ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置 ・ 9 溶接継手 (5.5.3、5) 適用箇所 ・図示による() ・ H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による() 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による()	コン ク リ ー ト 工 事	11 ① コンクリートの種類等 (6.2.1) 類別 ※Ⅰ類(JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類(JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) 設計基準強度(N/mm ²)気乾単位容積質量(t/m ³)スラブ適用箇所 ○242.3程度○15又は18・18 ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S = 3 (3月11日～11月10日、月日～月日) S = 6 (11月11日～3月10日、月日～月日) ・ 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 適用箇所(※下記以外全て) ・ 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所(・) ・ ③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・ ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・ 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による() 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・ ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種 別適用箇所 ・A種※図示による() ○B種※図示による() ・C種※図示による() コンクリートの仕上りの平たんさ 種 別適用箇所 ・a種※図示による() ○b種※図示による() ・c種※図示による() 8 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による() ・ ⑨ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ 合板(※12mm・) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所・図示による() ・ ・MGR工法用シートの使用 適用箇所・図示による() ・ 打増し厚さ・20mm 打増し範囲・図示による() ・ スリーブの材種・規格等 ・図示による() ・ 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による()) ・ 10 軽量コンクリート (6.10.1、2) 適用箇所 ・図示による() 種類 ・1種・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スラブ ※21cm・	11 寒中コンクリート (6.11.1、2) 適用期間(月日～月日) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による()、S=() 12 暑中コンクリート (6.12.2) 適用期間(月日～月日) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・図示による()、S=() 13 マスコンクリート (6.13.1、2) 適用箇所 ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(イ)による) ・ スラブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による ・ 14 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18(N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による() 15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ² に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(イ)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を画面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、7メーガ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。					
	② 溶接金網									
	③ 鉄筋の継手									
	④ 鉄筋の定着									
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)									
	⑥ 各部配筋									
	7 ガス圧接									
	8 機械式継手									
	9 溶接継手									
	摘 要			設計年月日	株 式 会 社 金 子 設 計	総 括	設 計	製 図	縮 尺	工 事 名 称
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉黒知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房					黒須小学校校舎便所改修工事	特記仕様書(改修その6)	A-06



工事場所：入間市春日町2-14-60



案内図 S=NO SCALE

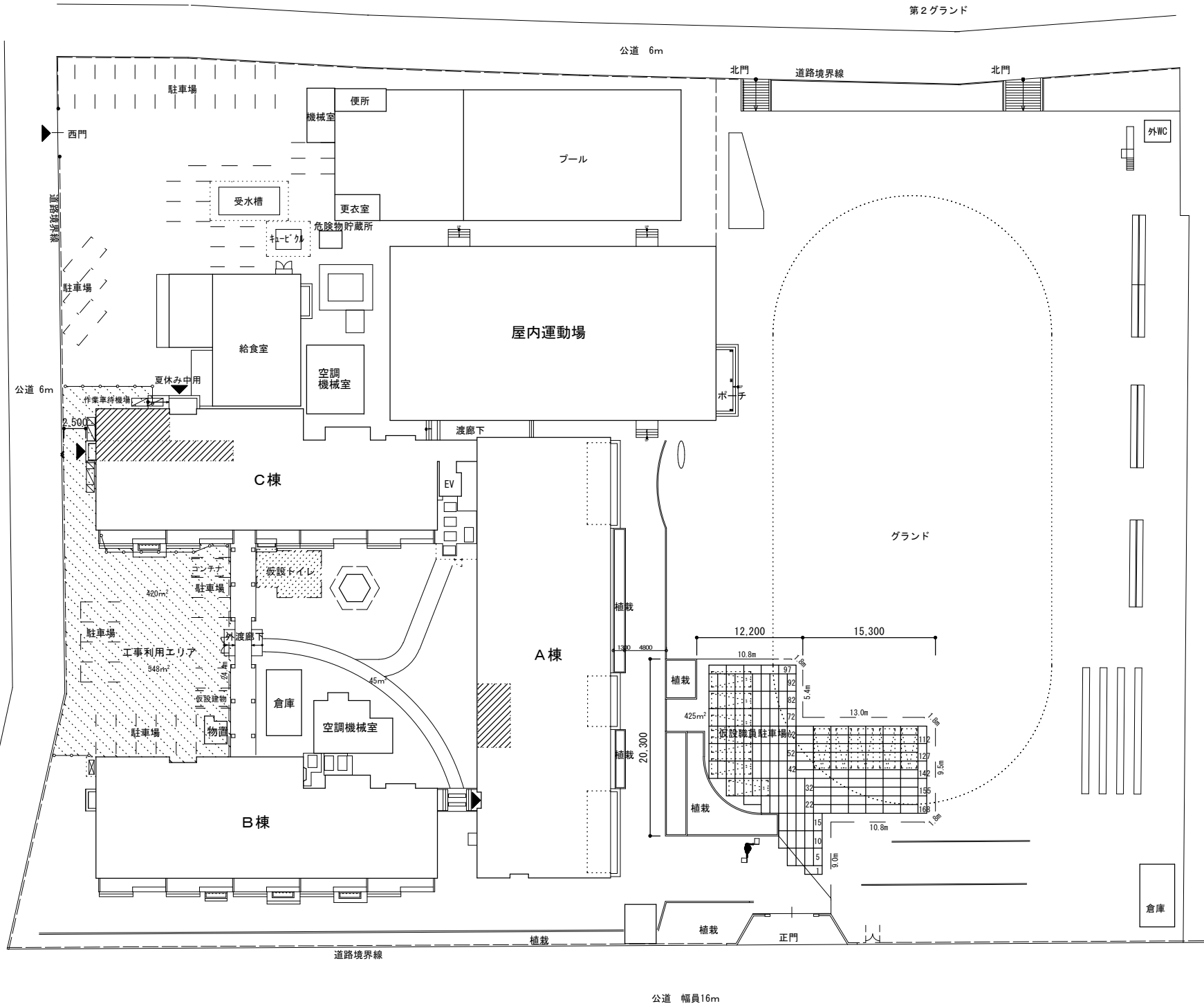
工事凡例

- ▶ 工事出入口・校舎出入口
- ▨ 工事部位分（廊下は床のみ）
- ▧ 駐車場工事使用部分
- ポリエチレン樹脂板敷 W2.0m×W1.0m×t18mm
- - ガードフェンスH1.8m（柱脚固定具共）
- カラーコーン（ペット、バー共）
- 外部足場（解体材搬出・施工用）
- ネット状養生シート張り
- 交通誘導員（適時）

※敷地内は工事完了後整地清掃をする事。

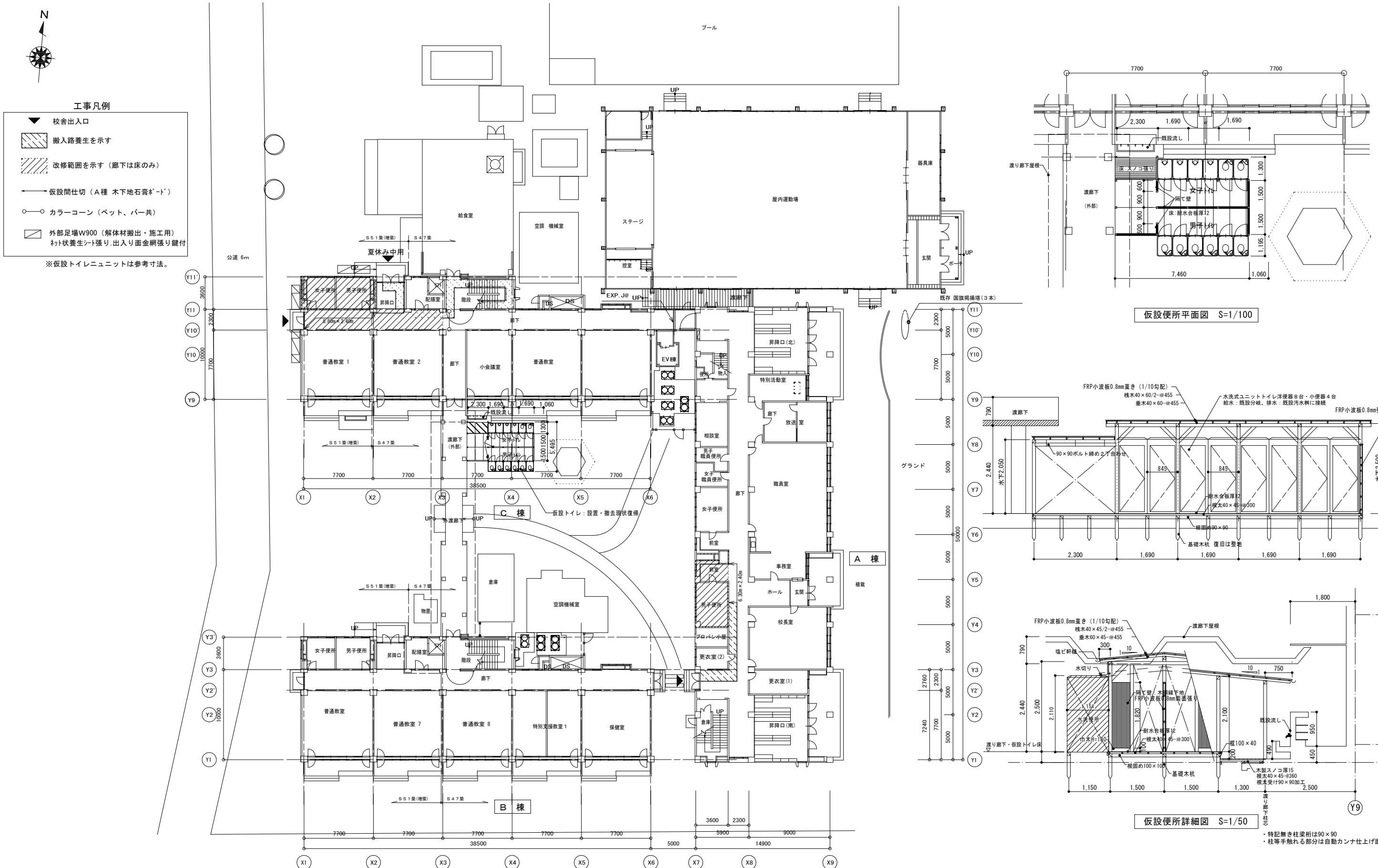


第2グラウンド



配置図・仮設計画図 S=1/300

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括設計製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 管理建築士	一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(11)第577号 第333287号 木村邦房	A1:S=1/300 A3:S=1/150	黒須小学校校舎便所改修工事	案内図、配置図・仮設計画図
							A-07



1階平面図

仮設便所平面図 S=1/100

仮設便所詳細図 S=1/50

・特記無き柱梁桁は90×90
・柱等手触れる部分は自動カンナ仕上げ面取り

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1: S=1/200.50 A3: S=1/400.100	黒須小学校校舎便所改修工事	1階平面図・仮設計画図	A-08



工事凡例

▼

校舎出入口

搬入路養生を示す

改修範囲を示す（廊下は床のみ）

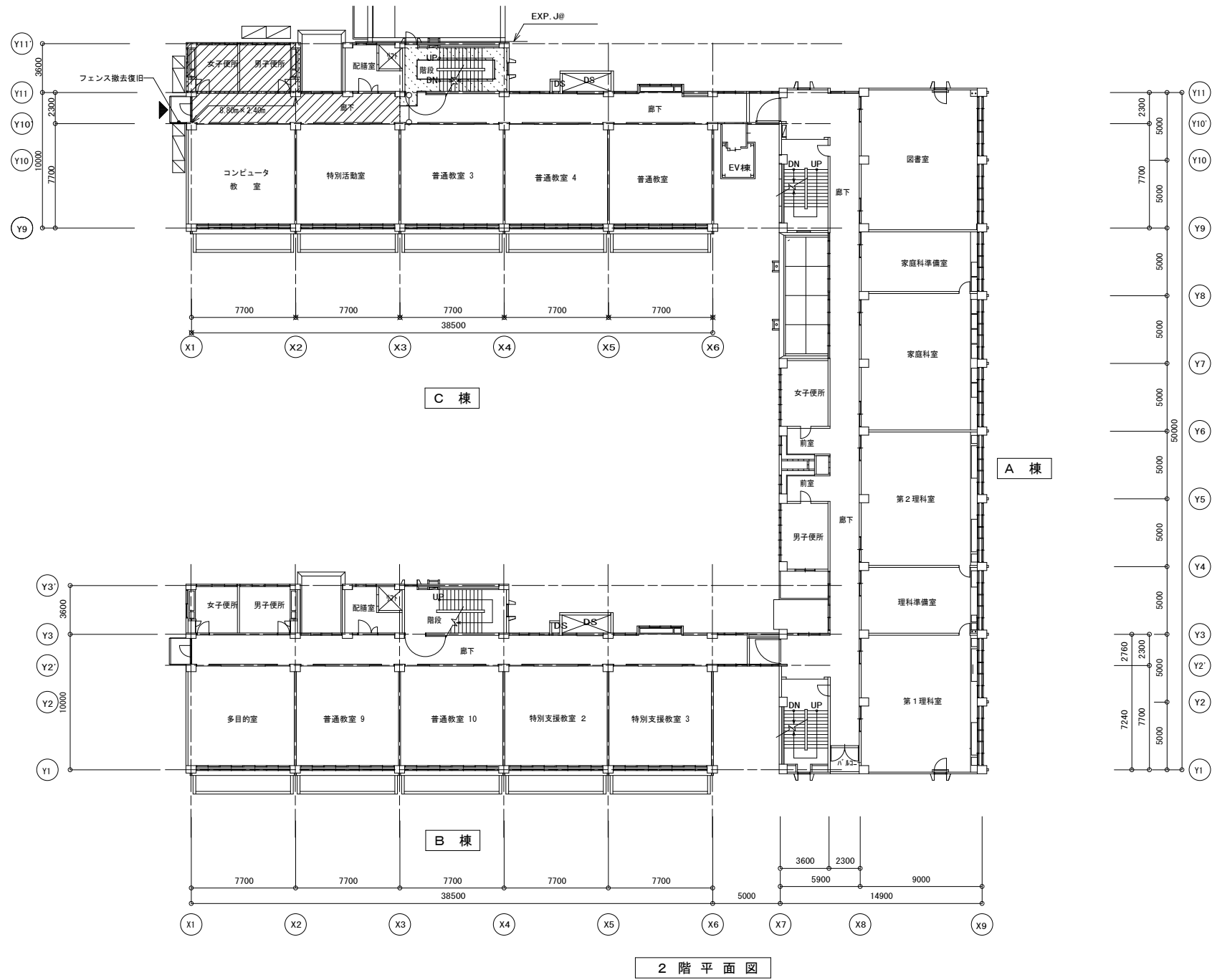
→

仮設間仕切（A種 木下地石膏板・t'）

○

カラーコーン（ベット、パー共）

外部足場W900（解体材搬出・施工用）
ネット状養生シート張り



摘要		設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 管理建築士	一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(11)第577号 第333287号	埼玉県知事登録(11)第577号 第333287号	A1:S=1/200 A3:S=1/400	黒須小学校校舎便所改修工事	2階平面図・仮設計画図	A-09



工事凡例

▼

校舎出入口

搬入路養生を示す

改修範囲を示す（廊下は床のみ）

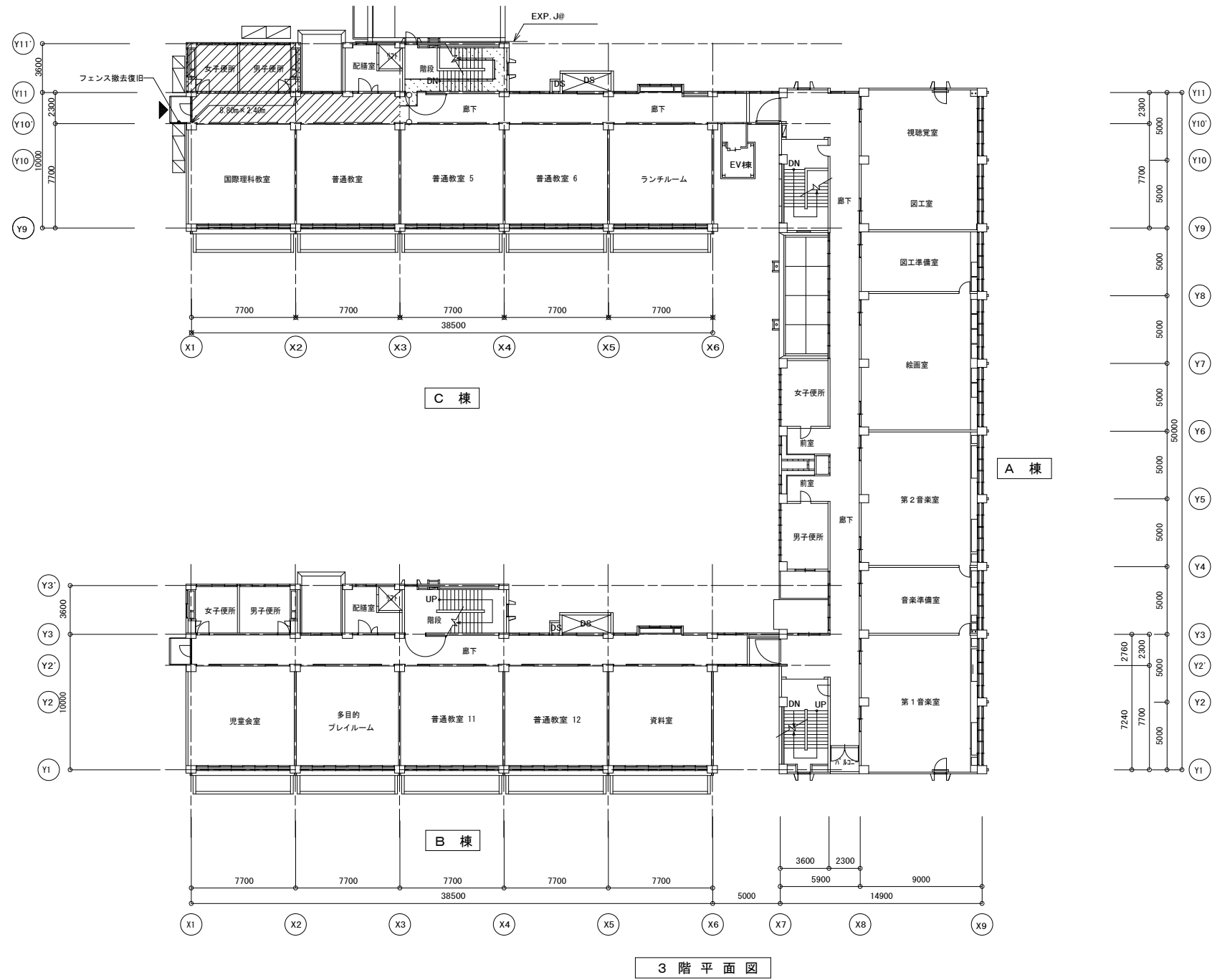
→

仮設間仕切（A種 木下地石膏ボード）

○

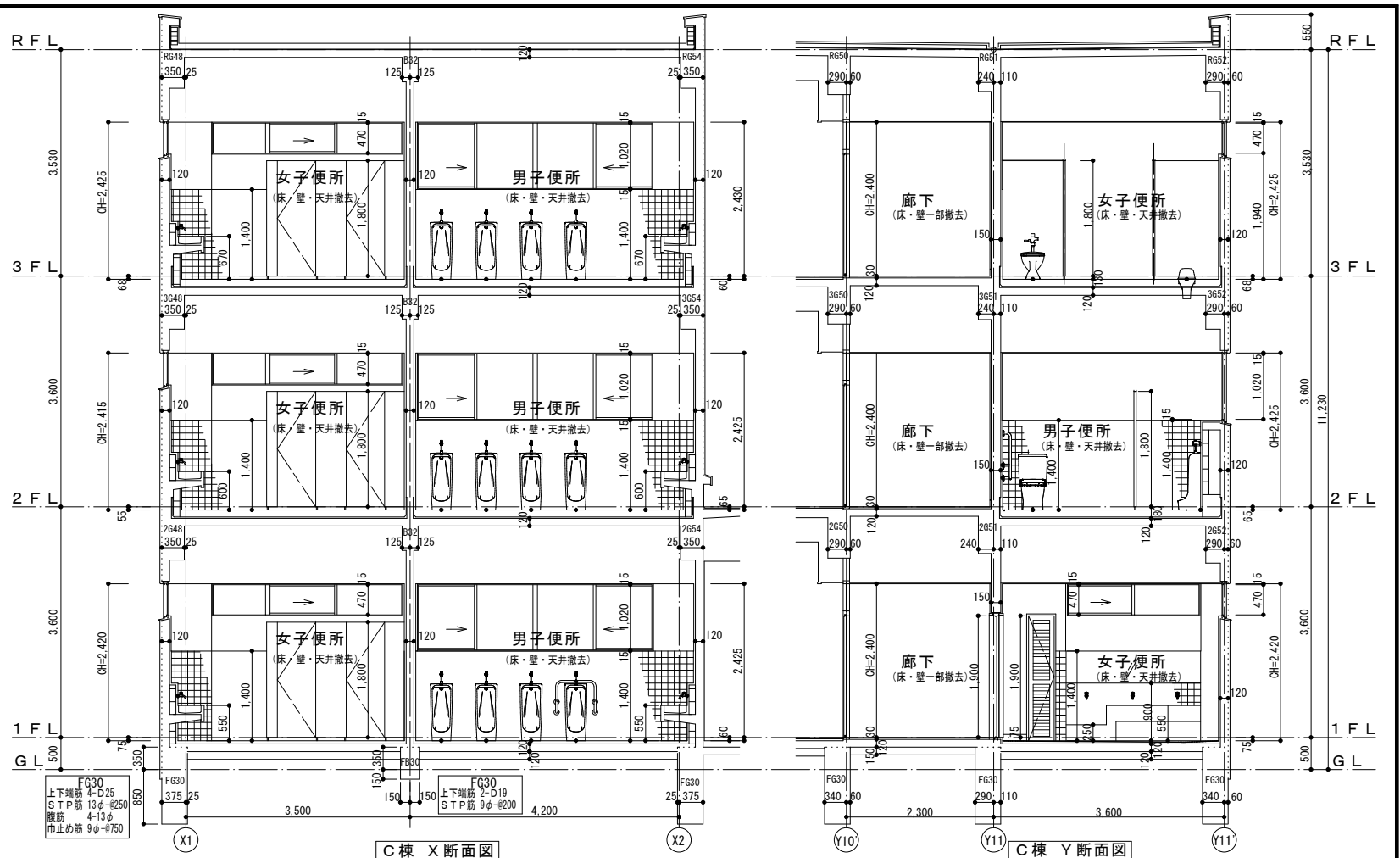
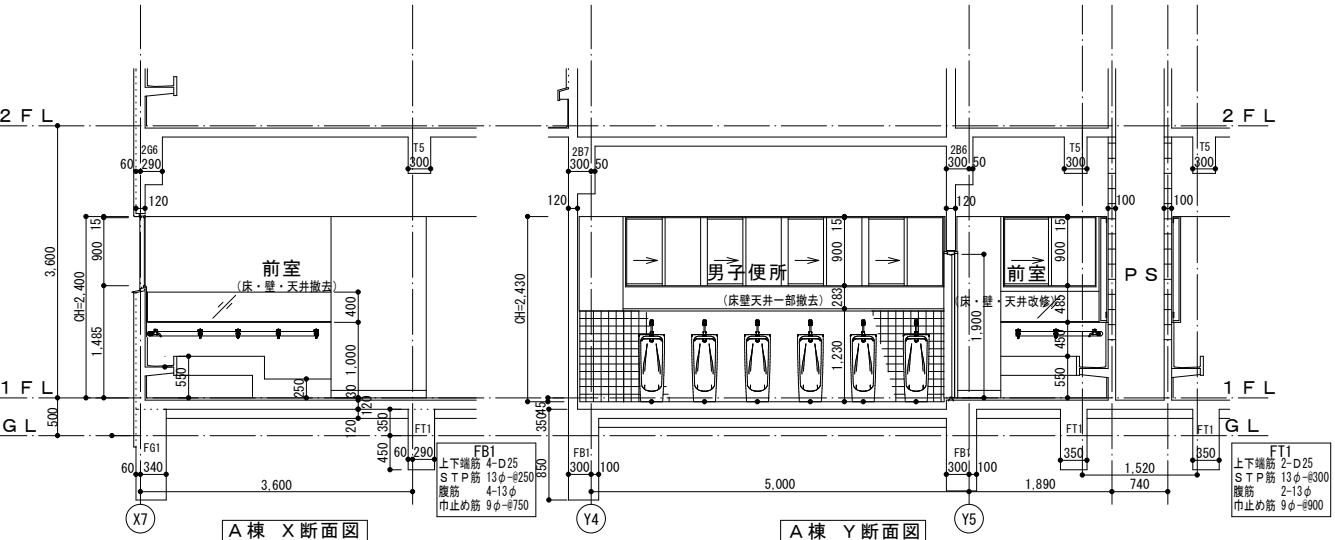
カラーコーン（ベット、パー共）

外部足場W900（解体材搬出・施工用）
ネット状養生シート張り

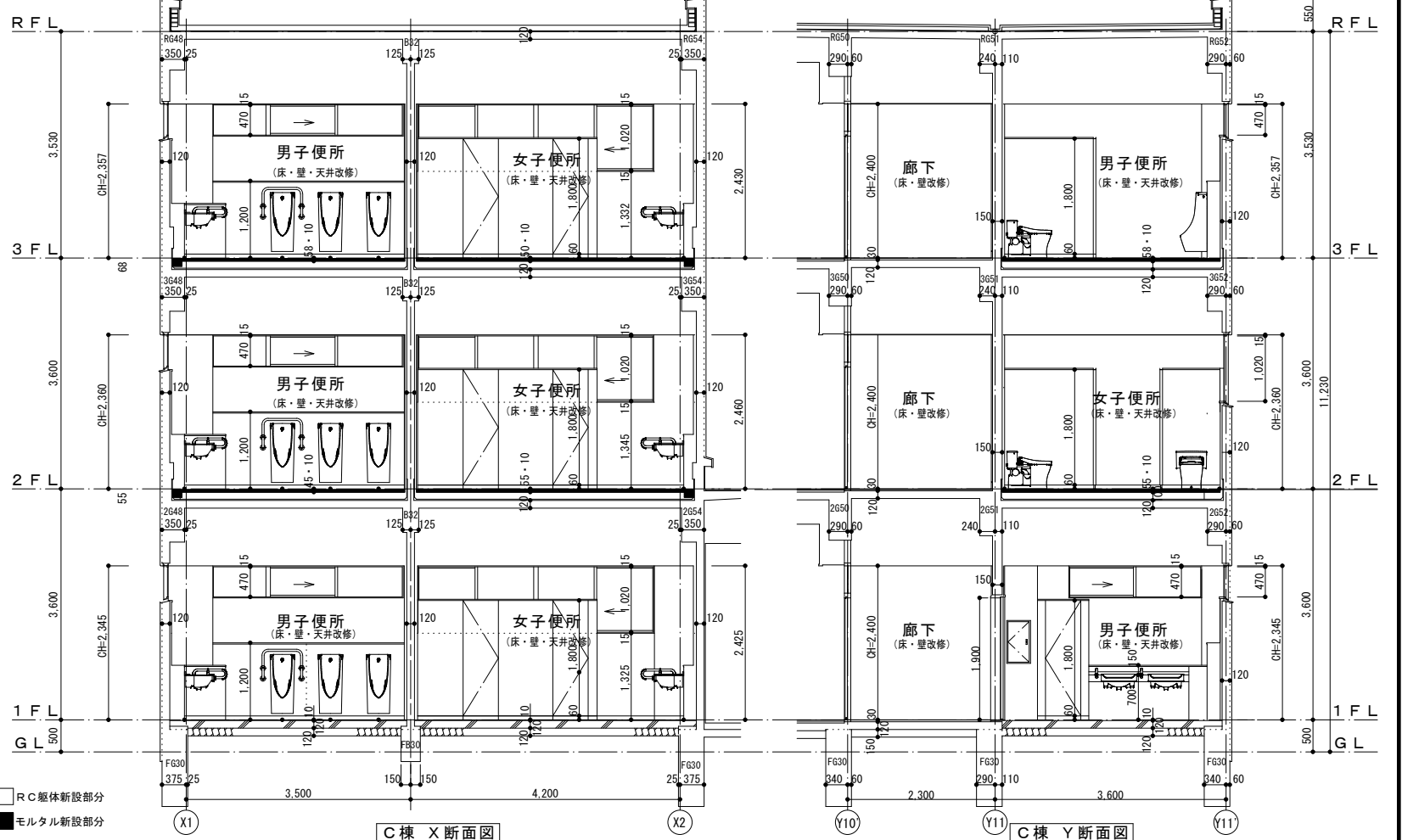
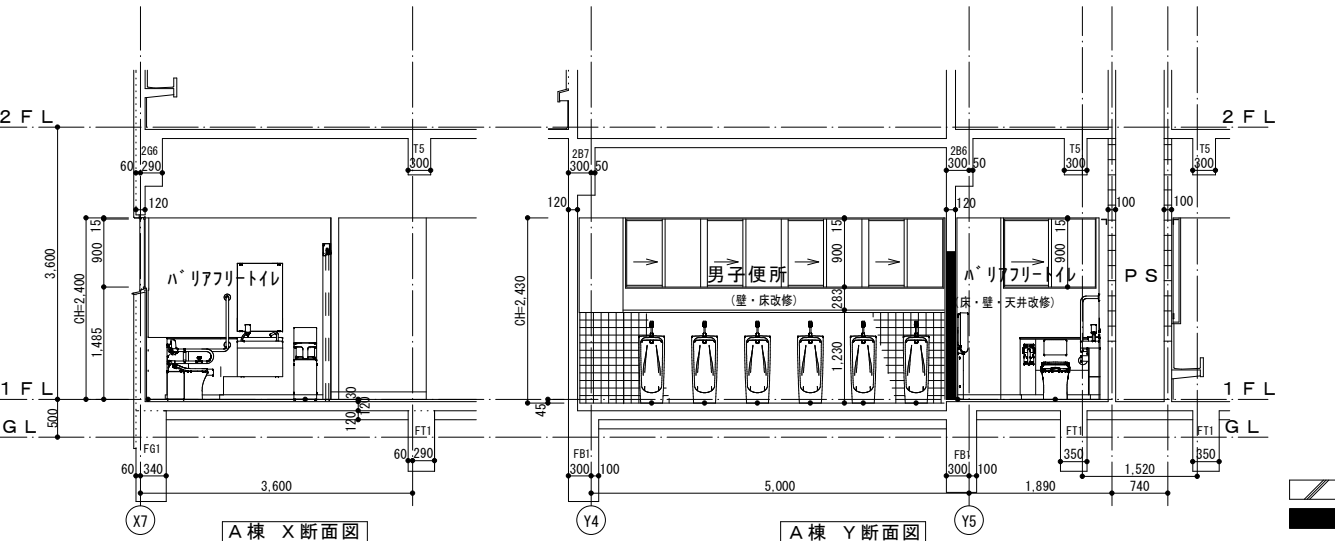


摘要		設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦 房				A1:S=1/200 A3:S=1/400	黒須小学校校舎便所改修工事	3階平面図・仮設計画図	A-10

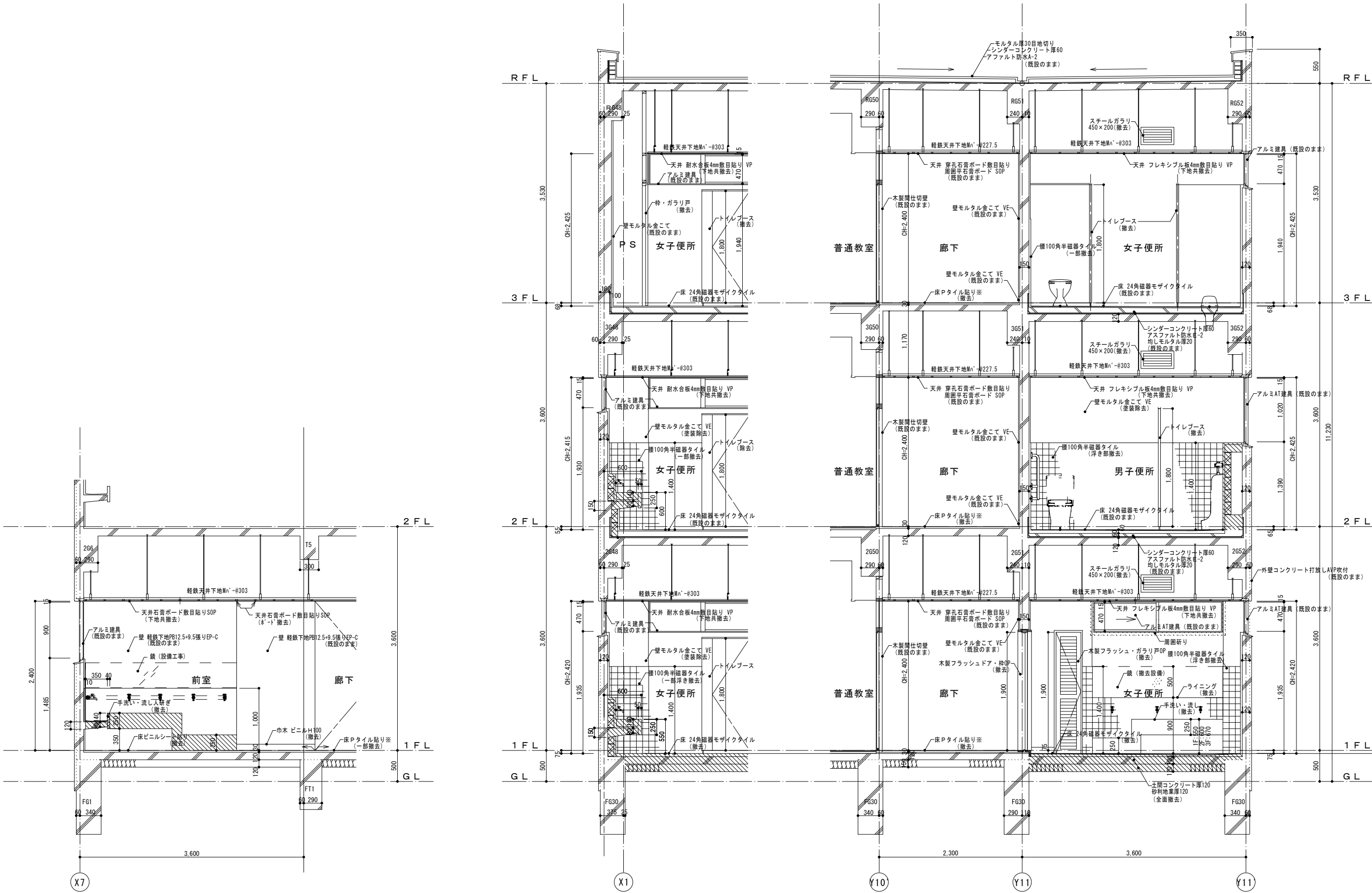
改修前



改修後



摘要		設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦 房				A1: S=1/50 A3: S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	断面図	A-11

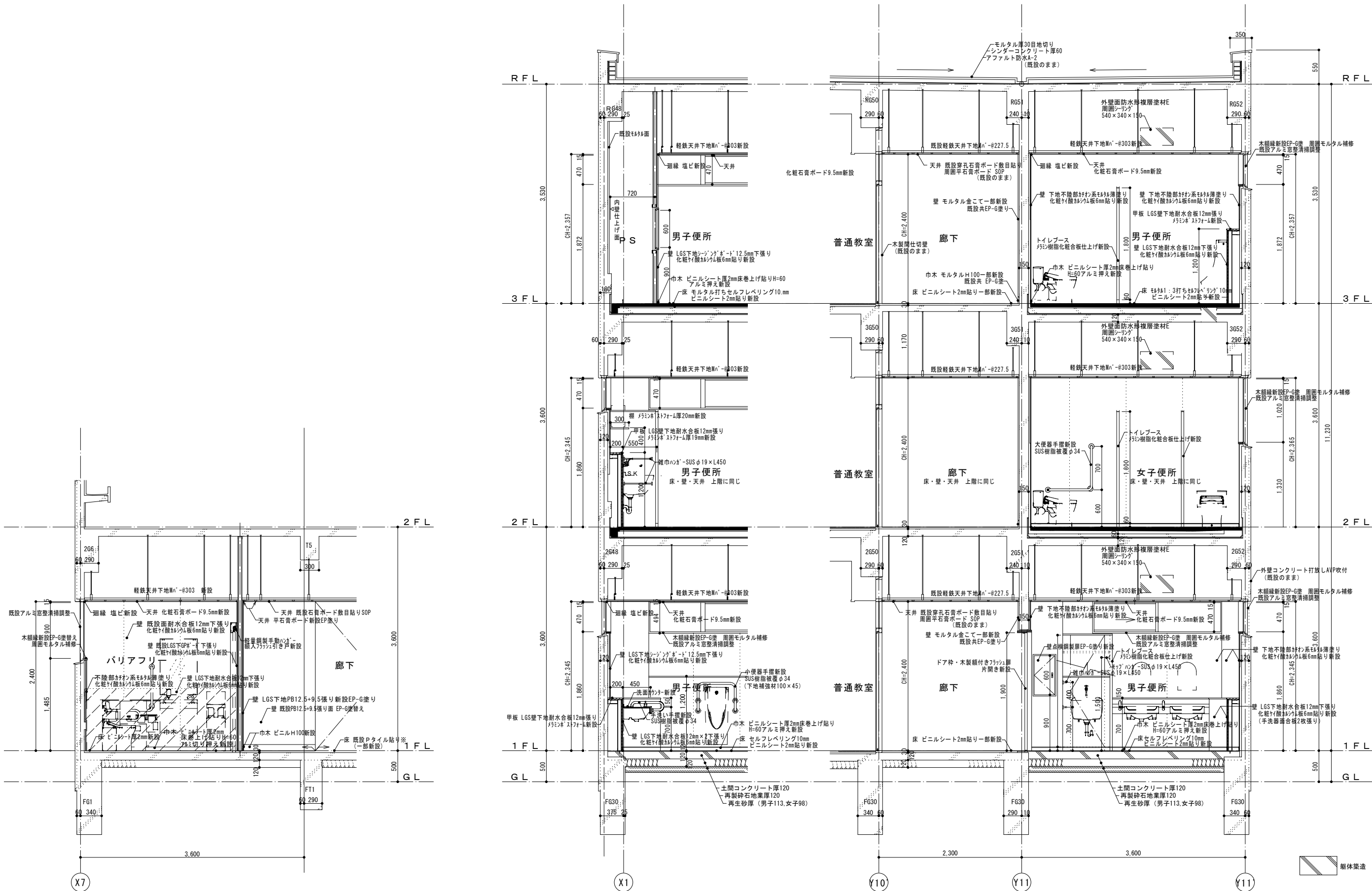


※付きアスベスト含有建材
改修前 A棟矩計図

躯体仕上げ共撤去

※付きアスベスト含有建材
改修前 C棟矩計図

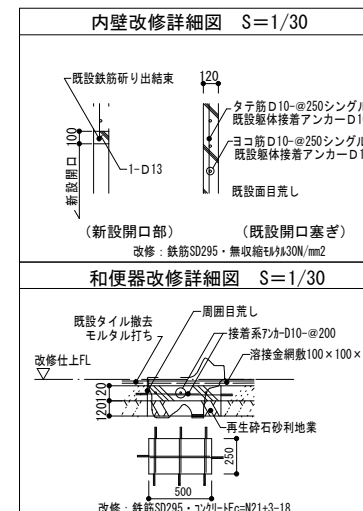
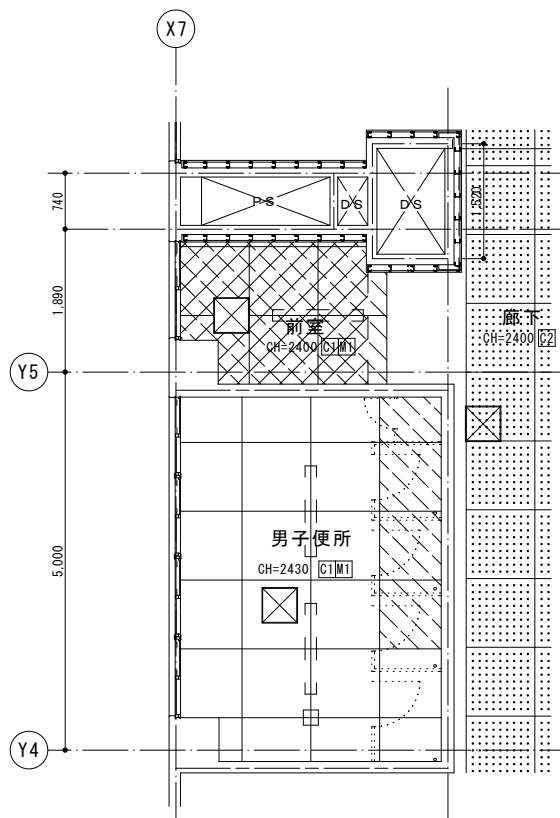
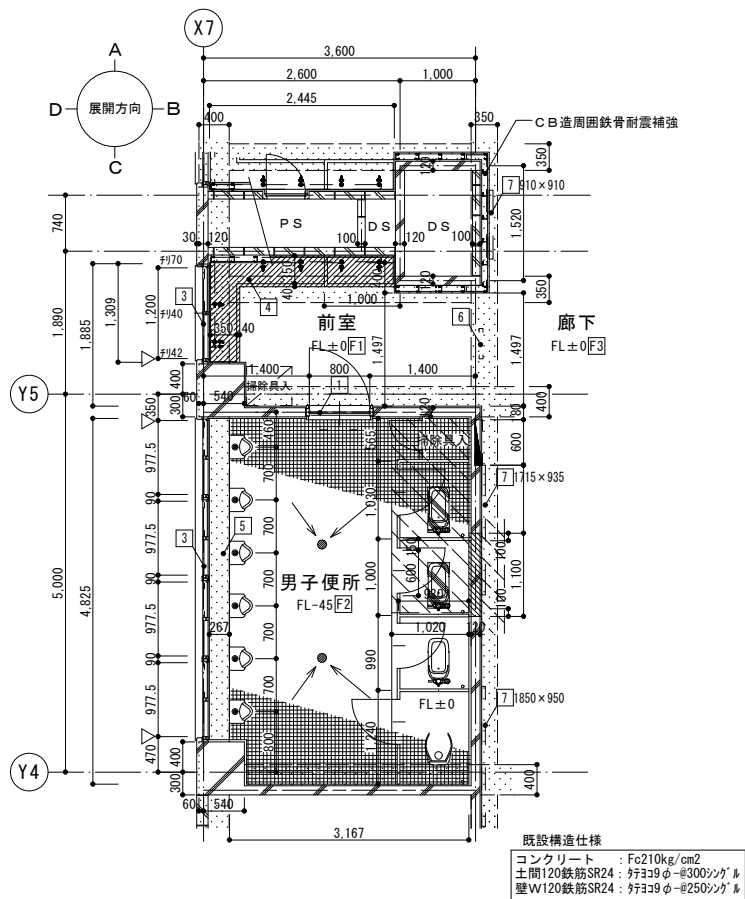
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦 房				A1:S=1/30 A3:S=1/60	黒須小学校校舎便所改修工事	改修前 矩計図	A-12



※付きアスベスト含有建材
改修後 A棟矩計図

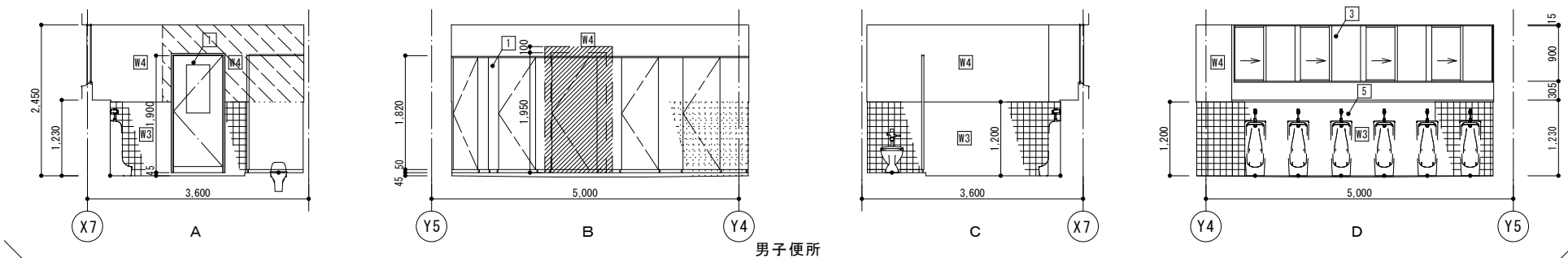
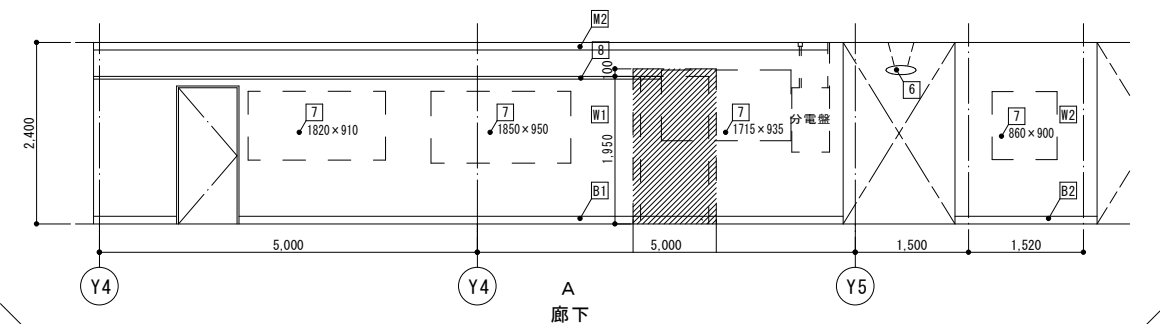
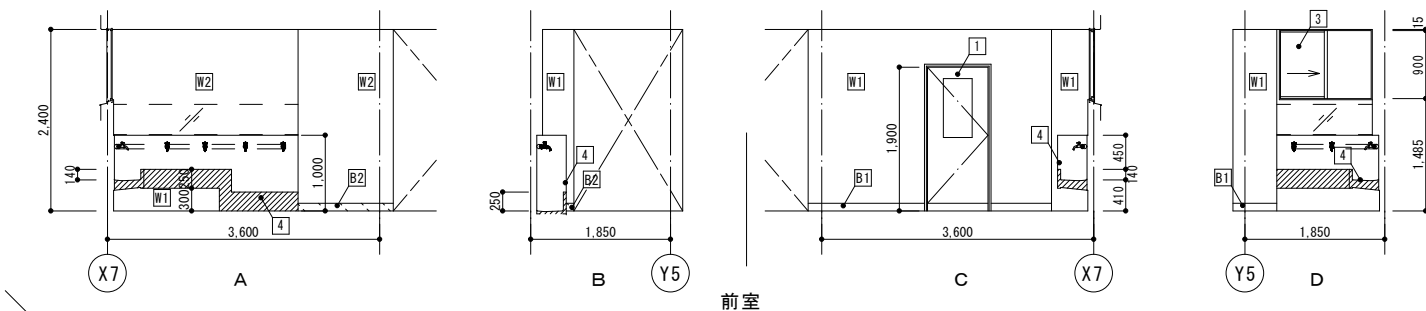
改修後 C棟矩計図

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括設計製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房		A1:S=1/30 A3:S=1/60	黒須小学校校舎便所改修工事	改修後 矩計図	A-13



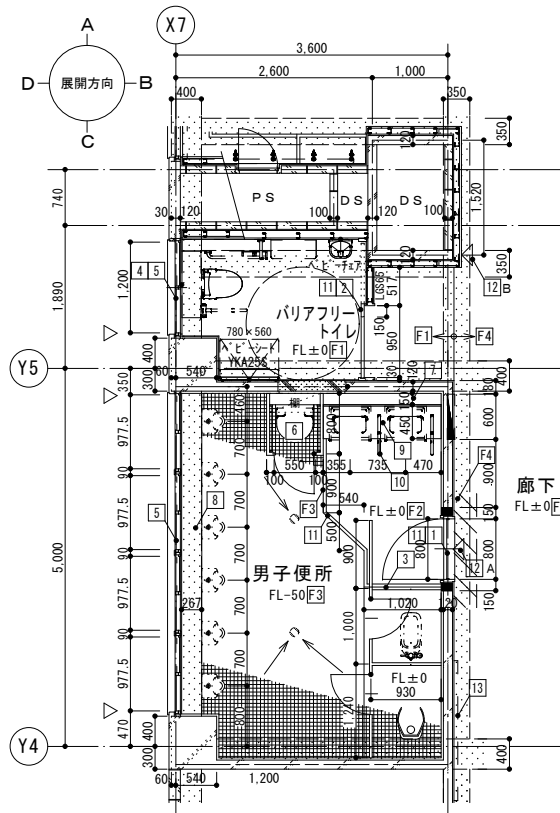
※アスベスト含有材		
記号	A棟1階仕上表	(処理内容)
F1	床	ビニルシート貼り (撤去)
F2	床	24角磁器モザイクタイル貼り (一部撤去)
F3	床	Pタイル貼り (一部撤去) ※
B1	巾木	モルタルH100 VE
B2	巾木	ビニルH100 (一部撤去)
W1	壁	モルタル金こてVE (前室塗装撤去・廊下既設のまま)
W2	壁	LGS下地PB12.5+9.5張りEP-G (既設のまま)
W3	壁	100角半磁器タイル (一部撤去)
W4	壁	プラスター (一部撤去)
C1	天井	平石膏ボードSOP (軽鉄下地共撤去一部ボードのみ撤去)
C2	天井	穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボードSOP (既設のまま)
M1	廻縁	塩ビ (前室撤去)
M2	扉板	木製W100 (既設のまま)
1	木製ドア・枠	(撤去RC壁新設)
2	トイレブース	(ハッチ部撤去)
3	アルミ建具	(既設のまま)
4	人研ぎ流し	(撤去)
5	ライニング	(既設のまま)
6	室名札	(撤去)
7	指示板	(取外し)
8	額受け	(一部撤去)

凡例	
	天井点検口450°
	天井照明
	換気扇
	給気口
	衛生器具類
	地中梁
	RC躯体築造
	RC・CB躯体撤去
	仕上がり材部分撤去
	下地材部分撤去
	タイル浮きタイル撤去 モルタル補修
	構造外部スリット

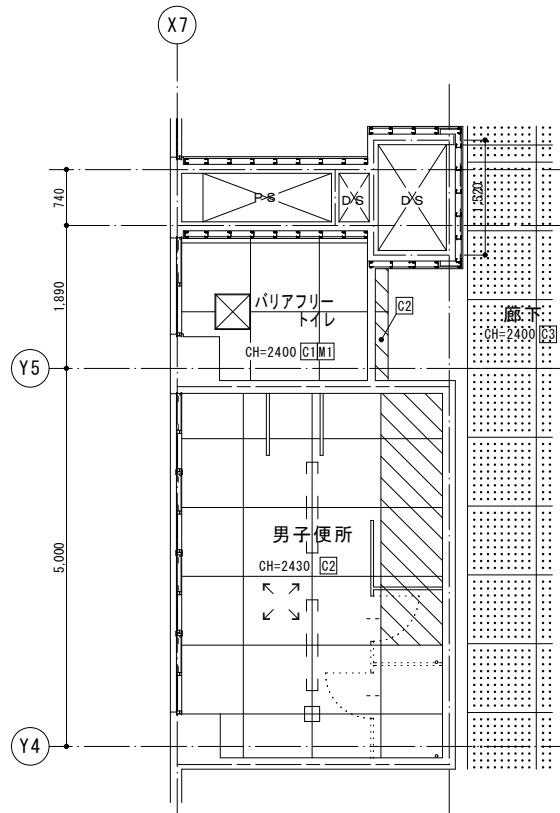


改修前 A棟1階便所展開図

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括設計製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦 房		A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修前 A棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-14



改修後 A棟1階便所平面詳細図

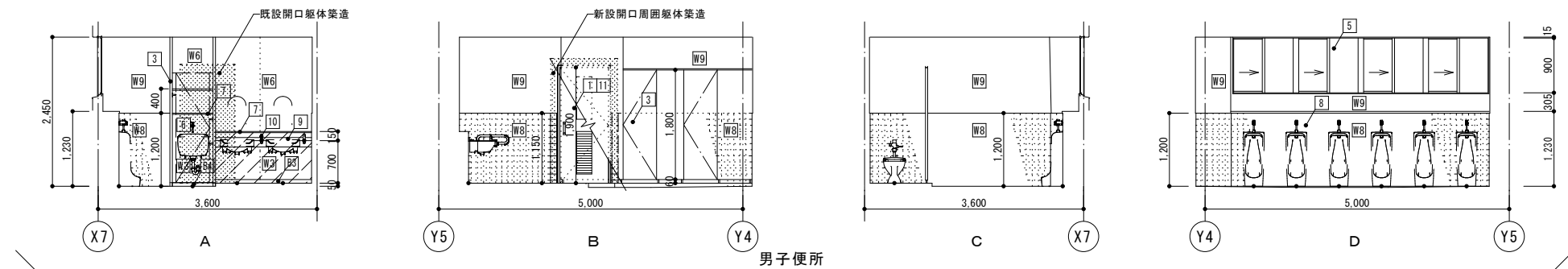
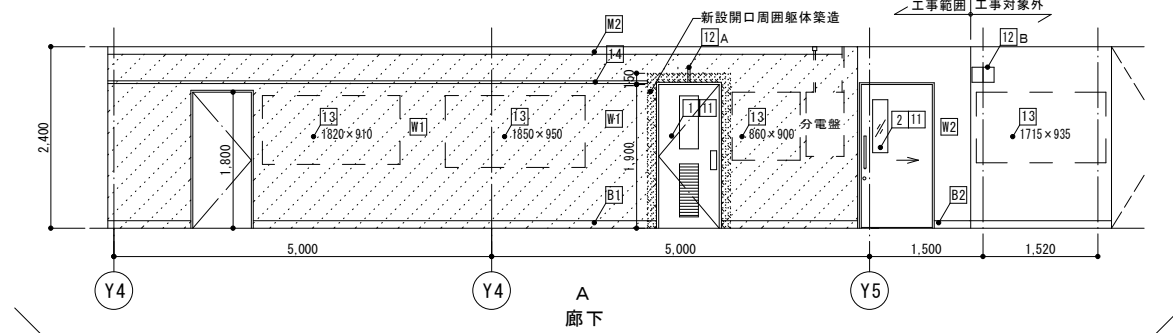
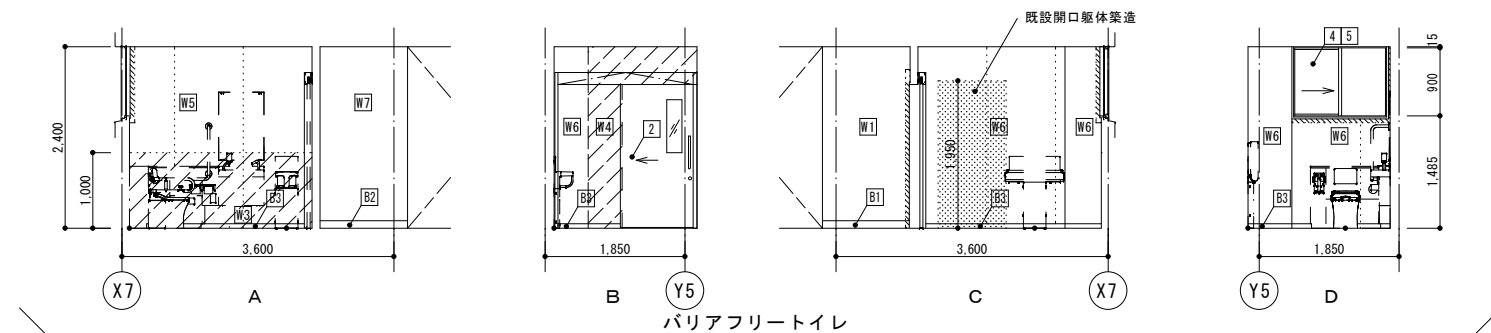


改修後 A棟1階便所天井伏図

記号	A棟1階仕上表
F1	床 既設撤去ビニルシート2mm貼り新設
F2	床 既設の床の上モルタル打ち及びのり撤去の上モルタル打ち 6mmビニルシート2mm貼り新設
F3	床 既設24角磁器モザイクタイル 一部段差部100角半磁器タイル貼り新設
F4	床 既設Pタイル撤去複層ビニルタイル2mm貼り新設 (ハッチ部)
B1	巾木 モルタルH100一部新設 既設共 EP-G塗
B2	巾木 ビニルH100新設
B3	巾木 ビニルシート厚2mm床巻上げ貼りH=60・アルミ押え新設
B4	巾木 ステンレス複合巾木H60+8新設
W1	壁 モルタル金こて一部新設 既設共EP-G塗り
W2	壁 LGS下地PB12.5+9.5張り新設 既設共EP-G塗り
W3	壁 LGS下地耐水合板12mm下張り 化粧珪酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入出隅75コーナー
W4	壁 LGS下地シーリングのり12.5mm下張り 化粧珪酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入出隅75コーナー
W5	壁 既設LGS下GPPのり耐水合板12mm下張り 化粧珪酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入出隅75コーナー
W6	壁 下地不陸部がタタキ系モルタル薄塗り 化粧珪酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入出隅75コーナー
W7	壁 既設LGS下GPPのり面EP-G塗替え
W8	腰 既設100角半磁器タイル一部新設 (ドア周り)
W9	壁 既設プラスター面一部補修 既設面共EP-G塗り
C1	天井 LGS下地組化粧石膏ボード9.5mm新設
C2	天井 平石膏ボード一部新設EP塗り
C3	天井 穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボードSOP (既設のまま)
M1	廻縁 塩ビ製新設
M2	暮板 木製W100 (既設のまま)
備考	1] ドア枠・本製腰付きガラスドア片開き新設 2] 軽量鋼製手動バルブ型入ガラス引き戸新設 3] トイレブースガラス樹脂化粧合板仕上げ新設 4] 木頭縁新設EP-G塗替え 周囲モルタル補修 5] 既設アルミ窓枠調整・掃除具入新設 (セツパル) 1600×1・雑巾バケ 1600×2・桶付 7] 配管ラッピング 甲板 LGS壁下地パシパシ ストーム新設 8] 既設ライニング 9] 洗面カウンター新設 (人工大理石奥行450) 10] 手洗い器SUS樹脂被覆手すりφ34新設 11] SUS床見切り新設 12] 室名札新設 13] 掲示板再取付け 14] 暖受け (塗装補修)

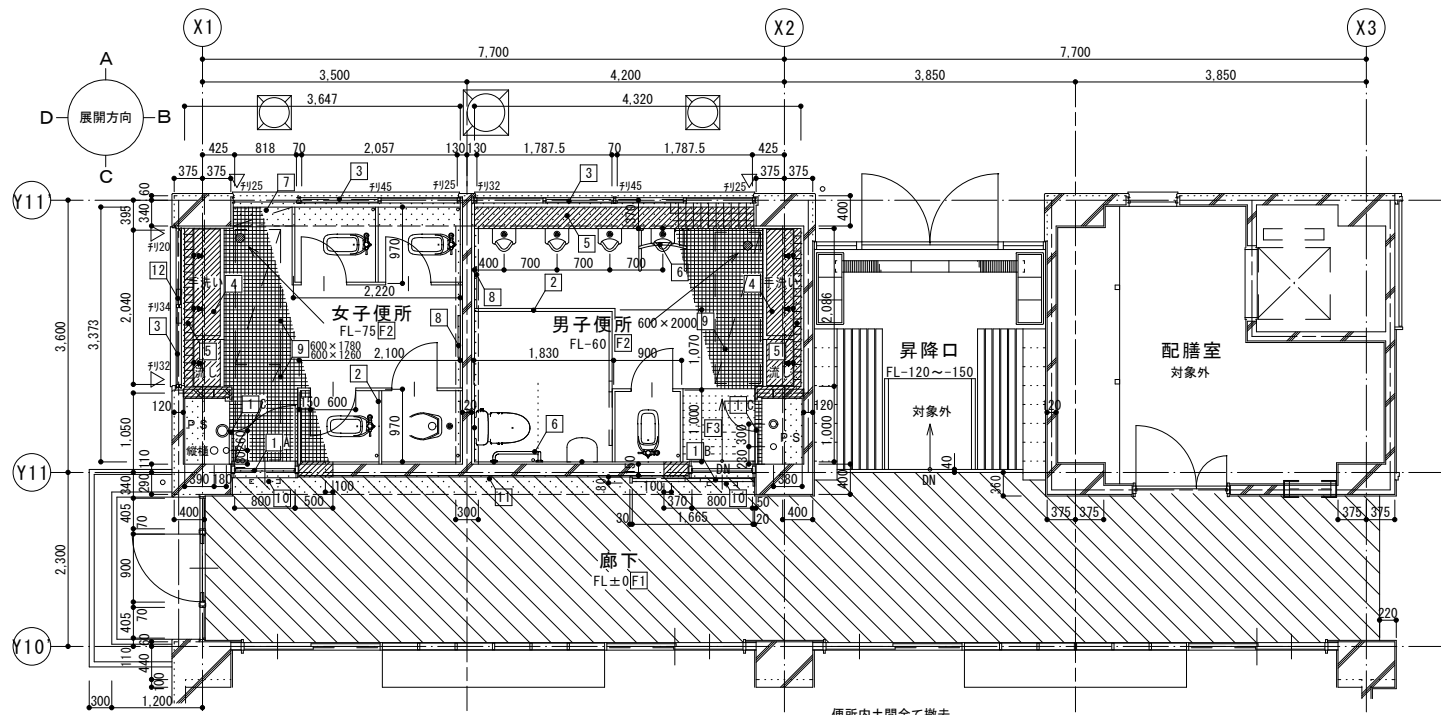
※手洗いカウンター取付け下地合板12mm×2枚張り

凡例	
	天井点検口450角新設 (破線：既設)
	天井照明
	換気扇
	給気口
	衛生器具類
	地中梁
	RC躯体築造 (展開は○のみ)
	モルタル補修
	LGS下地新設
	天井仕上材部分新設
	塗装塗替え部分
	構造外部スリット



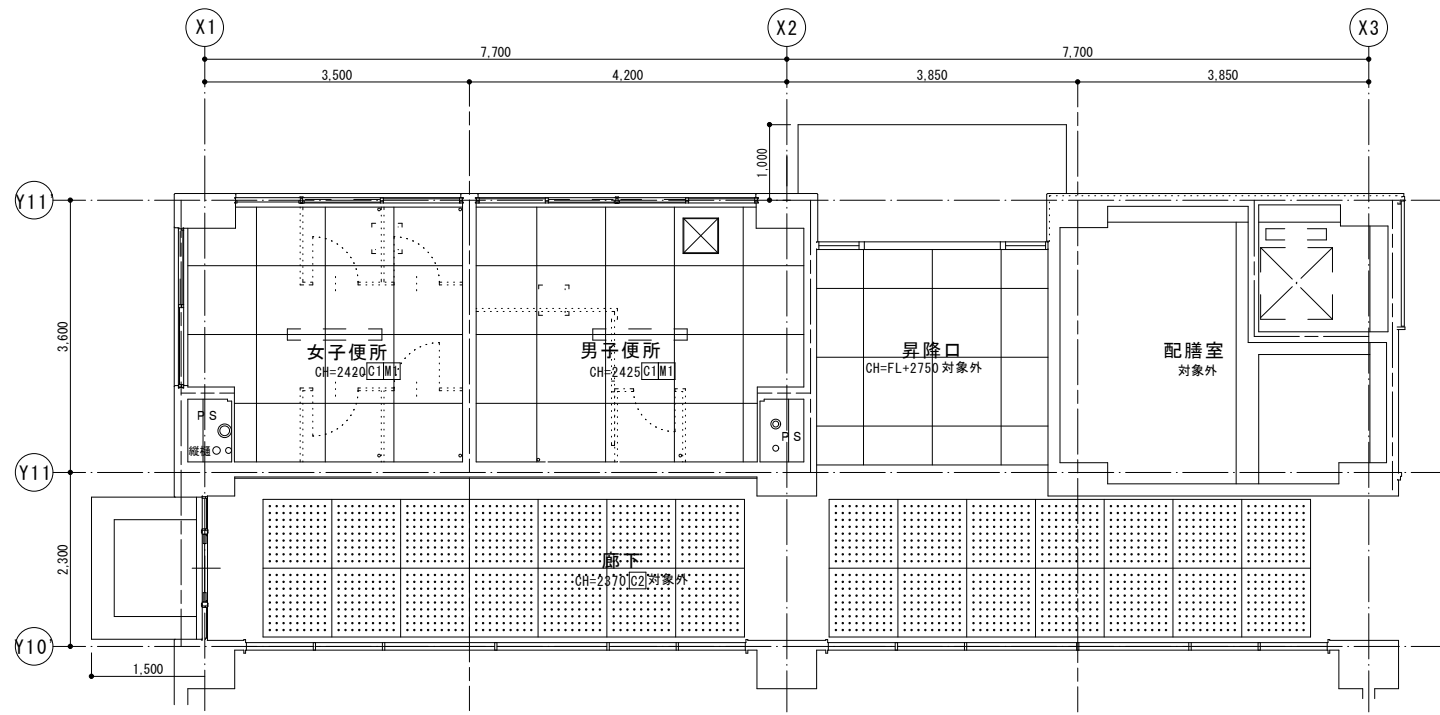
改修後 A棟1階便所展開図

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修後 A棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-15

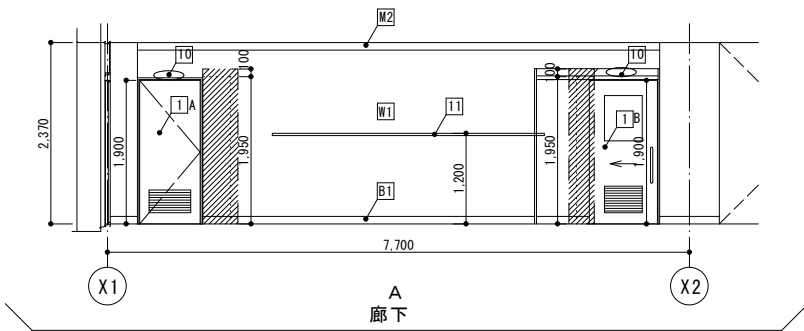


改修前 C棟1階便所平面詳細図

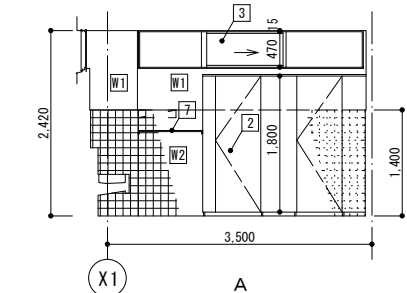
既設構造仕様
コンクリート : Fc210kg/cm²
土間120 : 鉄筋SR24 9φ@200シングル
壁W120 : 鉄筋SR24 9φ@200シングル
壁W150 : 鉄筋SR24 9φ@250ダブル・3φ@250シングル・巾止め9φ@1000



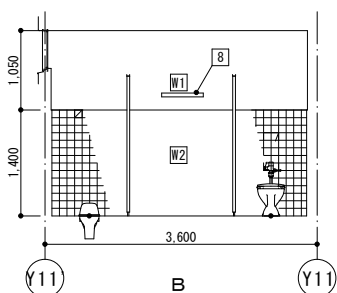
改修前 C棟1階便所天井図



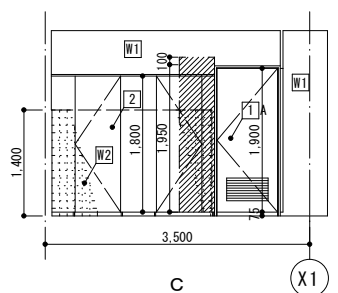
廊下



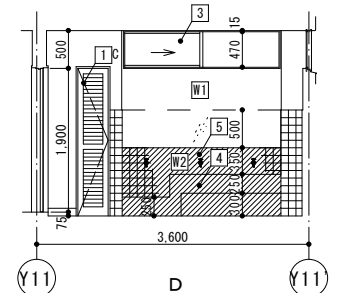
A



B

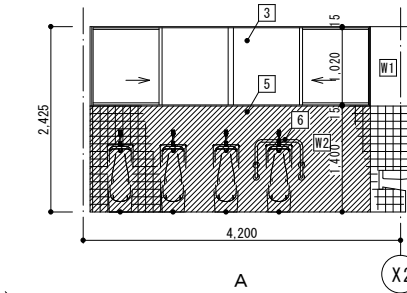


C

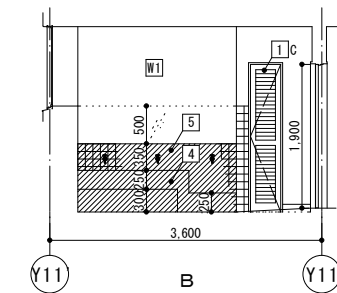


D

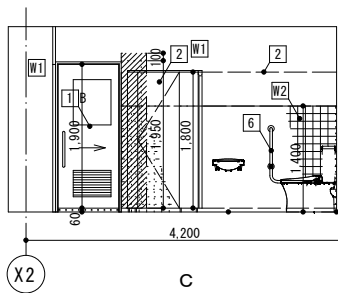
女子便所



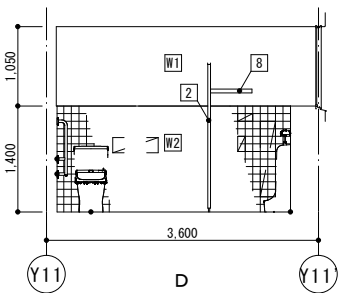
A



B



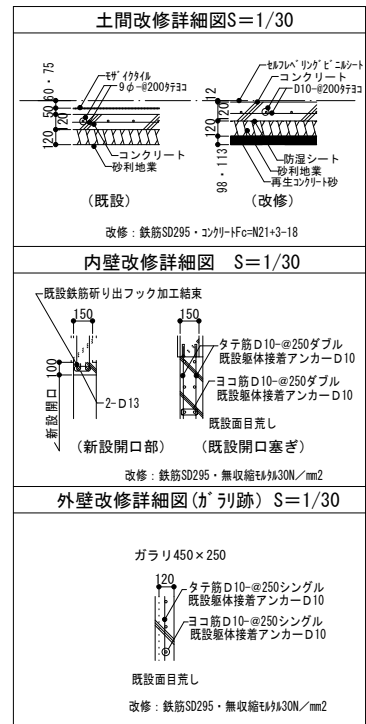
C



D

男子便所

改修前 C棟1階便所展開図

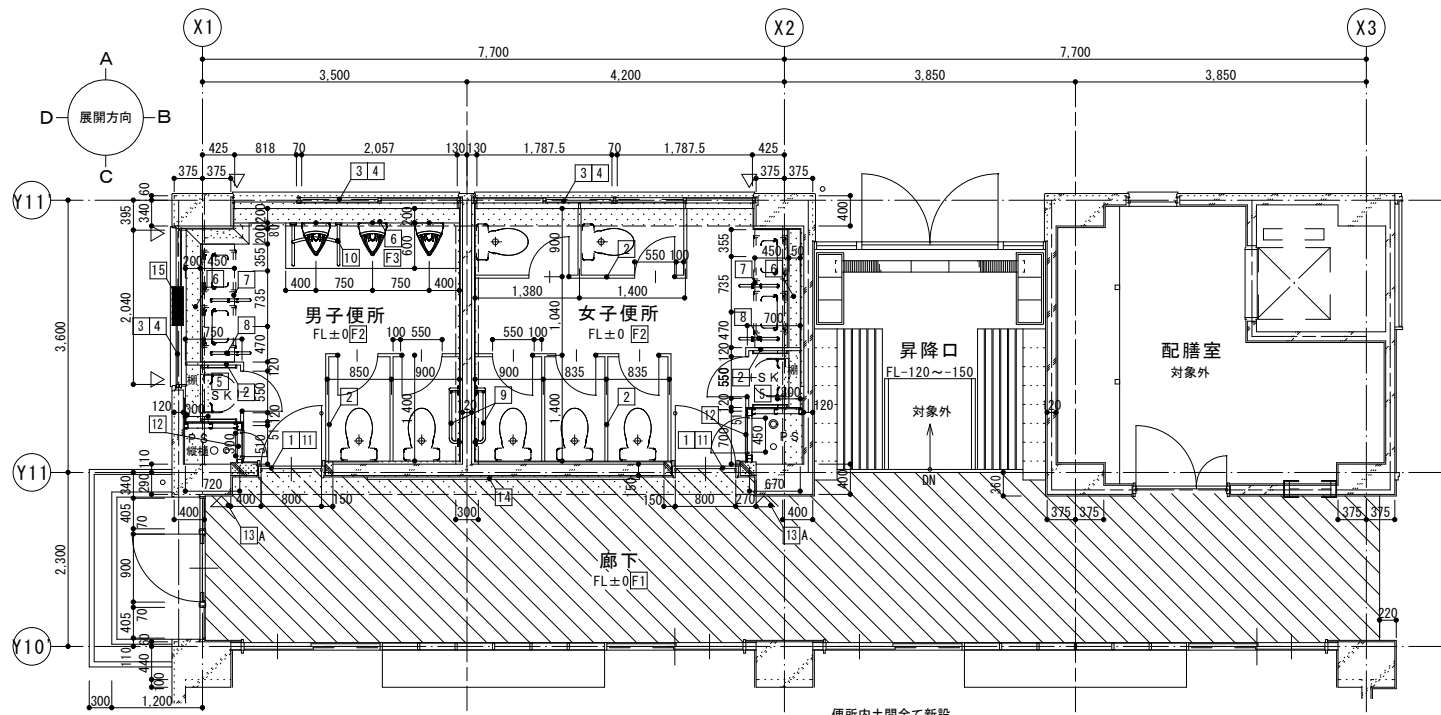


※付アスベスト含有材

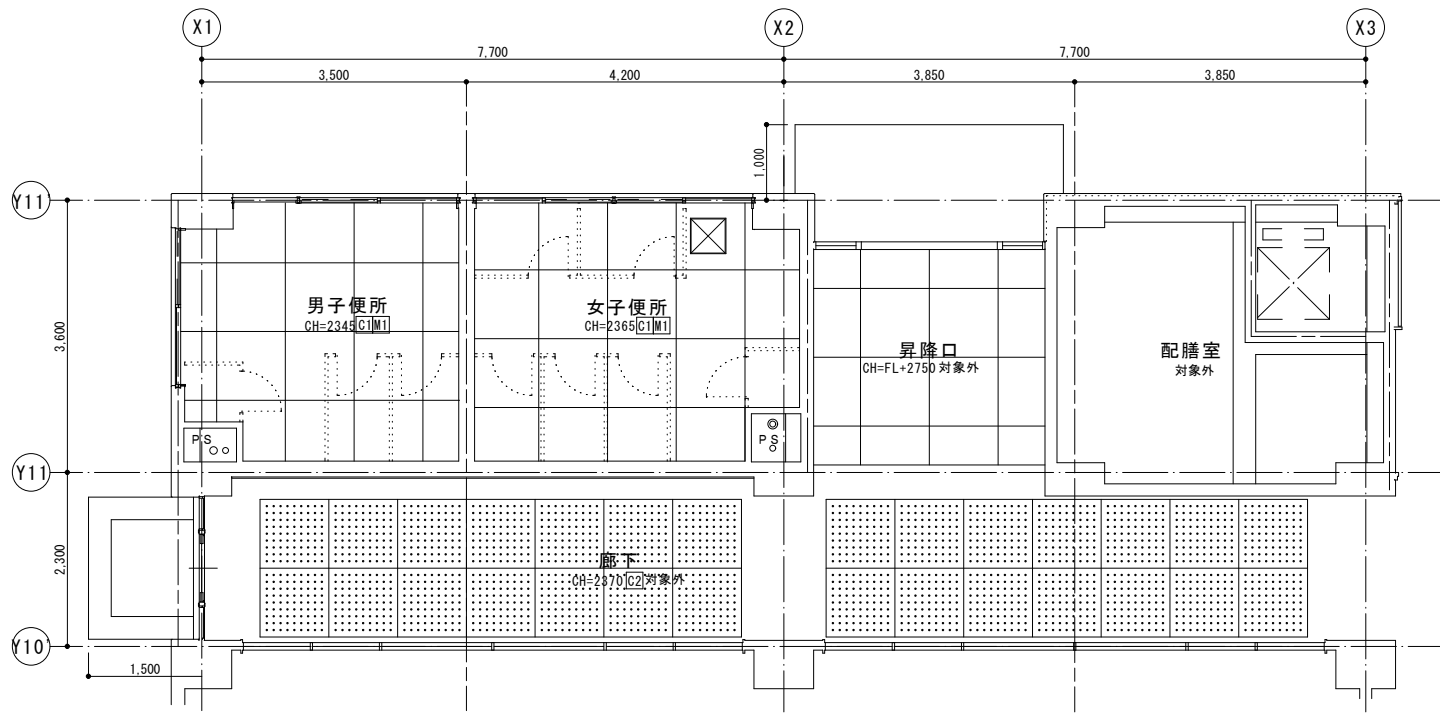
記号	C棟1階仕上表	(処理内容)
F1	床 Pタイル貼り (ハッチ部撤去) ※	
F2	床 24角磁器モザイクタイル貼り (土間コン砂利地業共撤去)	
F3	床 スロープモルタル (撤去)	
B1	巾木 モルタルH100 VE (一部撤去)	
W1	壁 モルタル金こて VE (VP) (便所内VP塗装撤去)	
W2	壁 100角半磁器タイル (一部撤去)	
C1	天井 フレキシブルボード4mmEP-G (軽鉄下地共撤去)	
C2	天井 穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボード SOP (既設のまま)	
M1	廻縁 塩ビ (撤去)	
M2	幕板 木製W100 (既設のまま)	
1	木製建具枠・A:扉800×1900・B:引き戸900×1900・袖壁付扉400×1950 (撤去)	
2	トイレブース (撤去)	
3	アルミ建具 (既設のまま)	
4	人研ぎ手洗い・流し (撤去)	
5	ライニング (撤去)	
6	手摺 (撤去)	
7	棚板 (撤去)	
8	木ハンガー座板450×30 (撤去)	
9	木スノコ (撤去)	
10	木製室名札 (撤去)	
11	ハンガーレールL3800 (既設のまま)	
12	スチールガラリ (撤去)	

凡例	
	天井点検口450°
	天井照明
	換気扇
	給気口
	衛生器具類
	設備 器具 撤去 は 設 備 工 事
	RC・CS躯体撤去
	仕上げ材部分撤去
	タイル浮きタイル撤去 モルタル補修
	構造外部スリット

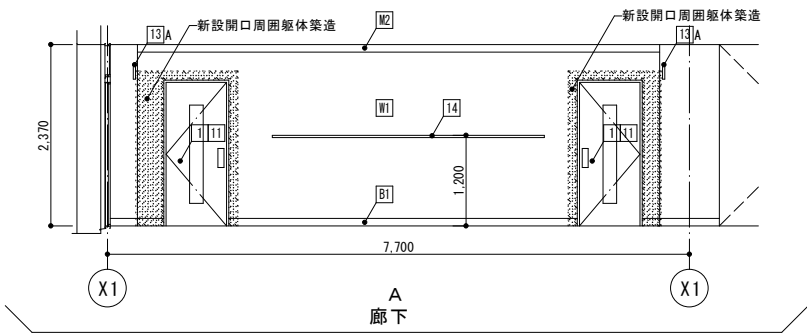
摘 要	設計年月日	株 式 会 社 金 子 設 計	総 括	設 計	製 図	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦 房				A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修前 C棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-16



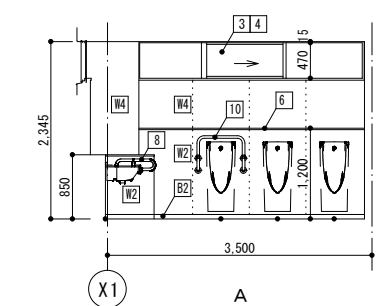
改修後 C棟1階便所平面詳細図



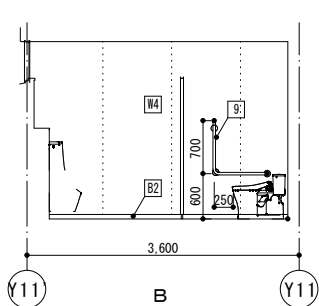
改修後 C棟1階便所天井図



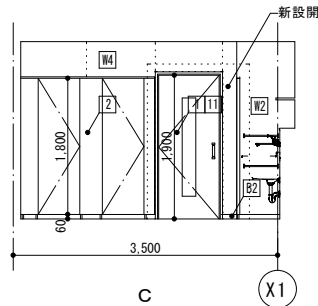
A
廊下



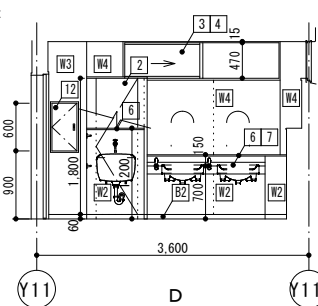
A



B

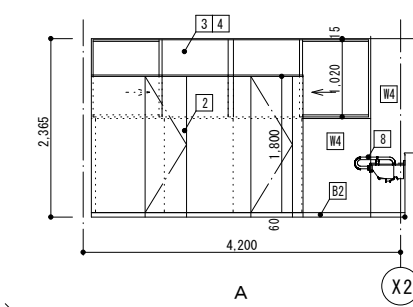


C

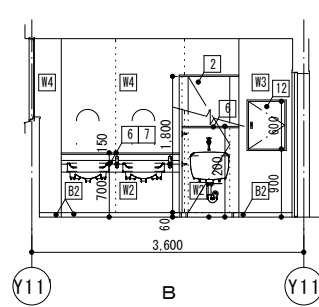


D

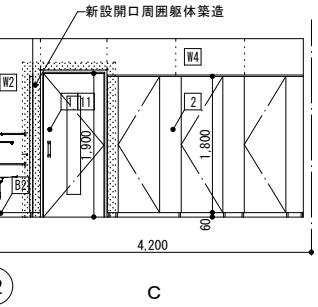
男子便所



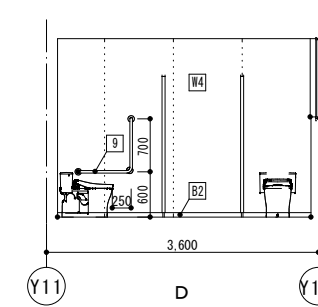
A



B



C



D

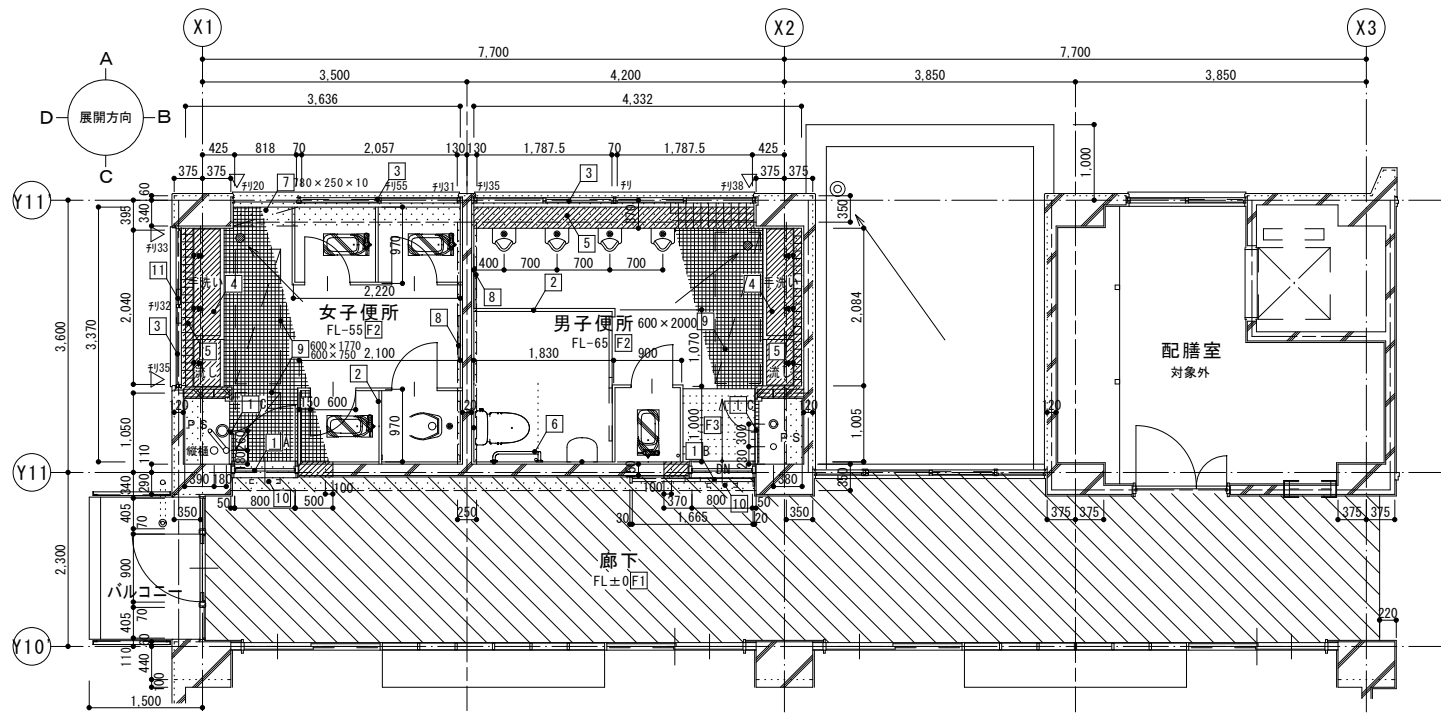
女子便所

改修後 C棟1階便所展開図

C棟1階仕上表	
F1	床 ビニルシート2mm貼り新設
F2	床 砂利地業防湿シート敷コンクリート打ちもれレベリング ビニルシート2mm貼り新設
F3	床 砂利地業防湿シート敷コンクリート打ちもれレベリング 防汚抗菌抗カビス ビニルシート2mm貼り新設
B1	巾木 モルタルH100一部新設 既設共 EP-G塗
B2	巾木 ビニルシート厚2mm床巻上げ貼りH=60・アルミ押え新設
W1	壁 モルタル金こて一部新設 既設共EP-G塗り
W2	壁 LGS下地耐水合板12mm下張り 化粧イ酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入出隅7&ミューナー
W3	壁 LGS下地シーリングボード12.5mm下張り 化粧イ酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入出隅7&ミューナー
W4	壁 下地不陸部カオン系モルタル薄塗り 化粧イ酸カルシウム板6mm貼り新設 目地シーリング 入出隅7&ミューナー
C1	天井 LGS下地化粧石膏ボード9.5mm新設
C2	天井 穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボードSOP (既設のまま)
M1	廻縁 塩ビ製新設
M2	基板 木製W100 (既設のまま)
1	ドア枠・本装縁付きフラッシュドア片開き新設
2	トイレブース樹脂化粧合板仕上げ新設
3	本願縁新設EP-G塗、周囲モルタル補修
4	既設アルミ窓整理清掃調整
5	掃除具入れ新設 (セグノバゲ-L450×1・雑巾バゲ-L450×2・櫛付)
6	配管シンク 甲板 LGS壁下地樹脂ボードスチール新設
7	洗面カブタ新設 (人工大理石奥行450)
8	手洗い器SUS樹脂被覆手すりφ34新設
9	大便器SUS樹脂被覆手すりφ34新設
10	小便器SUS樹脂被覆手すりφ34新設
11	SUS床見切り新設
12	壁点検調整扉EP-G塗り新設
13	室名札新設
14	バゲ-L3600既設のまま
15	引撤去跡RC躯体築造防水形複層塗材塗りE ※手洗いカウンター取付け下地合板12mm×2枚張り

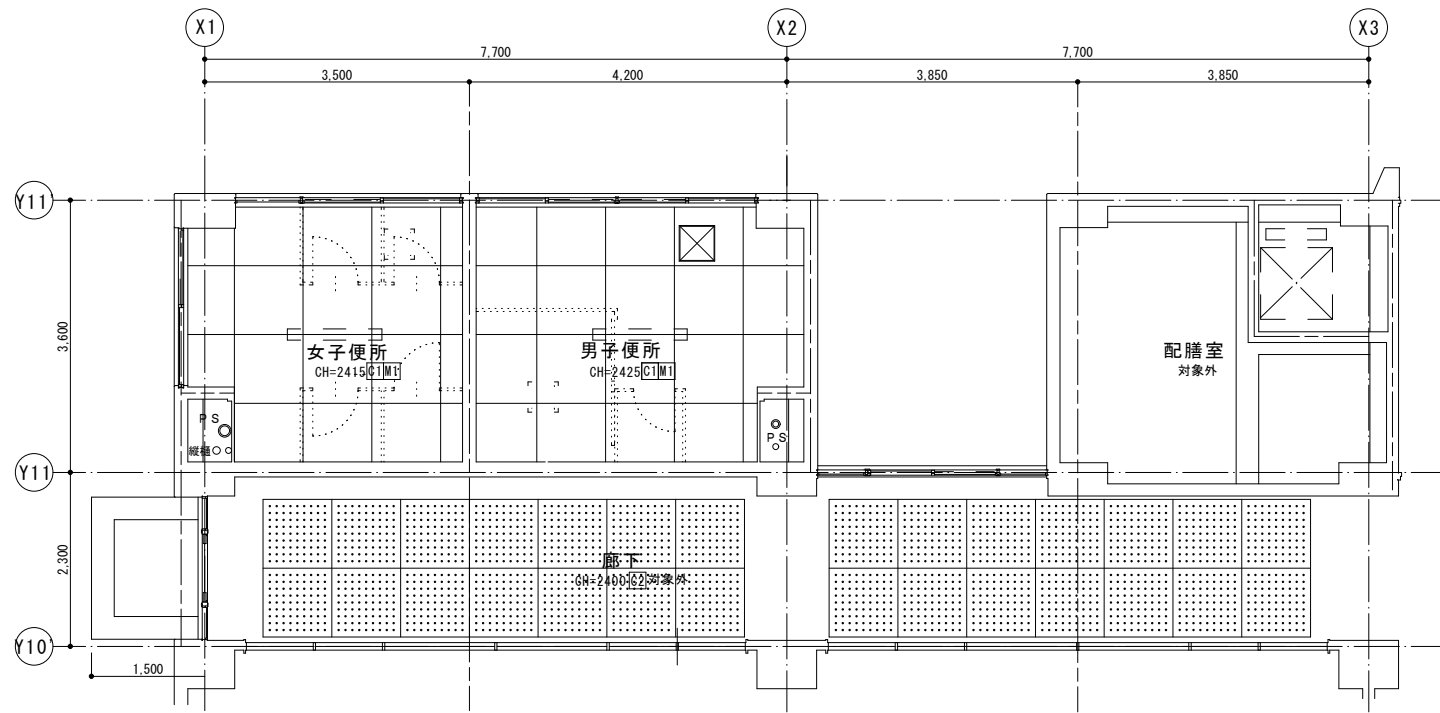
凡例	
天井点検口450角新設	RC躯体築造 (展開は○のみ)
天井照明	モルタル補修
換気扇	LGS下地新設
給気口	天井仕上げ部分新設
衛生器具類	塗装塗替え部分
	構造外部スリット

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括設計製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房		A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修後 C棟1階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-17

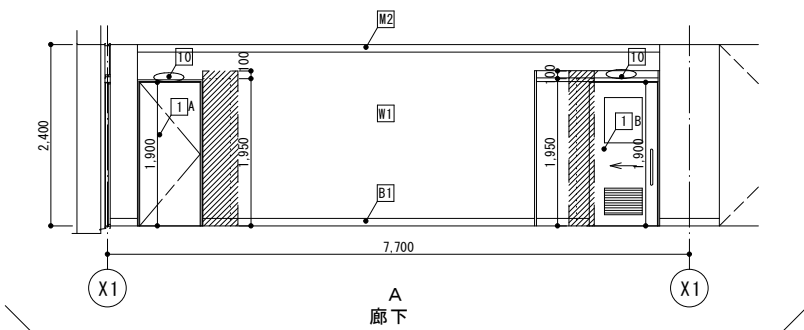


改修前 C棟2階便所平面詳細図

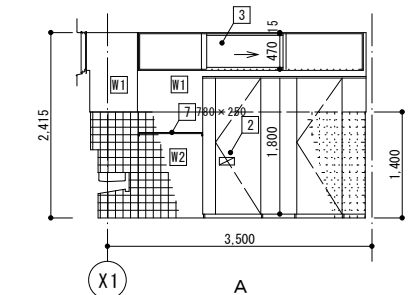
既設構造仕様
コンクリート : Fc210kg/cm²
スラブ120 : 鉄筋SR24 上端筋φ9・13-@200、下端筋φ9-@200
壁W120 : 鉄筋SR24 φ9・30φ-@250シングル
壁W150 : 鉄筋SR24 φ9φ-@250φ・30φ-@250φ・リ・巾止めφ9φ-@1000



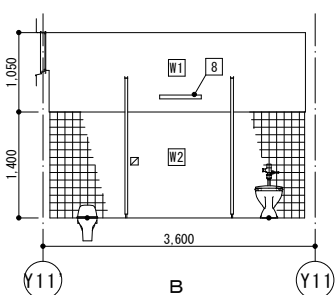
改修前 C棟2階便所天井伏図



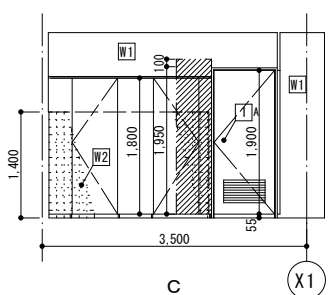
廊下



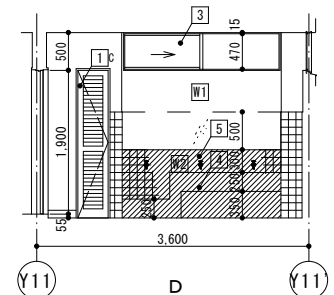
A



B

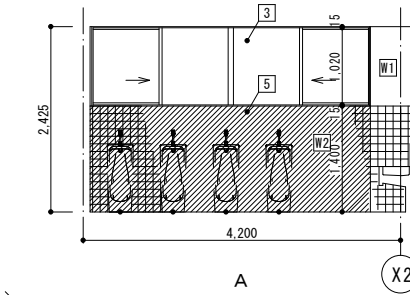


C

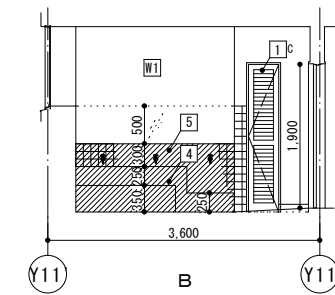


D

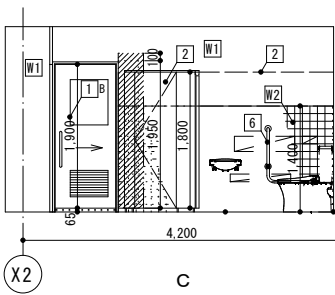
女子便所



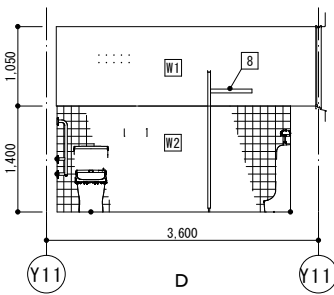
A



B



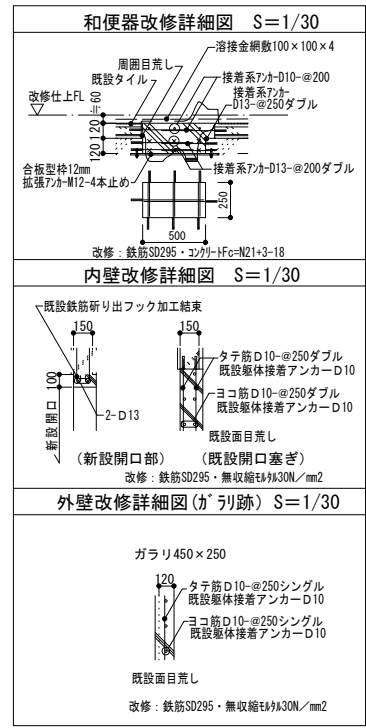
C



D

男子便所

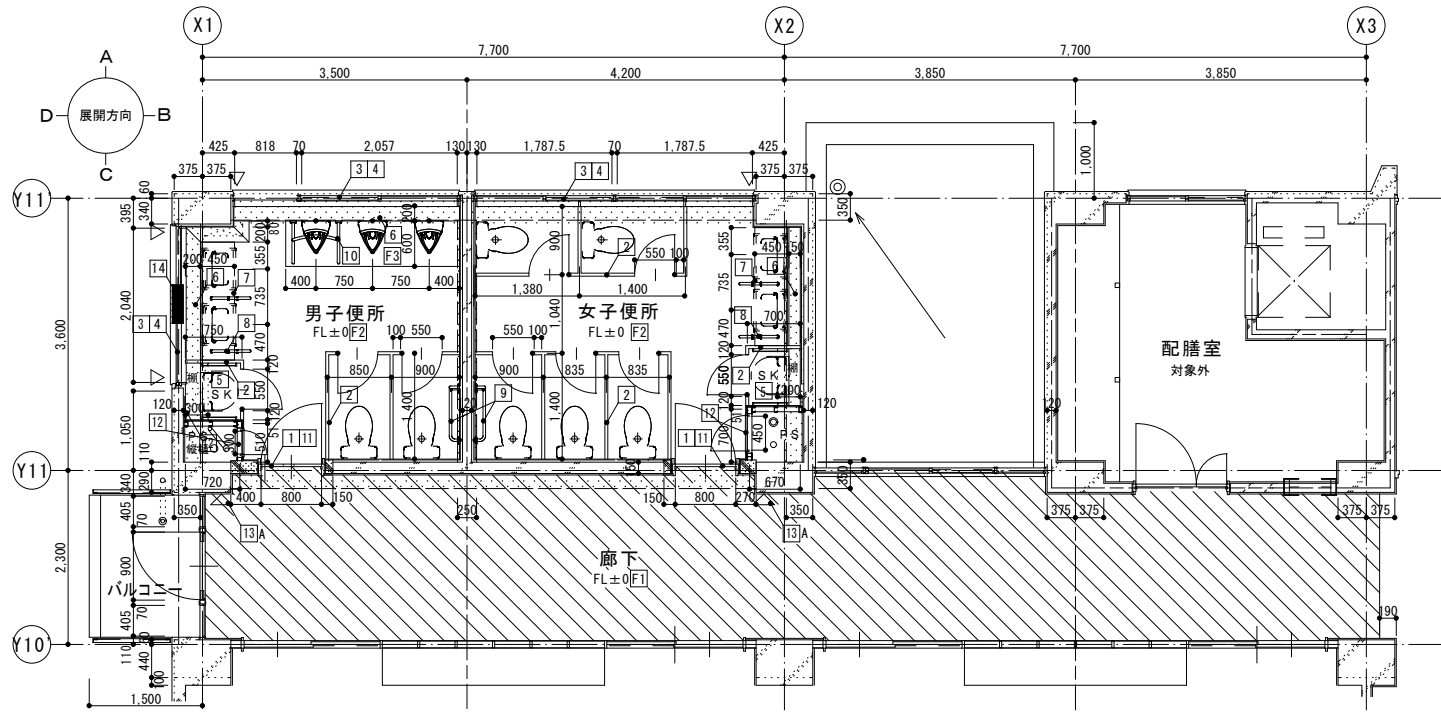
改修前 C棟2階便所展開図



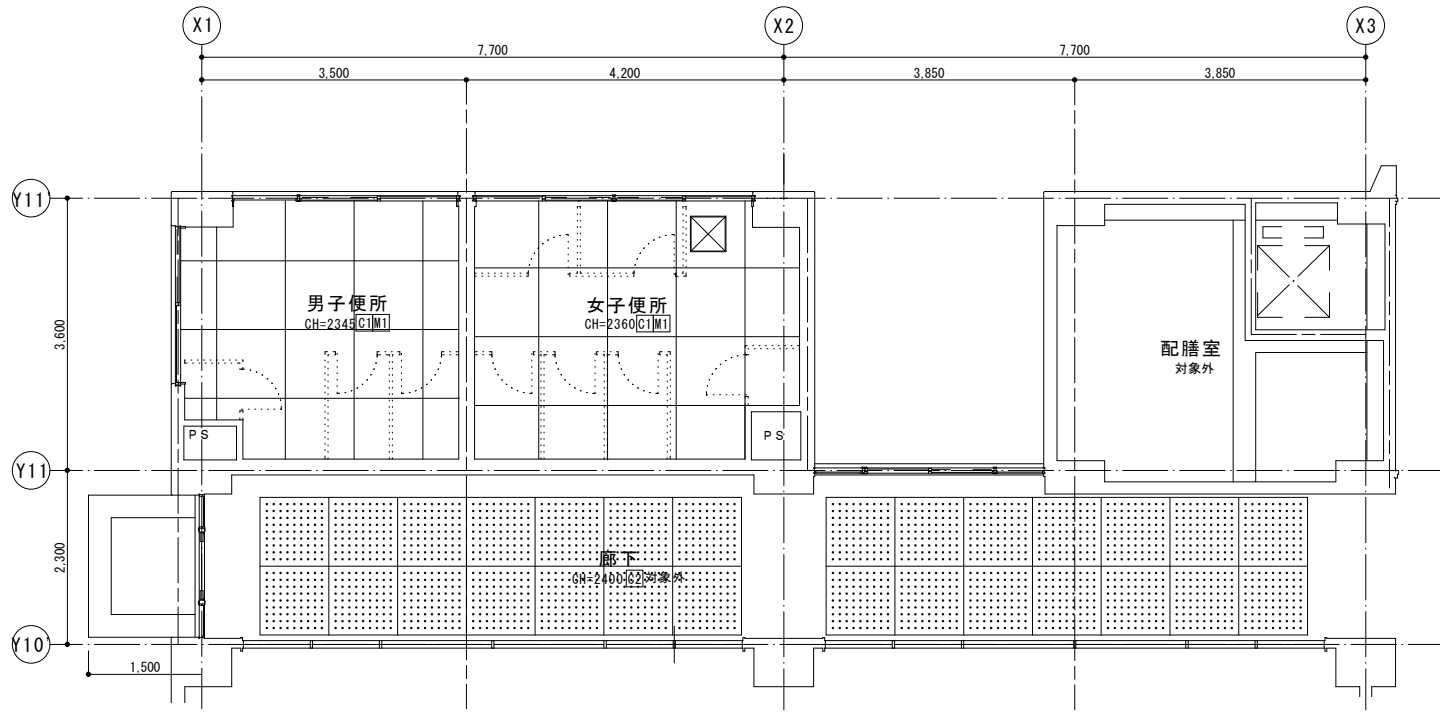
C棟2階仕上表 (処理内容)	
記号	
F1	床 Pタイル貼り (ハッチ部撤去) ※
F2	床 24角磁器モザイクタイル貼り (既設のまま)
F3	床 スローモルタル (撤去)
B1	巾木 モルタルH100 VE (一部撤去)
W1	壁 モルタル金こて VE (VP) (便所内VP塗装撤去)
W2	壁 100角半磁器タイル (一部撤去)
C1	天井 フレキシブルボード4mmEP-G (軽鉄下地共撤去)
C2	天井 穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボード SOP (既設のまま)
M1	廻縁 塩ビ (撤去)
M2	幕板 木製W100 (既設のまま)
1	木製建具枠・A:厚800×1900・B:引き戸900×1900・袖壁付厚400×1950 (撤去)
2	トイレブース (撤去)
3	アルミ建具 (既設のまま)
4	人研ぎ手洗い・流し (撤去)
備考	
5	ライニング (撤去)
6	手摺 (撤去)
7	網板 (撤去)
8	木ハンガー座板450×30 (撤去)
9	木スノコ (撤去)
10	木製室名札 (撤去)
11	スチールガリ (撤去)

凡例	
	天井点検口450角
	天井照明
	換気扇
	給気口
	衛生器具類
	地中梁
	RC躯体築造
	RC・CG躯体撤去
	仕上材部分撤去
	タイル浮きタイル撤去 モルタル補修
	構造外部スリット

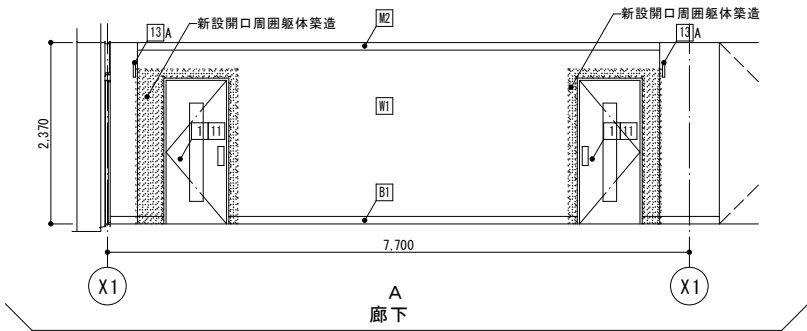
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修前 C棟2階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-18



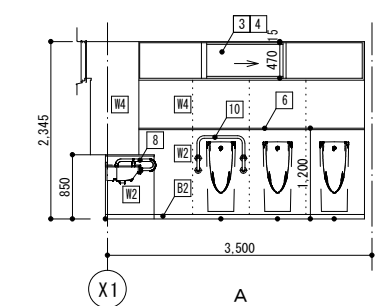
改修後 C棟2階便所平面詳細図



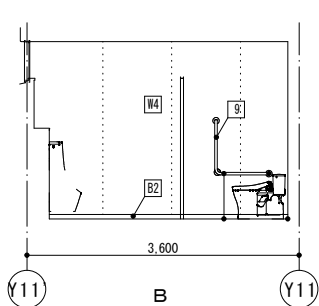
改修後 C棟2階便所天井伏図



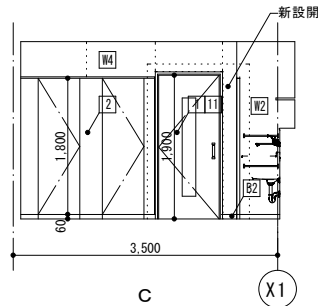
A
廊下



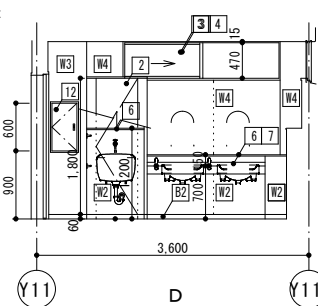
A



B

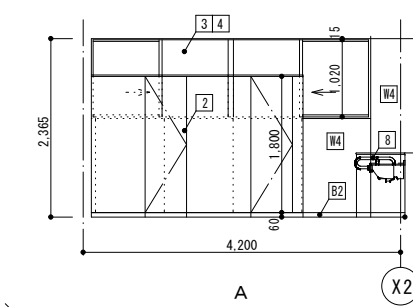


C

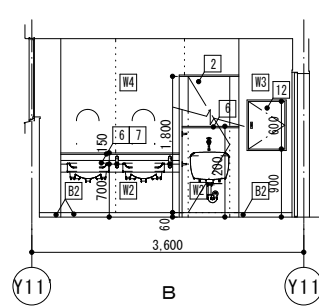


D

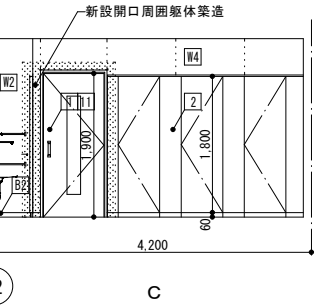
男子便所



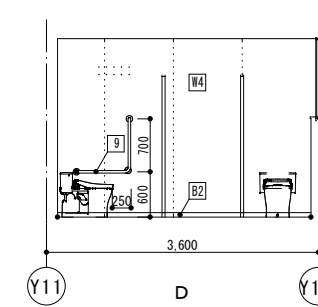
A



B



C



D

女子便所

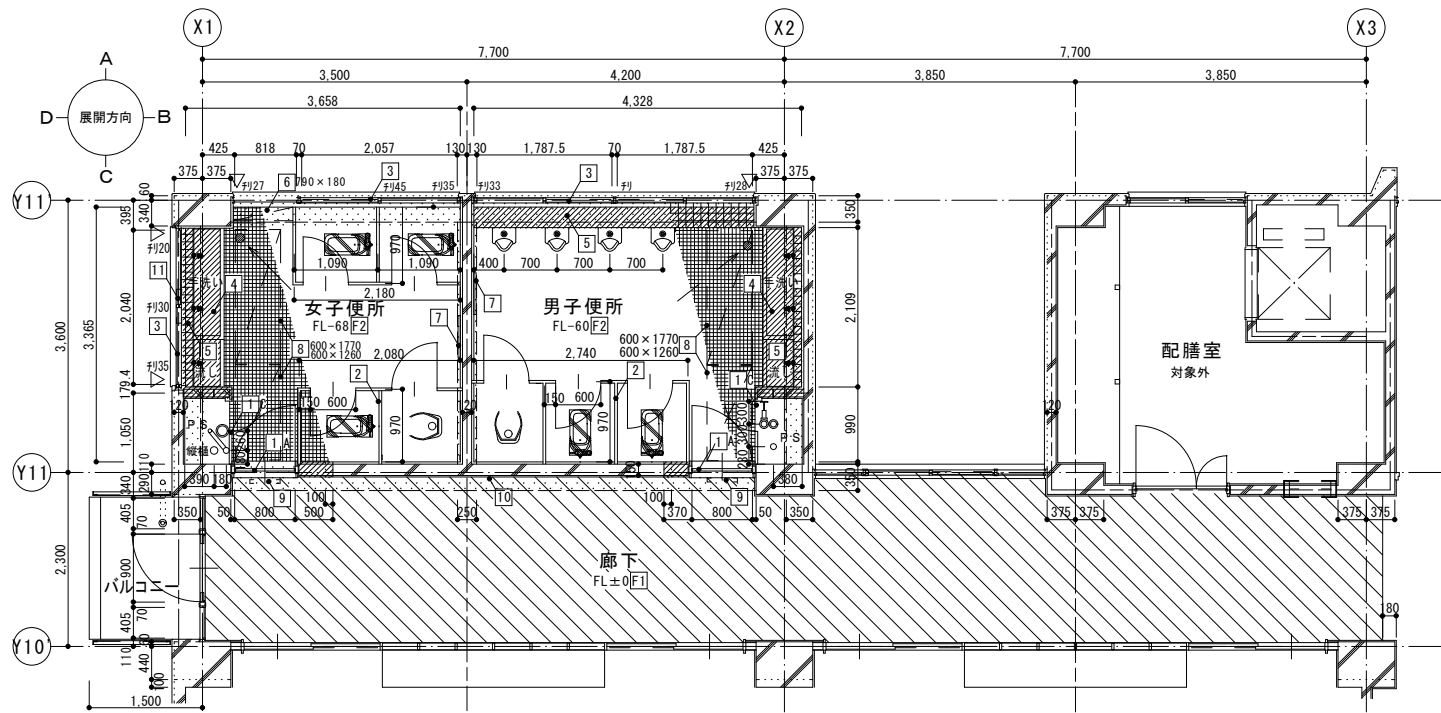
改修後 C棟2階便所展開図

C棟2階仕上表	
F1	床 ビニルシート2mm貼り新設
F2	床 溶接金網敷めも打ちもアレイ'リング' ビニルシート2mm貼り新設
F3	床 溶接金網敷めも打ちもアレイ'リング' 防汚抗菌抗ウイルス ビニルシート2mm貼り新設
B1	巾木 モルタルH100一部新設 既設共 EP-G塗
B2	巾木 ビニルシート厚2mm床巻上げ貼りH=60・アルミ押え新設
W1	壁 モルタル金こて一部新設 既設共EP-G塗り
W2	壁 LGS下地耐水合板12mm下張り 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設
W3	壁 LGS下地シーリングボード'12.5mm下張り 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設
W4	壁 下地不陸部がオン系もも薄塗り 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設
C1	天井 LGS下地組化粧石膏ボード9.5mm新設
C2	天井 穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボードSOP (既設のまま)
W1	廻縁 塩ビ製新設
W2	幕板 木製W100 (既設のまま)
1	ドア枠・木製縁付きフラッシュドア片開き新設
2	トイレブースガラス樹脂化粧合板仕上げ新設
3	本願縁新設EP-G塗、周囲モルタル補修
4	既設アルミ窓整理清掃調整
5	掃除具入れ新設 (セグメント'450×1・雑巾'450×2・櫛付)
6	配管'シンク' 甲板 LGS壁下地'シンク' ストール新設
7	洗面'シンク'新設 (人工大理石奥行450)
8	手洗い器SUS樹脂被覆手すりφ34新設
9	大便器SUS樹脂被覆手すりφ34新設
10	小便器SUS樹脂被覆手すりφ34新設
11	SUS床見切り新設
12	壁点検口RC躯体新設防水形複層塗材塗りE
13	壁名札新設
14	ガリ撤去跡RC躯体新設防水形複層塗材塗りE

※手洗いカウンター取付け下地合板12mm×2枚張り

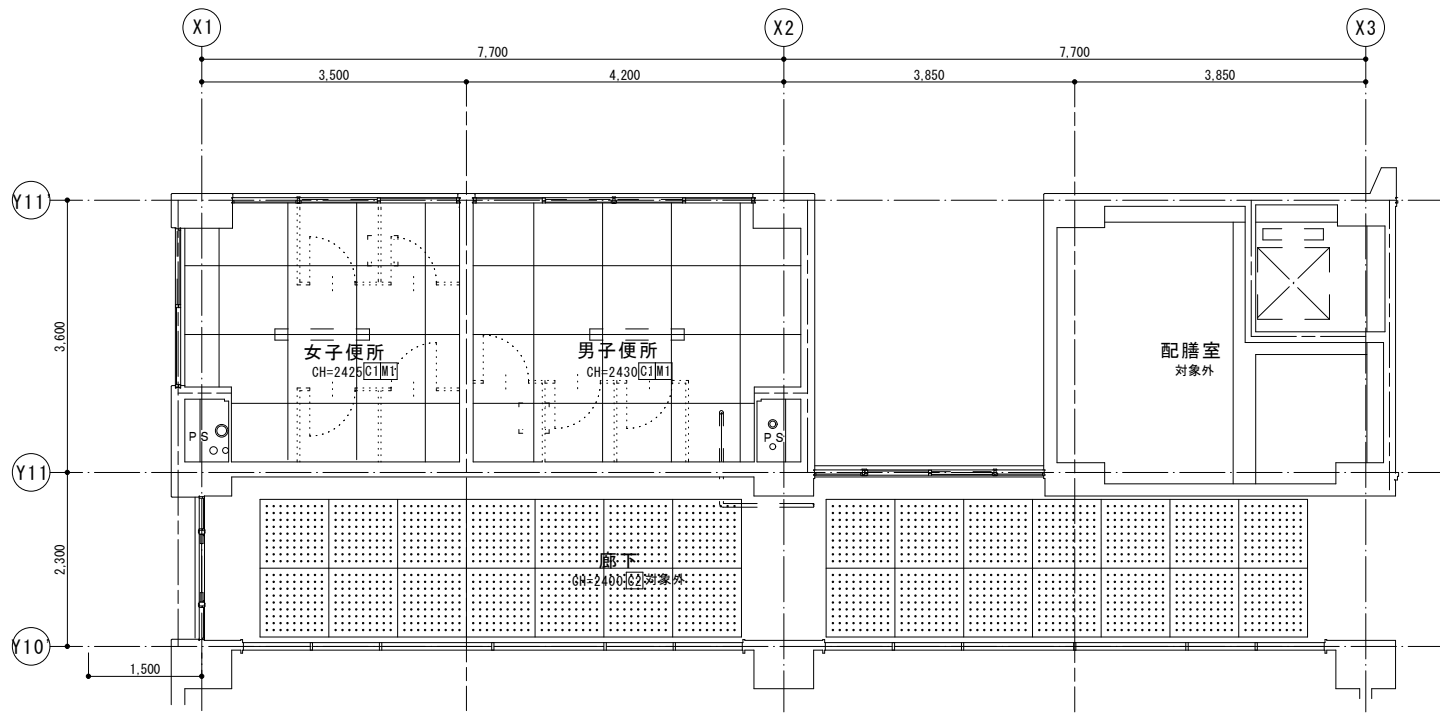
凡例	
天井点検口450角新設	RC躯体新設 (展開は○のみ)
天井照明	モルタル補修
換気扇	LGS下地新設
給気口	天井仕上げ材部分新設
衛生器具類	塗装塗替え部分
	構造外部スリット

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括設計製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房		A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修後 C棟2階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-19

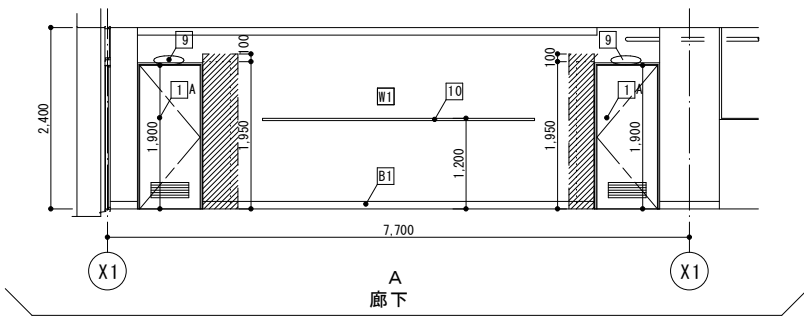


改修前 C棟3階便所平面詳細図

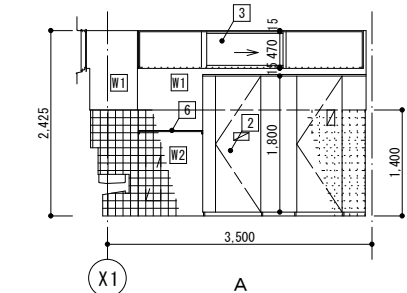
既設構造仕様
コンクリート : Fc210kg/cm2
スラブF120 : 鉄筋SR24 上端筋φ33φ9・13-#200、下端筋φ9-#200
壁W120 : 鉄筋SR24 φ33φ9φ-#250シングル
壁W150 : 鉄筋SR24 φ33φ9φ-#250φ・アルミ・33φφ-#250φ・リ・巾止めφ9φ-#1000



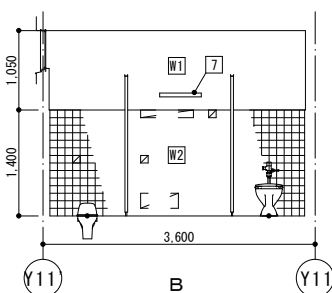
改修前 C棟3階便所天井伏図



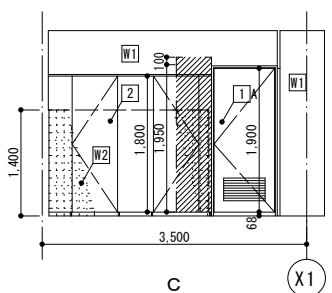
A
廊下



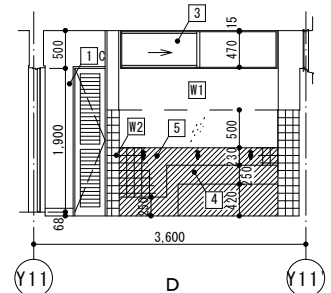
A



B

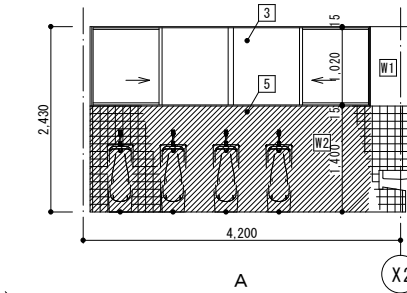


C

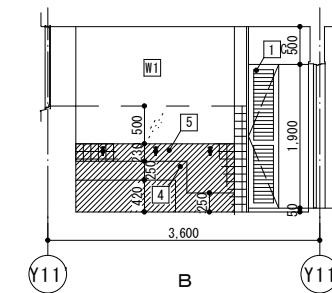


D

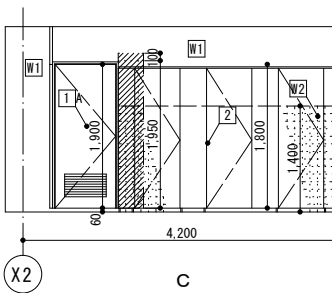
女子便所



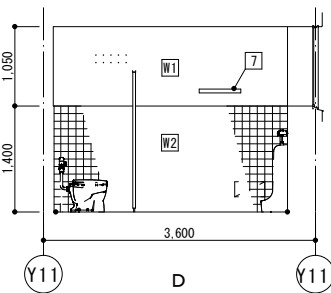
A



B



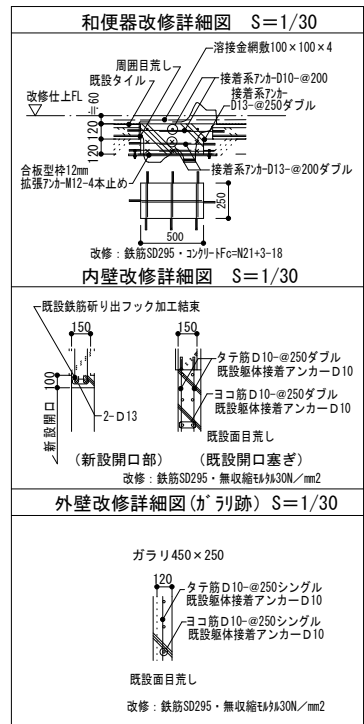
C



D

男子便所

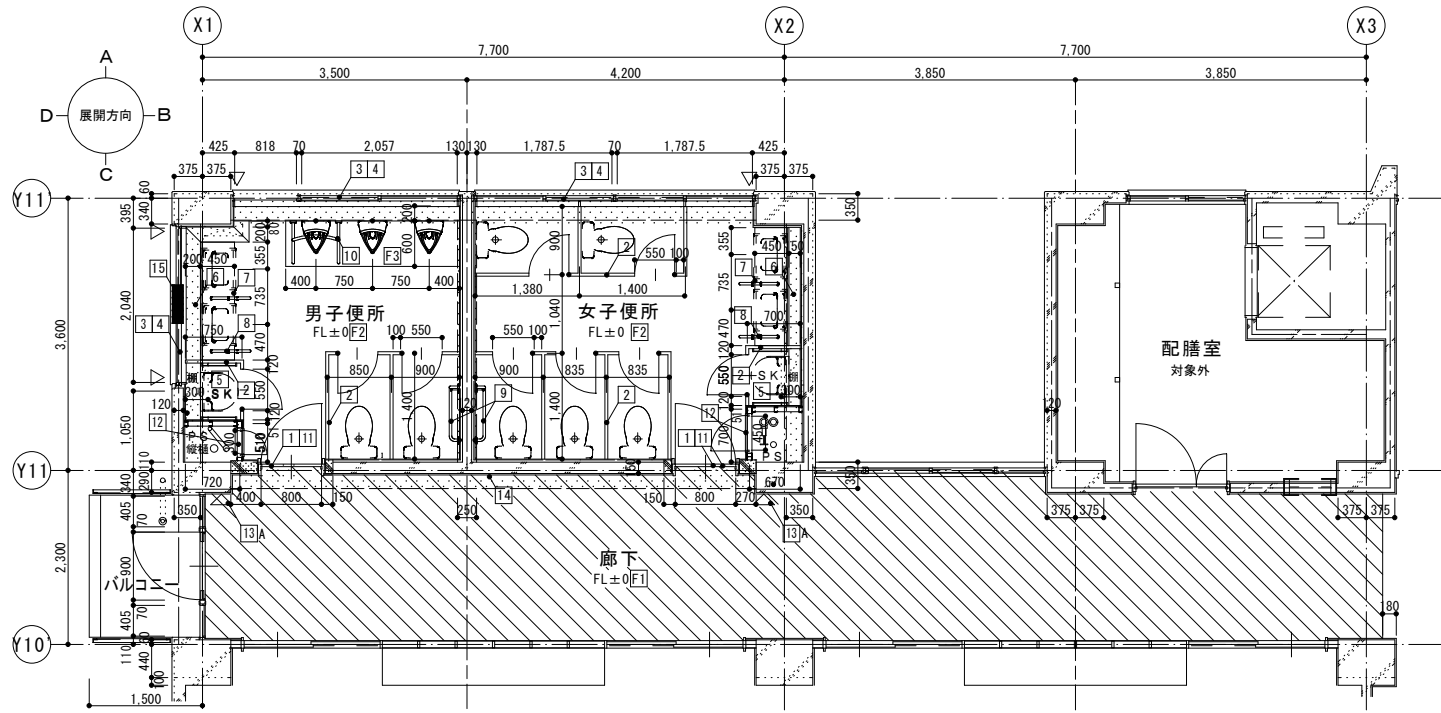
改修前 C棟3階便所展開図



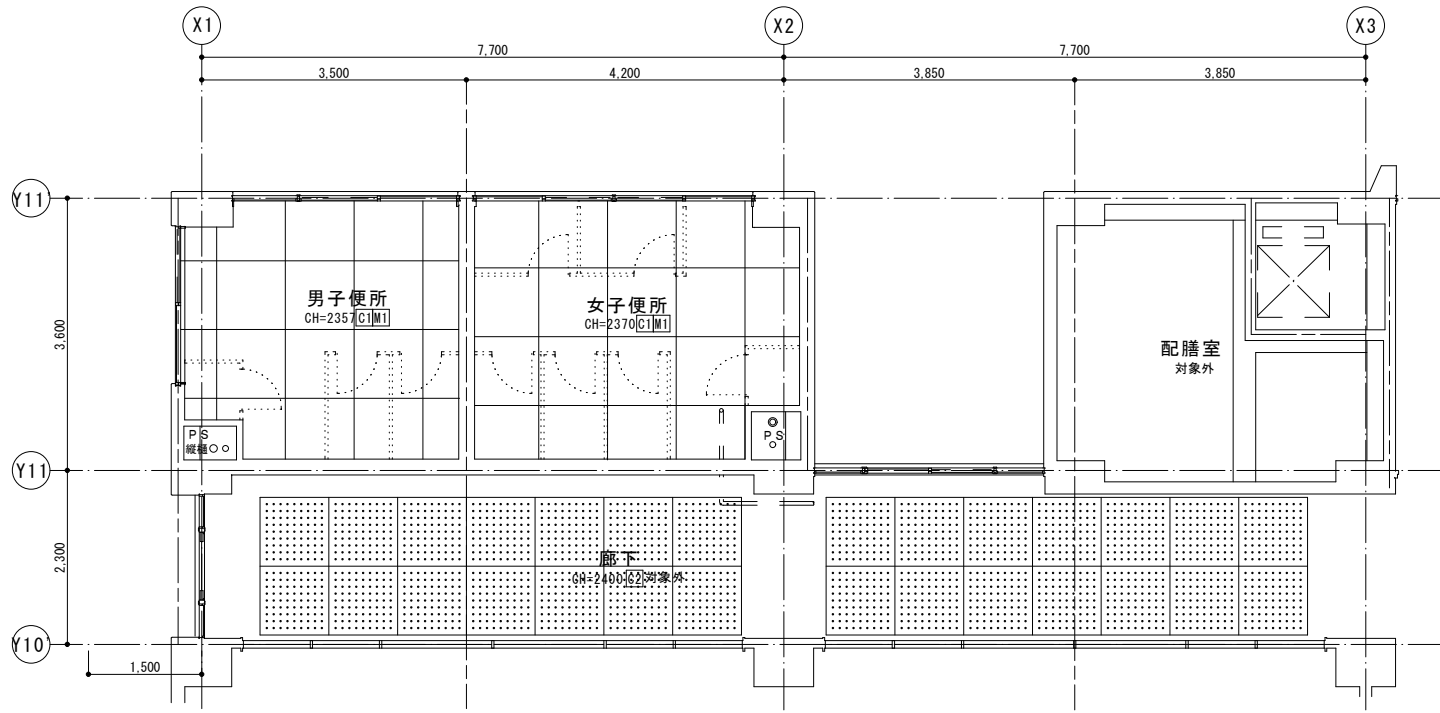
※付アスベスト含有材	
C棟3階仕上表 (処理内容)	
記号	
F1	床 Pタイル貼り (ハッチ部撤去) ※
F2	床 24角磁器モザイクタイル貼り (既設のまま)
B1	巾木 モルタルH100 VE (一部撤去)
W1	壁 モルタル金こて VE (VP) (便所内VP塗装撤去)
W2	壁 100角半磁器タイル (一部撤去)
C1	天井 フレキシブルボード4mmEP-G (軽鉄下地共撤去)
C2	天井 穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボード SOP (既設のまま)
M1	廻縁 塩ビ (撤去)
M2	扉板 木製W100 (既設のまま)
備考	1 木製建具枠・A:厚800×1900・B:引き戸900×1900・袖壁付厚400×1950 (撤去) 2 トイレブース (撤去) 3 アルミ建具 (既設のまま) 4 人研ぎ手洗い・流し (撤去) 5 ライニング (撤去) 6 木棚板 (撤去) 7 木ハンガー座板450×30 (撤去) 8 木スノコ (撤去) 9 木製室名札 (撤去) 10 ハンガーレールL3600 (既設のまま) 11 スチールガラリ (撤去)

凡例	
	天井点検口450°
	天井照明
	換気扇
	給気口
	衛生器具類
	RC躯体築造
	RC・CS躯体撤去
	仕上げ材部分撤去
	タイル床撤去
	モルタル床撤去
	構造外部スリット

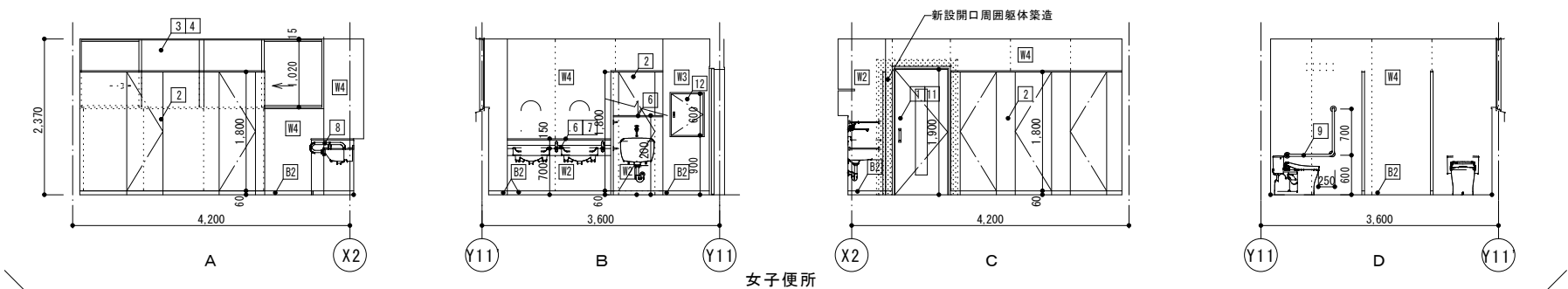
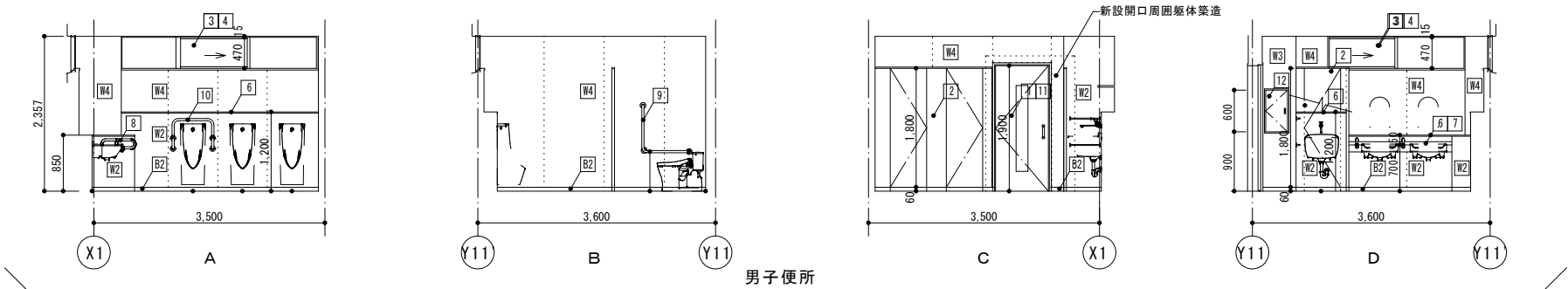
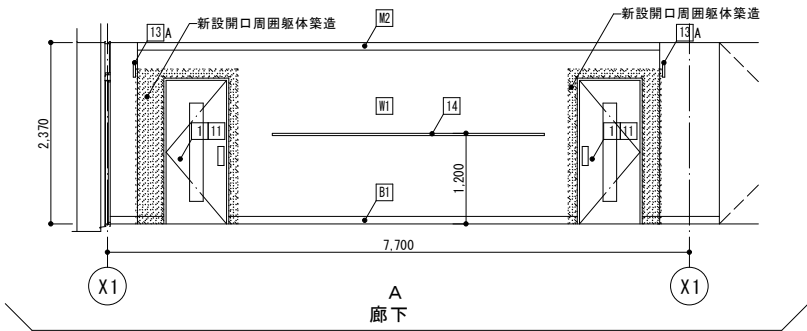
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修前 C棟3階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-20



改修後 C棟3階便所平面詳細図



改修後 C棟3階便所天井伏図

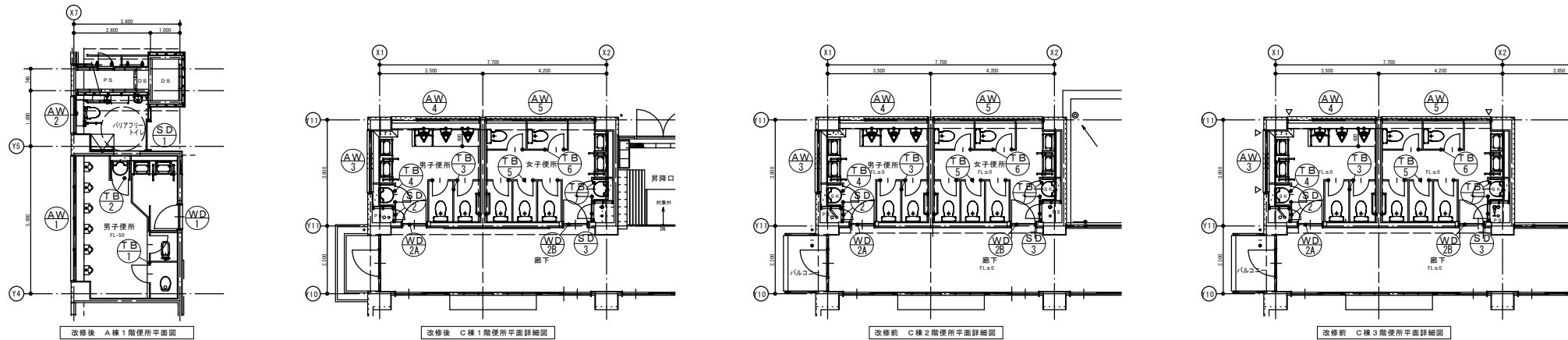


改修後 C棟3階便所展開図

記号	C棟3階仕上表
F1	床 ビニルシート2mm貼り新設
F2	床 溶接金網敷てもみ打ちもみ打レリング ビニルシート2mm貼り新設
F3	床 溶接金網敷てもみ打ちもみ打レリング 防汚抗菌抗ウイルス ビニルシート2mm貼り新設
B1	巾木 モルタルH100一部新設 既設共 EP-G塗
B2	巾木 ビニルシート厚2mm床巻上げ貼りH=60・アルミ押え新設
W1	壁 モルタル金こて一部新設 既設共EP-G塗り
W2	壁 LGS下地耐水合板12mm下張り 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設
W3	壁 LGS下地シーリングボード12.5mm下張り 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設
W4	壁 下地不陸部がオン系もみ打薄塗り 化粧ケイ酸カルシウム板6mm貼り新設
C1	天井 LGS下地組化粧石膏ボード9.5mm新設
C2	天井 穿孔石膏ボード敷目貼り・周囲平石膏ボードSOP (既設のまま)
M1	廻縁 塩ビ製新設
M2	幕板 木製W100 (既設のまま)
備考	1 ドア枠・本装縁付きフラッシュドア片開き新設 2 トイレブース樹脂化粧合板仕上げ新設 3 本願線新設EP-G塗、周囲モルタル補修 4 既設アルミ窓整備調整 5 掃除具入れ新設 (セパノグ-L450×1・雑巾バグ-L450×2・櫛付) 6 配管ライン 甲板 LGS壁下地樹脂ボードストローム新設 7 洗面かみかみ新設 (人工大理石奥行450) 8 手洗い器SUS樹脂被覆手すりφ34新設 9 大便器SUS樹脂被覆手すりφ34新設 10 小便器SUS樹脂被覆手すりφ34新設 11 SUS床見切り新設 12 壁点検調整扉EP-G塗り新設 13 室名札新設 14 ノブ-L3600既設のまま 15 片列撤去跡RC躯体築造防水形複層塗材塗りE ※手洗いカウンター取付け下地合板12mm×2枚張り

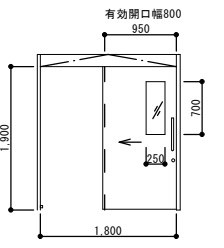
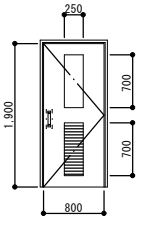
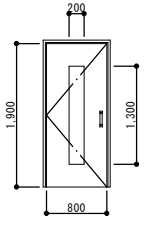
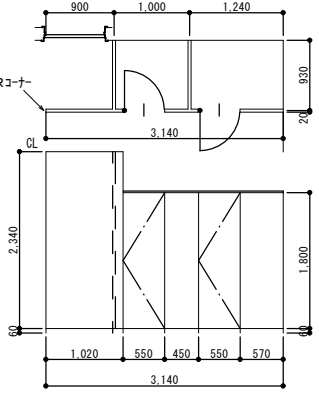
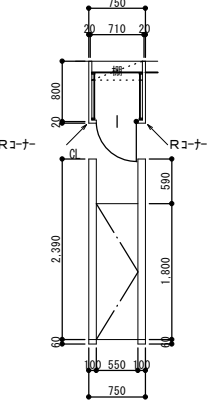
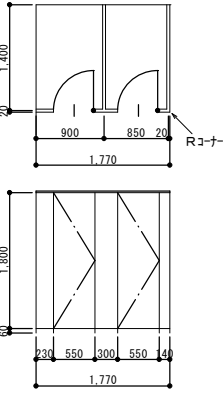
凡例	
	天井点検口450角新設
	天井照明
	換気扇
	給気口
	衛生器具類
	地中梁
	RC躯体築造(展開は○のみ)
	モルタル補修
	LGS下地新設
	天井仕上げ材部分新設
	塗装塗替え部分
	構造外部スリット

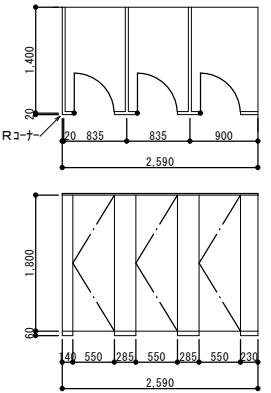
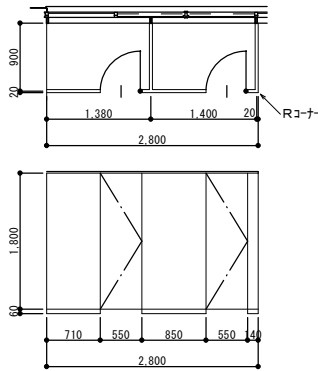
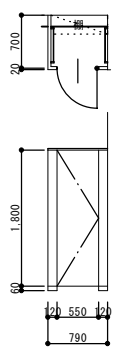
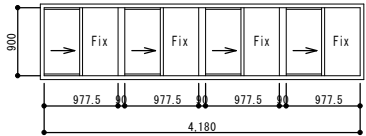
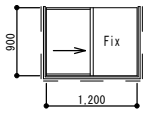
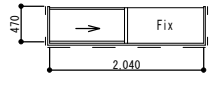
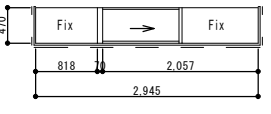
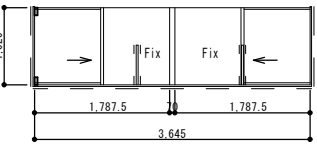
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦房				A1:S=1/50 A3:S=1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	改修後 C棟3階便所平面詳細図・天井伏図・展開図	A-21

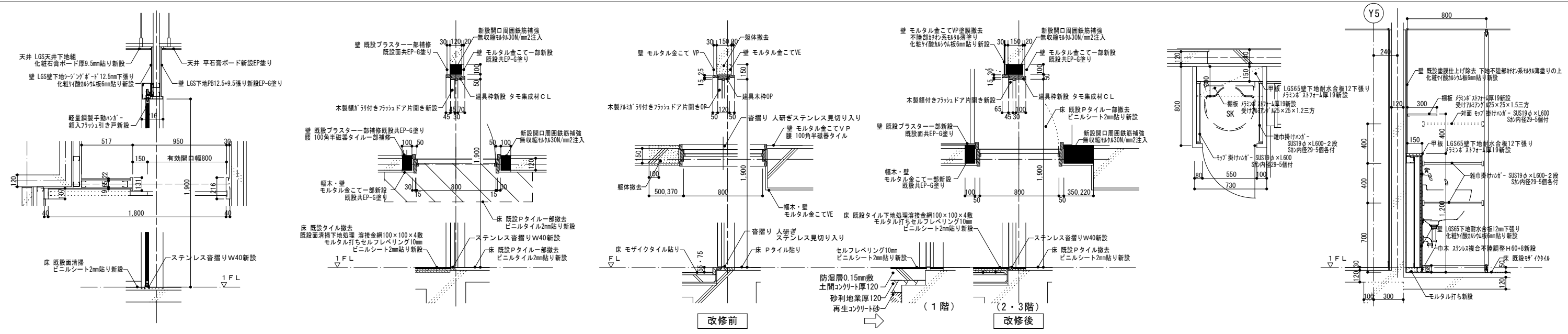


建具キープラン

※トイレブース標準準色：メカ常備色柄材
※トイレブース寸法については、協議決定のこと。

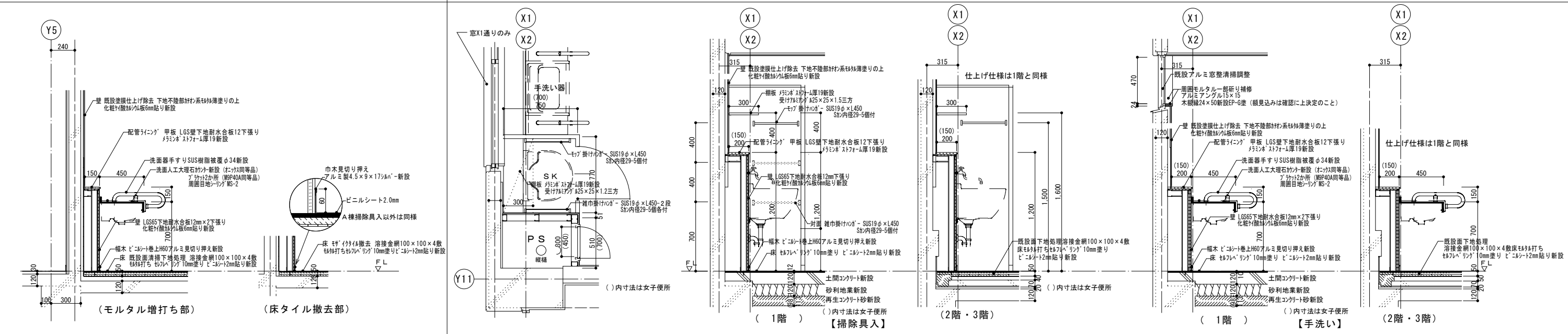
記号・数量	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設	新設
									
記号・数量	1 1 所	3 3 所	3 3 所	1 1 所	3 3 所	3 3 所	1 1 所	1 1 所	3 3 所
形状						姿図はWD/2A、WD/2Bは開き勝手反転			
場所	A棟1階 バリアフリートイレ	C棟1階・2階・3階 男子便所	C棟1階・2階・3階 女子便所	A棟1階 男子便所	C棟1階・2階・3階 男子女子便所		A棟1階 男子便所	A棟1階 男子便所	C棟1階・2階・3階 男子便所
形式	面付軽量鋼製手動心付・縦入7ヶ所引き戸（S同等）	鋼製フラッシュ点検扉	鋼製フラッシュ点検扉	木製縦アルミガラリ付フラッシュ片開き扉	木製縦アルミガラリ付フラッシュ片開き扉		トイレブース	トイレブース	トイレブース
見込	庫40、枠215	50	50	40	40		40	40	40
材質・仕上	化粧鋼板	E P - G	E P - G	メラミン化粧板 小口塗装	メラミン化粧板 小口塗装		メラミン化粧板 アルアルミエッジ	メラミン化粧板 アルアルミエッジ	メラミン化粧板 アルアルミエッジ
硝子	型板ガラス4mm			網入り型板ガラス6.8mm（シーリング留め）	網入り型板ガラス6.8mm（シーリング留め）				
金物	引き棒、表示付非常解除シグナル型押し錠、自動閉鎖装置2ヶ所付、戸当り、付属金物一式	ワンタッチ平面ハンドル錠、中心吊、付属金物一式	ワンタッチ平面ハンドル錠、中心吊、付属金物一式	丁番3ヶ所、102×89×20-3枚、1700-2ヶ所付、上枠付戸当り、742×742型トイレ押板・握手、SUS床見切りW40	丁番3ヶ所、102×89×20-3枚、1700-2ヶ所付、上枠付戸当り、742×742型トイレ押板・握手、SUS床見切りW40		中心吊り、1700-2ヶ所付、表示付き2ヶ所付（非常解除付き）、SUS市木、戸当り、付属金物一式	中心吊り、1700-2ヶ所付、表示付き2ヶ所付（非常解除付き）、SUS市木、戸当り、付属金物一式	中心吊り、1700-2ヶ所付、表示付き2ヶ所付（非常解除付き）、SUS市木、戸当り、付属金物一式
備考	戸先・戸底・指はさみ防止ゴム付、ウレタン付	溶融亜鉛めっき鋼板	溶融亜鉛めっき鋼板	枠：タモ集成材枠35×200 C L 塗り	枠：タモ集成材枠35×200 C L 塗り		出隅Rコーナー、指鉄防止、	出隅Rコーナー、指鉄防止、欄干付補強下地	出隅Rコーナー、指鉄防止、紙巻器補強下地

記号・数量	新設	新設	新設	改修	改修	改修	改修	改修	改修
									
記号・数量	3 3 所	3 3 所	3 3 所	1 1 所	1 1 所	3 3 所	3 3 所	3 3 所	3 3 所
形状									
場所	C棟1階・2階・3階 女子便所	C棟1階・2階・3階 女子便所	C棟1階・2階・3階 女子便所	A棟1階 男子便所	A棟1階 男子便所	C棟1階・2階・3階 男子便所	C棟1階・2階・3階 男子便所	C棟1階・2階・3階 男子便所	C棟1階・2階・3階 女子便所
形式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	既存 アルミ製板め殺し付片引き防音窓（既設のまま）	既存 アルミ製板め殺し付片引き防音窓（既設のまま）	既存 アルミ製板め殺し付片引き防音窓（既設のまま）	既存 アルミ製板め殺し付片引き防音窓（既設のまま）	既存 アルミ製板め殺し付片引き防音窓（既設のまま）	既存 アルミ製板め殺し付片引き防音窓（既設のまま）
見込	40	70	40	70	70	70	70	70	70
材質・仕上	メラミン化粧板 アルアルミエッジ	メラミン化粧板 アルアルミエッジ	メラミン化粧板 アルアルミエッジ	アルマイト（既設のまま）	アルマイト（既設のまま）	アルマイト（既設のまま）	アルマイト（既設のまま）	アルマイト（既設のまま）	アルマイト（既設のまま）
硝子	中心吊り、1700-2ヶ所付、表示付き2ヶ所付（非常解除付き）、SUS市木、戸当り、付属金物一式	中心吊り、1700-2ヶ所付、表示付き2ヶ所付（非常解除付き）、SUS市木、戸当り、付属金物一式	中心吊り、1700-2ヶ所付、表示付き2ヶ所付（非常解除付き）、SUS市木、戸当り、付属金物一式	既設の調整（戸車、ATハンドル）	既設の調整（戸車、ATハンドル）	既設の調整（戸車、ATハンドル）	既設の調整（戸車、ATハンドル）	既設の調整（戸車、ATハンドル）	既設の調整（戸車、ATハンドル）
備考	出隅Rコーナー、指鉄防止、紙巻器補強下地	出隅Rコーナー、指鉄防止、	出隅Rコーナー、指鉄防止、欄干付補強下地	点検調整清掃	3方アルミアングル木額縁新設EP-G塗、点検調整清掃	3方アルミアングル木額縁新設EP-G塗、点検調整清掃	3方アルミアングル木額縁新設EP-G塗、点検調整清掃	3方アルミアングル木額縁新設EP-G塗、点検調整清掃	3方及び便房仕切りアルミアングル木額縁新設EP-G塗、点検調整清掃



A棟男子便所手洗い廻り詳細図 S=1/20

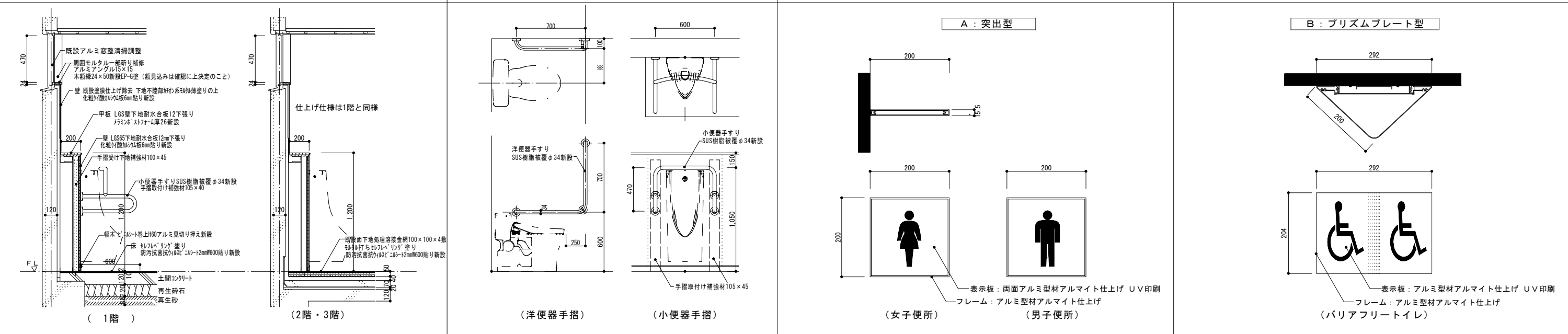
C棟男子・女子便所掃除道具入り 手洗い廻り詳細図 S=1/20



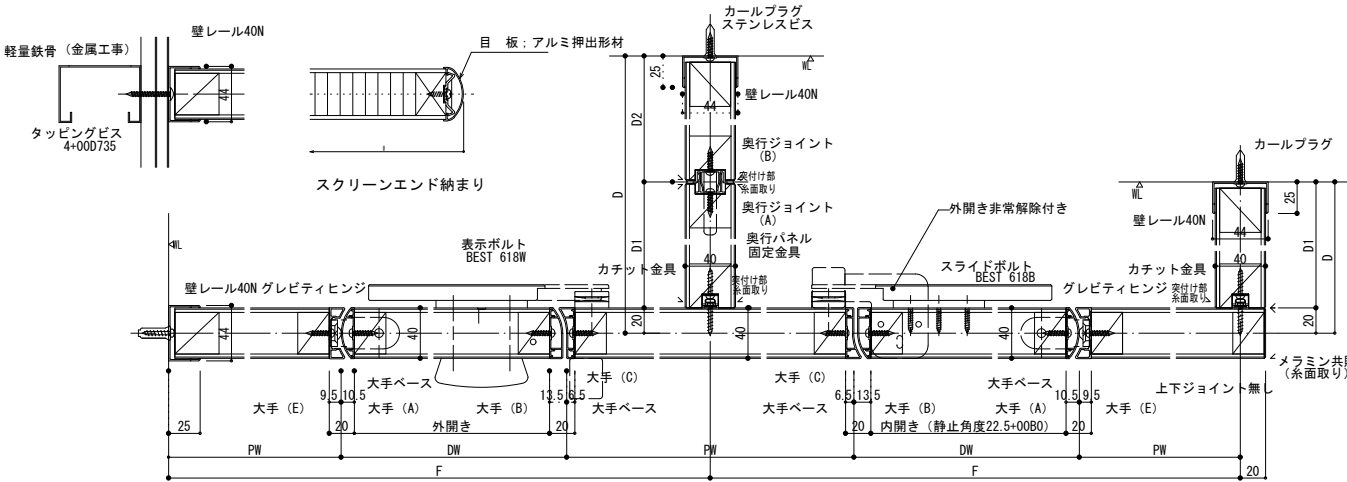
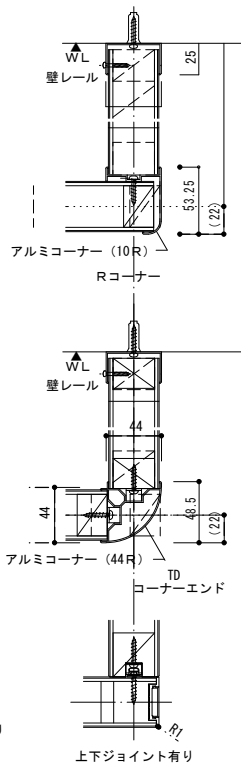
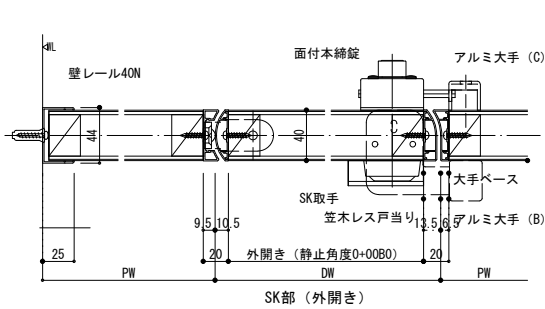
トイレブース参考詳細図（参考図） S=1/5

便器手摺詳細図 S=1/20

ピクトサイン詳細図 S=1/5

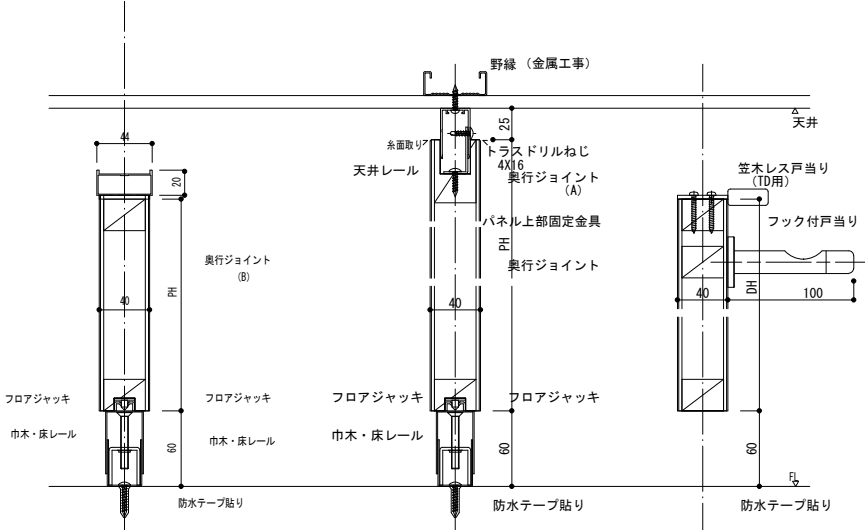


仕 様	
表面材・色番号	高圧メラミン樹脂化粧合板（標準単色：建材メーカー常備品）
枠材	LVL（単板積層材）
芯材	ペーパーコア
エッジ	7A型押出材 A6063S-T5 陽極酸化皮膜 OL仕上
巾木・床レール	SUS304ヘアライン仕上げ
天井レール	7A型押出材 A6063S-T5 陽極酸化皮膜 OL仕上
ヒンジ	グレビティヒンジ SUS304（中心長712mm）
スライドボルト（内）	亜鉛ダイキャスト（シルバー塗装）他
表示付スライドボルト（外）	亜鉛ダイキャスト（シルバー塗装）他
スライドボルト	黄銅（サンチローム）他
笠木レス戸当たり	SUS304ホーニング仕上げ
非常解笠木レス戸当たり	SUS304ホーニング仕上げ
フック付き戸当たり	黄銅（サンチローム）他
SK取手	黄銅（サンチローム）他
面付本締り錠	SUS304ホーニング仕上げ
非常解付表示なしスライドラッチ	アルミダイキャスト（シルバー塗装）他



パネル・内開きドア平面図

パネル出隅平面図

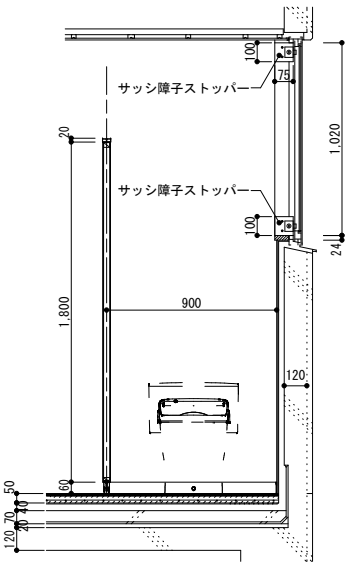


1800高パネル

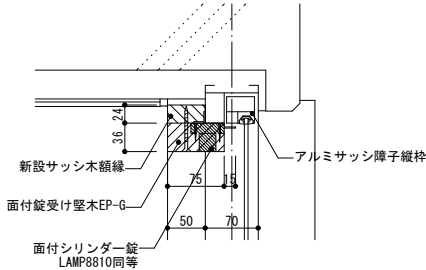
天井高パネル

内開きドア

アルミサッシ障子ストッパー詳細図 S=1/5.1/20

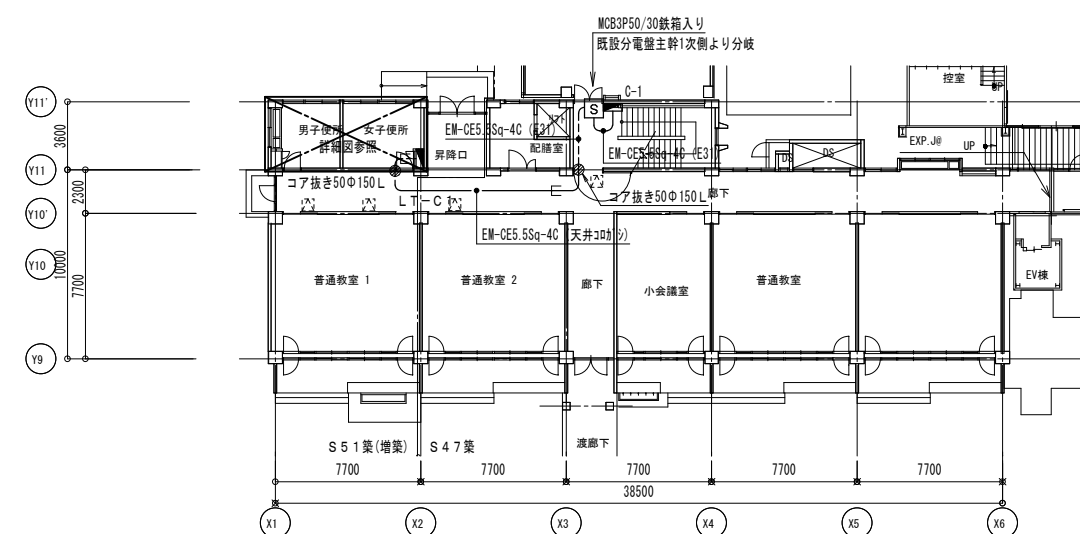


便房断面詳細図



障子ストッパー平面詳細図

摘 要	設計年月日	株 式 会 社 金 子 設 計	総 括	設 計	製 図	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
		事務所登録 管理建築士	一級建築士事務所 一級建築士	埼玉県知事登録(11)第577号 第333287号	木村邦房	A1:S=1/3,10,20 A3:S=1/6,20,40	黒須小学校校舎便所改修工事	部分詳細図(2)	A-24



凡例

図示美線の器具・配管配線は新設とする。

	立り部E19にて保護
	電灯壁
	壁口抜き補修
	天井点検口(新設)
	天井点検口(既存)

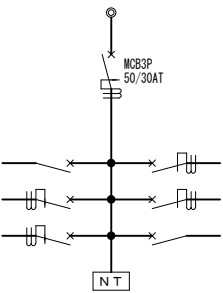
摘 要		設 計 年 月 日	株 式 会 社 金 子 設 計 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男	総 括	設 計	製 図	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
							A1:1/200 A3:1/400	黒須小学校校舎便所改修工事	幹線設備 1～3階平面図	E-02

新設電灯盤
屋内壁掛型 銅製
参考型番 日東PEN3-06JC

1φ3W 200-100V 50Hz
C1よりEM-CE5.5-4C

C2 (3) よりEM-CE5.5-4C

照明・換気(男・女)	250W	100V	①
女子便所コンセント	1000W	100V	②
男子便所コンセント	100W	100V	④

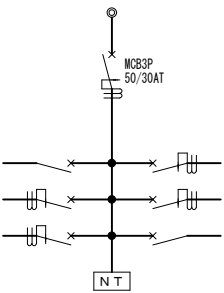


①	100V	700W	女子便所コンセント
③	100V	700W	男子便所コンセント
⑤	100V		予備

合計負荷容量 2750W

L T - C 1

照明・換気(男・女)	250W	100V	①
女子便所コンセント	1000W	100V	②
男子便所コンセント	100W	100V	④



①	100V	700W	女子便所コンセント
③	100V	700W	男子便所コンセント
⑤	100V		予備

合計負荷容量 2750W

L T - C 2

L T - C 3

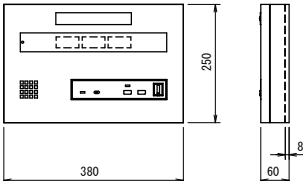
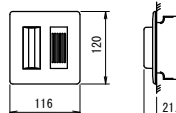
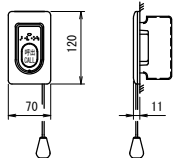
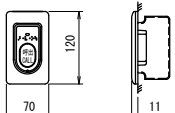
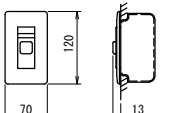
凡例

ELCB50/20AT

MCCB50/20AT

機器姿図

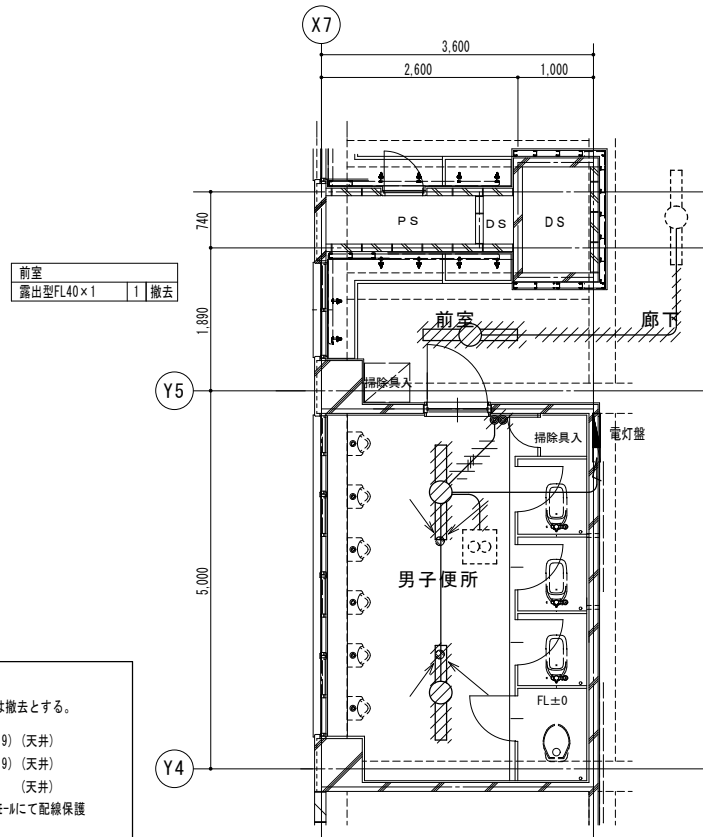
A ダウンライト 100形 光束:1,045lm 消費電力:7W	B ダウンライト 150形 光束:1,695lm 消費電力:11.6W	C 直付型 40形×2灯 光束:5,200lm 消費電力:31.9W
		
公共型番: LRS1-08	公共型番: LRS1-13	公共型番: LSS1-4-48

表示器 3窓用	○ ブザー付廊下灯	呼出ボタン(引きひも、点字文付)	呼出ボタン(点字文付)	復旧ボタン																																										
CBN-3C-RN 	NR-B2LA27 	NBR-7HWA-TC110 	NBR-7HWA-TC 	NBR-2A-C 																																										
<table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz (内部電便DC12V)</td></tr><tr><td>形 状</td><td>壁取付形</td></tr><tr><td>材 質</td><td>SPCC t1.2</td></tr><tr><td>窓 数</td><td>3窓</td></tr><tr><td>表示方式</td><td>呼出音と表示窓点灯</td></tr></table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電便DC12V)	形 状	壁取付形	材 質	SPCC t1.2	窓 数	3窓	表示方式	呼出音と表示窓点灯	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)</td></tr><tr><td>材 質</td><td>プレート：自己消火性樹脂</td></tr><tr><td>備 考</td><td>ランプカバー：ポリカーボネート</td></tr><tr><td></td><td>ブザー付</td></tr></table>	形 状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)	材 質	プレート：自己消火性樹脂	備 考	ランプカバー：ポリカーボネート		ブザー付	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)</td></tr><tr><td>材 質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr><tr><td>備 考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用</td></tr><tr><td></td><td>点字案内文有</td></tr></table>	形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)	材 質	自己消火性樹脂	備 考	引きひも式、押ボタン式両用		点字案内文有	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)</td></tr><tr><td>材 質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr><tr><td>備 考</td><td>押ボタン式</td></tr><tr><td></td><td>点字案内文有</td></tr></table>	形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)	材 質	自己消火性樹脂	備 考	押ボタン式		点字案内文有	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)</td></tr><tr><td>材 質</td><td>樹脂</td></tr><tr><td>備 考</td><td>非防水形</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)	材 質	樹脂	備 考	非防水形		
電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電便DC12V)																																													
形 状	壁取付形																																													
材 質	SPCC t1.2																																													
窓 数	3窓																																													
表示方式	呼出音と表示窓点灯																																													
形 状	壁埋込型(JIS2個用スイッチボックス)																																													
材 質	プレート：自己消火性樹脂																																													
備 考	ランプカバー：ポリカーボネート																																													
	ブザー付																																													
形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)																																													
材 質	自己消火性樹脂																																													
備 考	引きひも式、押ボタン式両用																																													
	点字案内文有																																													
形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)																																													
材 質	自己消火性樹脂																																													
備 考	押ボタン式																																													
	点字案内文有																																													
形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)																																													
材 質	樹脂																																													
備 考	非防水形																																													

※外形、寸法は参考とする。

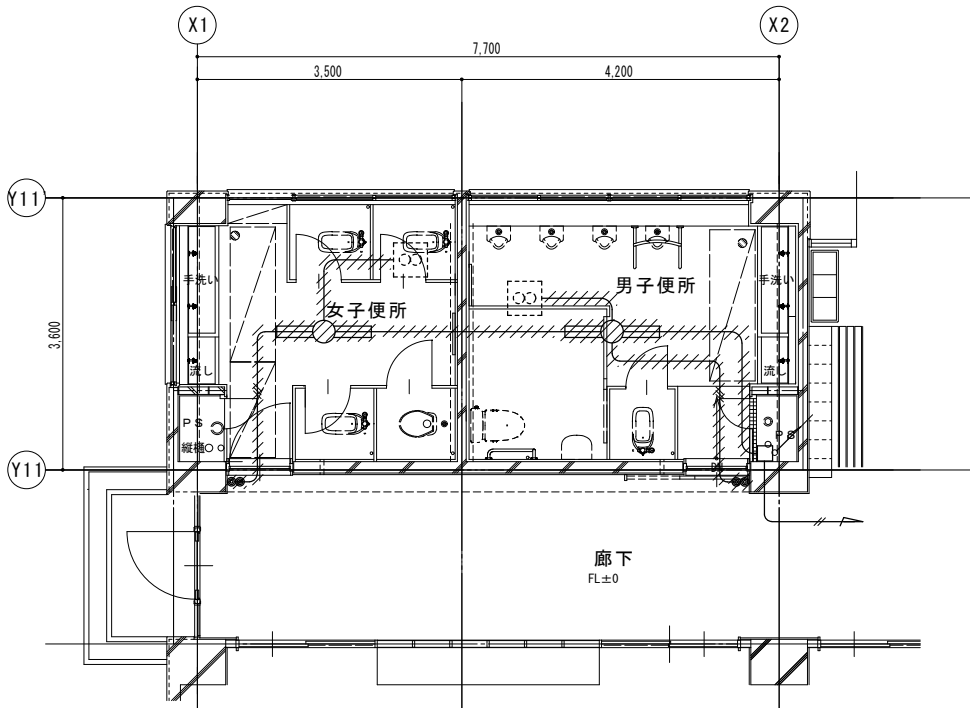
摘要		設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村邦男				A1:N, S A3:N, S	黒須小学校校舎便所改修工事	電灯盤図・照明器具姿図	E-03

改修前



改修前 A棟1階便所平面詳細図

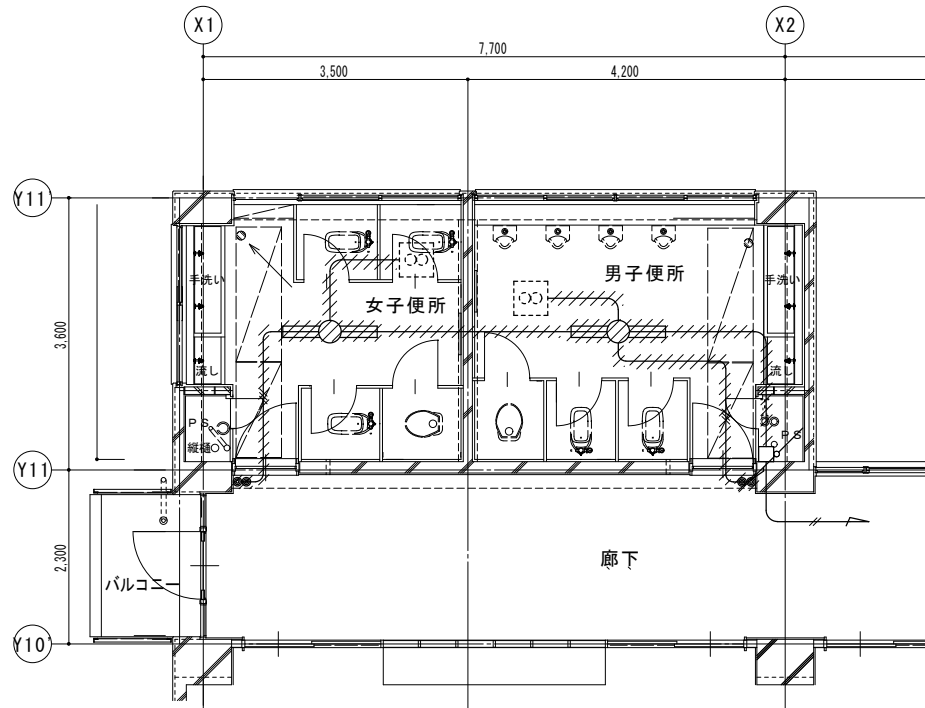
男子トイレ
露出型FL40x1 2 撤去



改修前 C棟1・2階便所平面詳細図

女子トイレ
露出型FL40x1 1 撤去

男子トイレ
露出型FL40x1 1 撤去

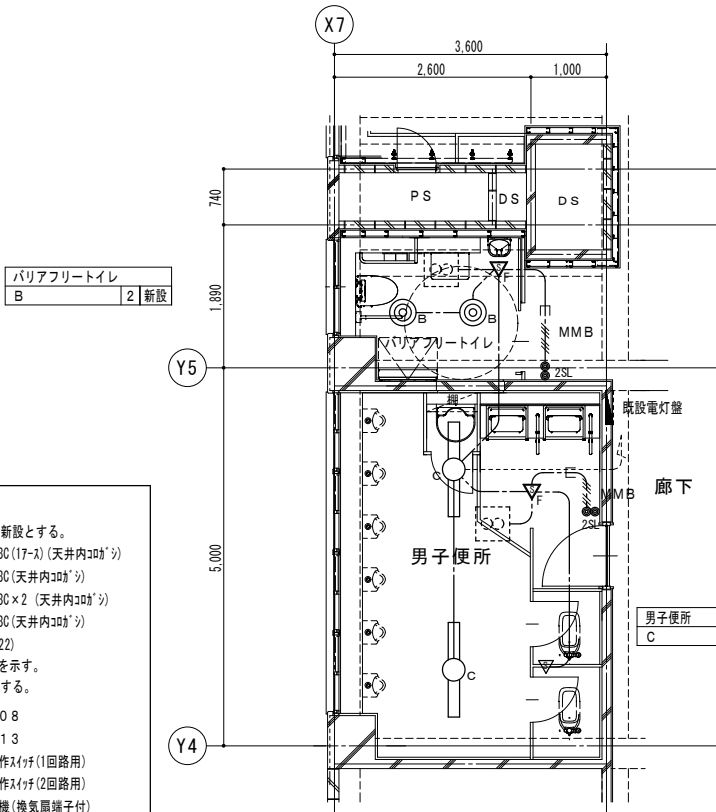


改修前 C棟3階便所平面詳細図

女子トイレ
露出型FL40x1 1 撤去

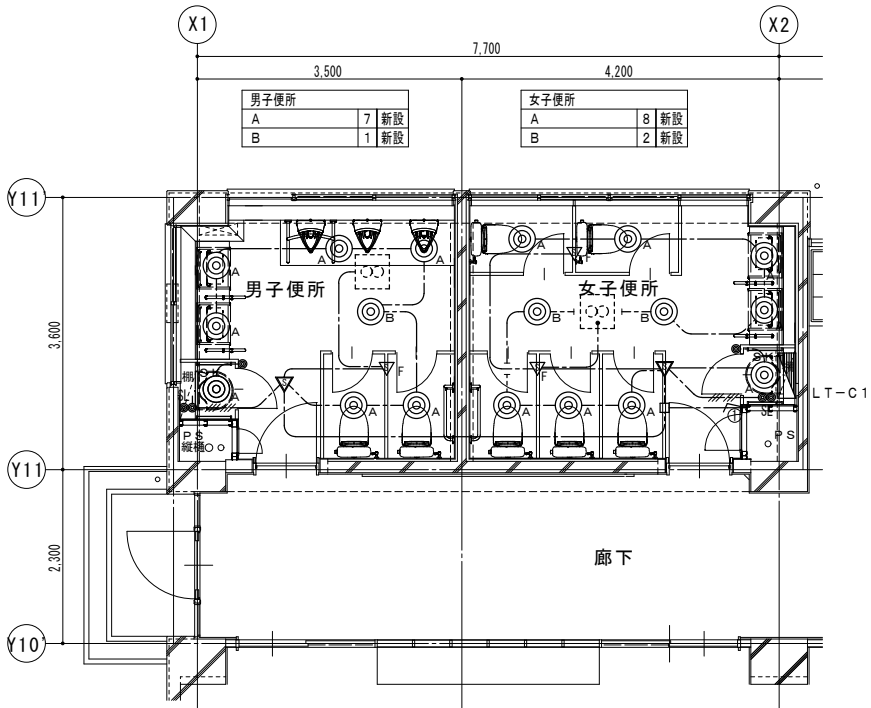
男子トイレ
露出型FL40x1 1 撤去

改修後



改修後 A棟1階便所平面詳細図

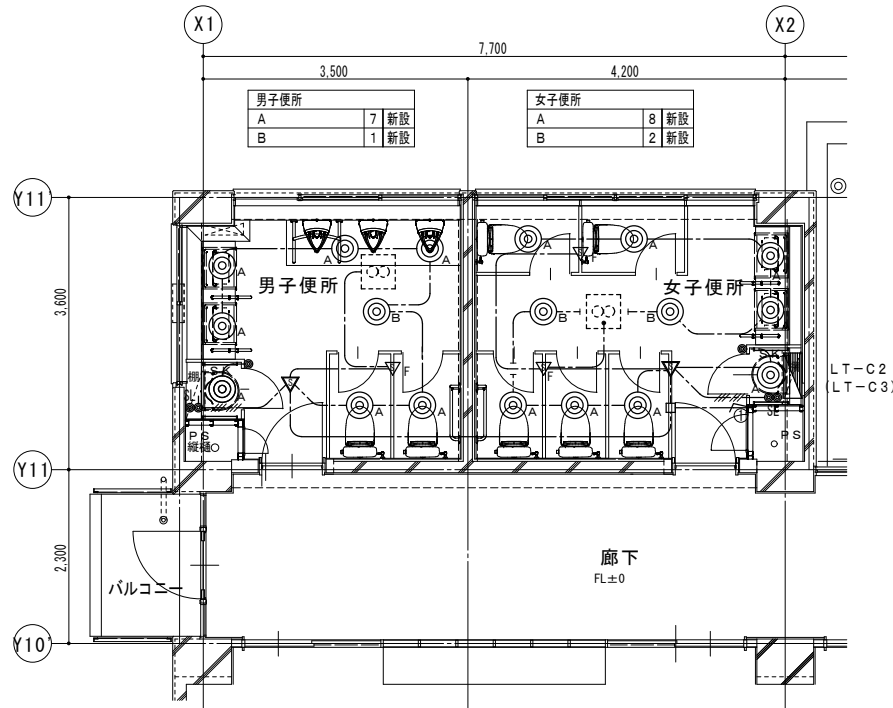
男子便所
C 2 新設



改修後 C棟1階便所平面詳細図

男子便所
A 7 新設
B 1 新設

女子便所
A 8 新設
B 2 新設



改修後 C棟2・3階便所平面詳細図

男子便所
A 7 新設
B 1 新設

女子便所
A 8 新設
B 2 新設

凡例
図示実線の器具・配管配線は撤去とする。

- IV1.6x3(19) (天井)
- IV1.6x2(19) (天井)
- VVF1.6-2C (天井)
- 立上部約4mにて配線保護

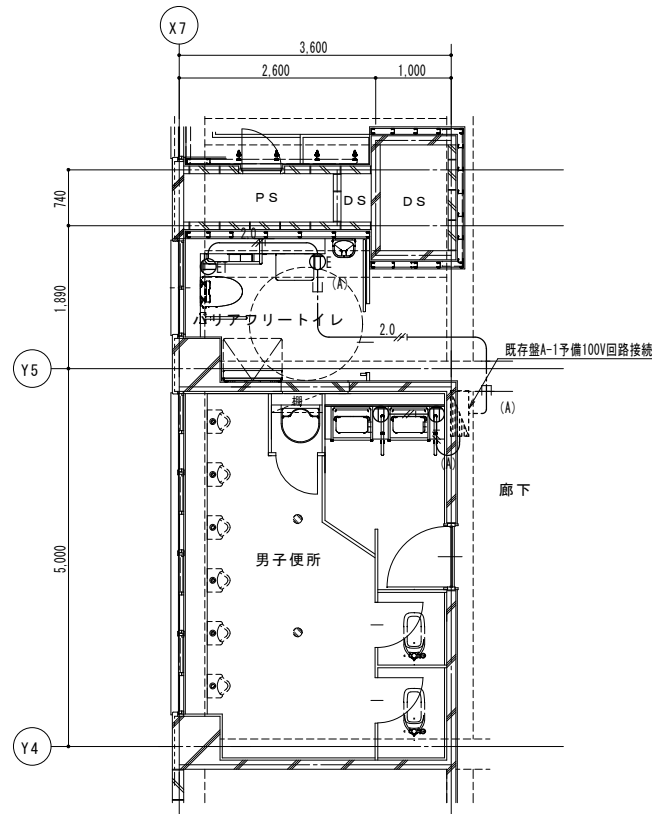
- スリッパP15A×1
- スリッパP15A×2
- スリッパP15A×2+PL×1
- スリッパP15A×3+PL×1

凡例
図示実線の器具・配管配線は新設とする。

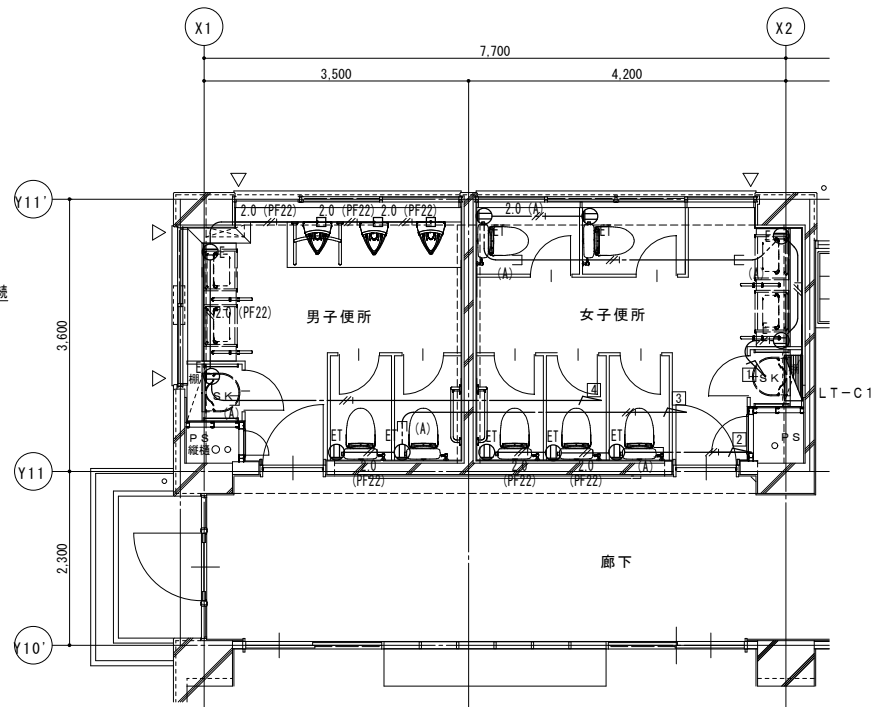
- EM-EFF1.6-3C(17-X) (天井内30m²以内)
- EM-EFF1.6-3C(天井内30m²以内)
- EM-EFF1.6-3C×2 (天井内30m²以内)
- EM-EFF2.0-3C(天井内30m²以内)
- 立下部 (PPD22)
- 既存再利用を示す。
- ※P F配管は、清はつり共とする。

- ◎A LRS1-08
- ◎B LRS1-13
- SL 人感センサー操作スイッチ(1回路用)
- 2SL 人感センサー操作スイッチ(2回路用)
- ▽F 人感センサー機(換気扇端子付)
- ▽ 人感センサー機
- ▽F 人感センサー機(換気扇端子付)
- 770mm²以内

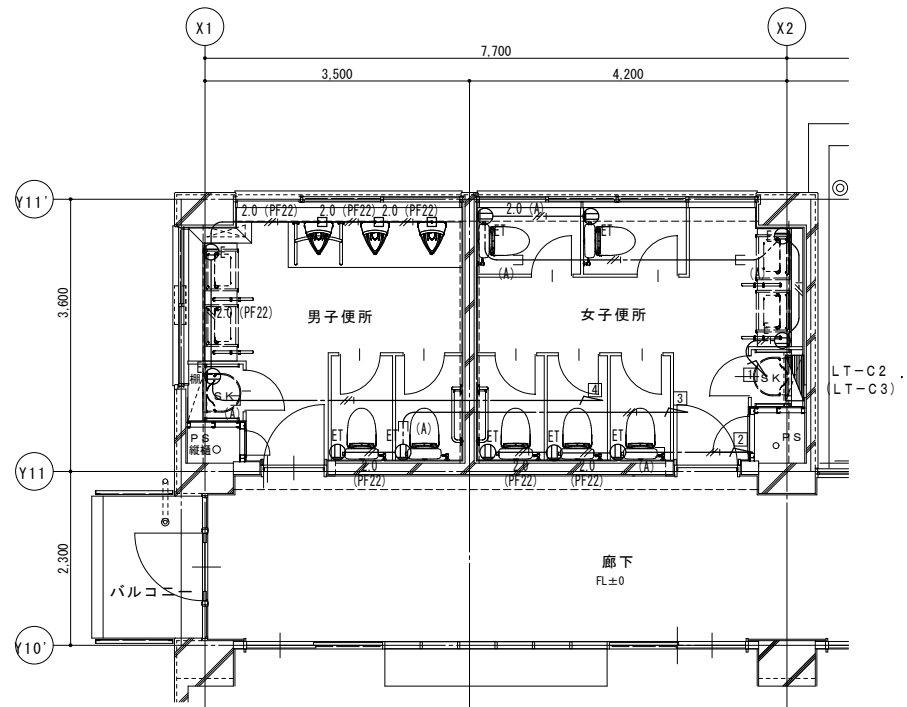
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	☑	☑	☑	A1:1/50 A3:1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	電灯(照明)設備 各階便所平面詳細図	E-04



改修後 A棟1階便所平面詳細図



改修後 C棟1階便所平面詳細図



改修後 C棟2・3階便所平面詳細図

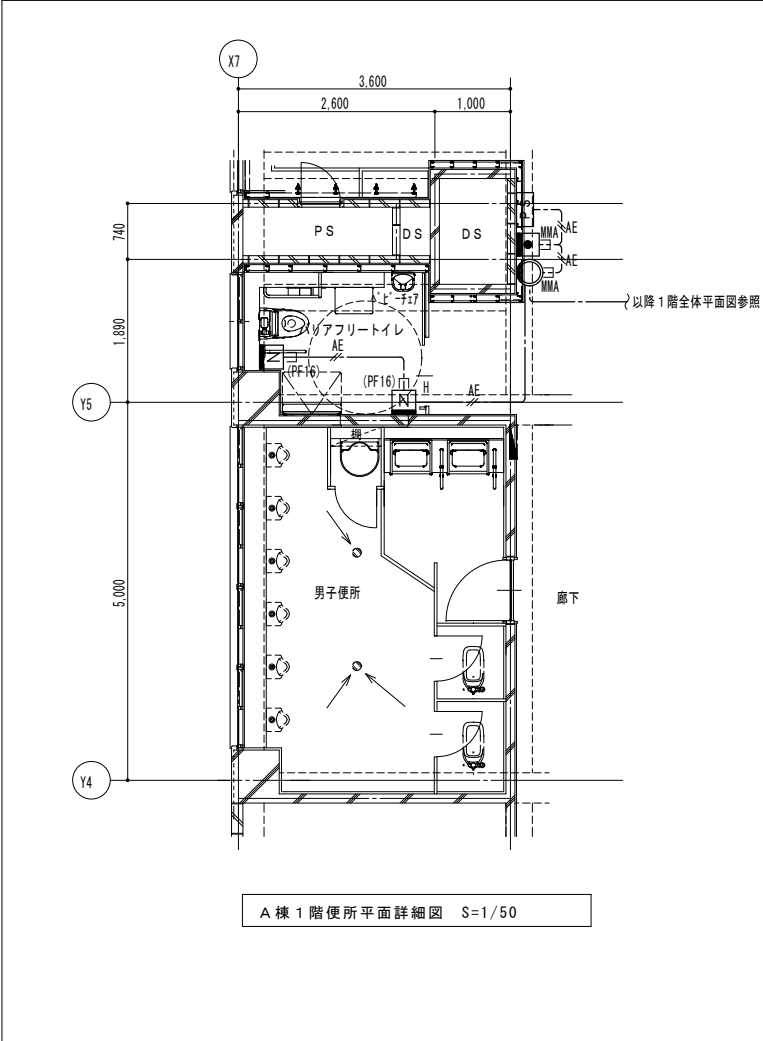
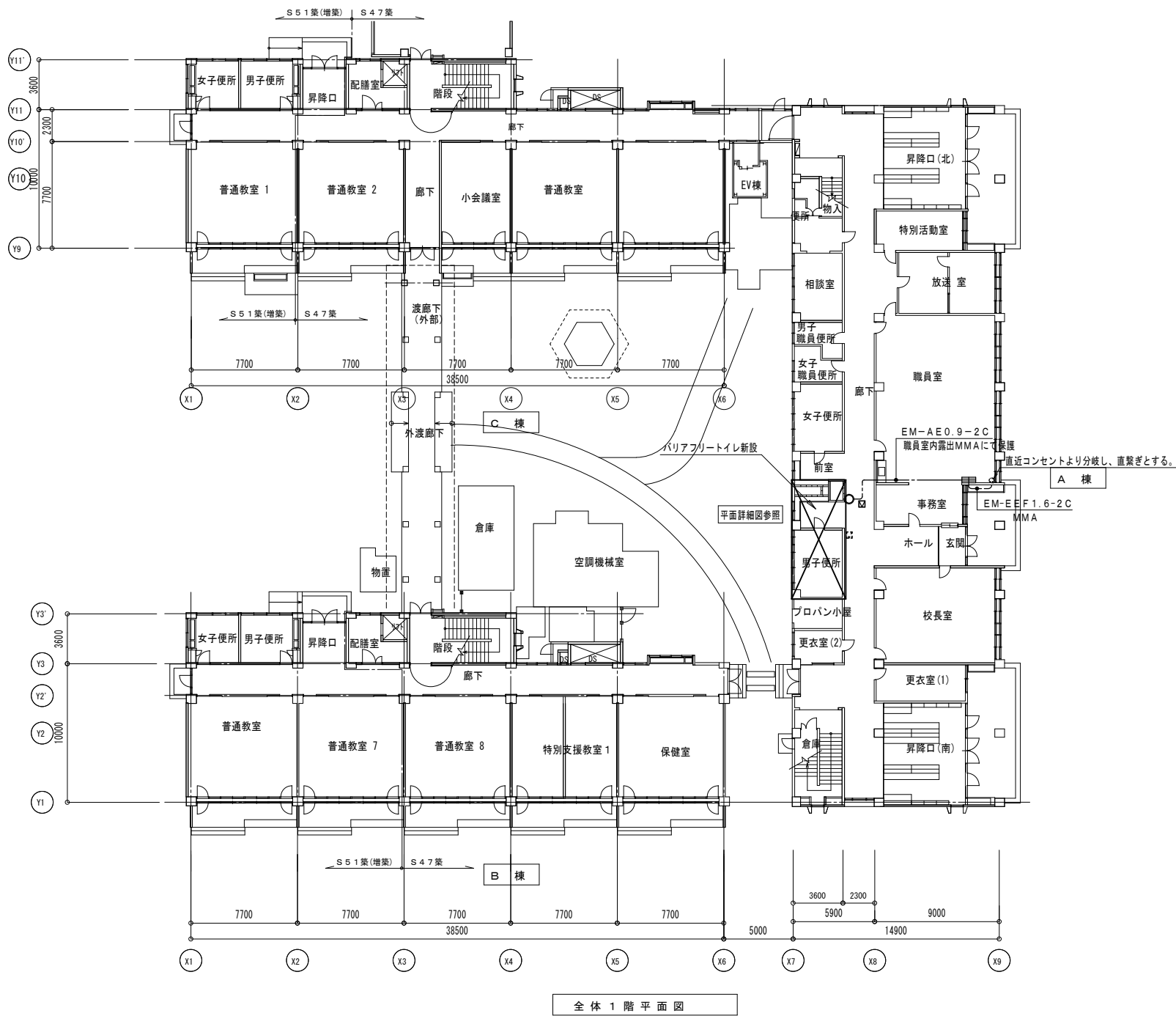
凡例

図示実線の器具・配管配線は新設とする。

- EM-EEF2.0-3C (天井内コネクタ)
- EM-EEF2.0-3C (PFD22)
- 立下部 (PFD22)
- 立下部 (MMA)
- コンセント2P15A×1 (接地極付)
- コンセント2P15A×1 (接地端子付)
- 壁はつり補修

※ P F 配管は、溝はつり共とする。

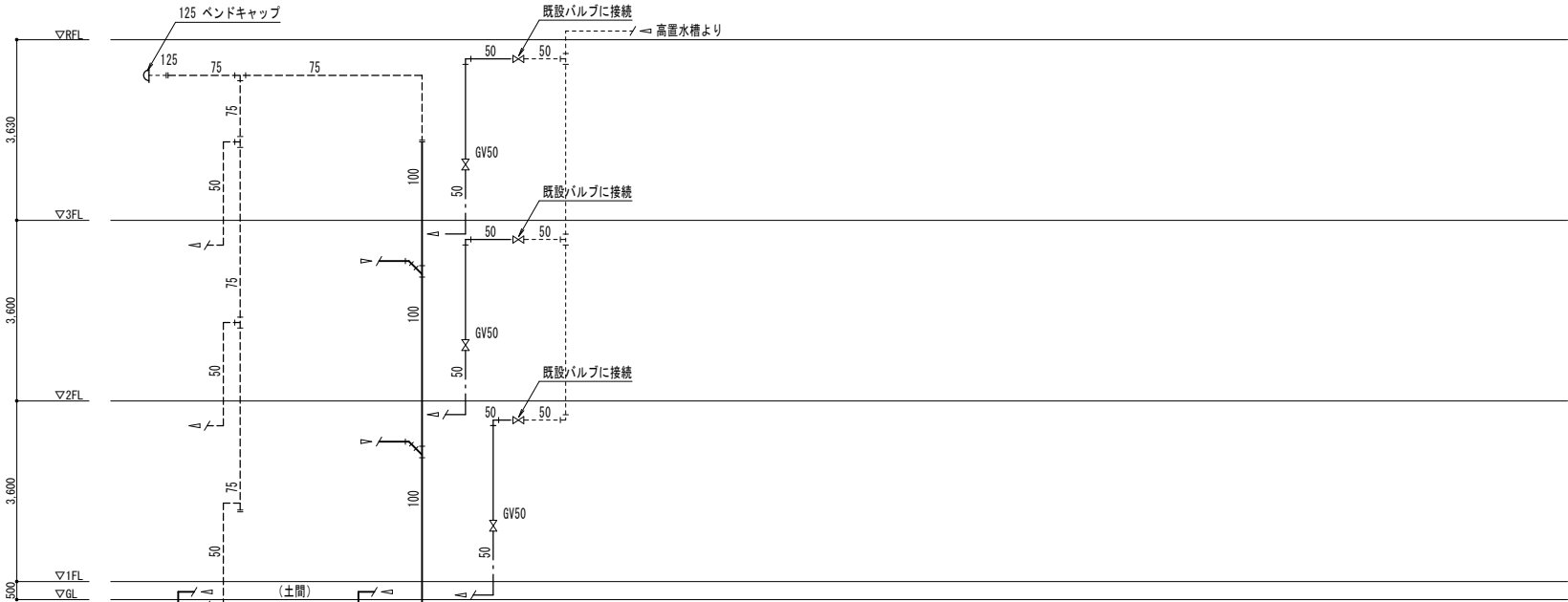
摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	☑	☑	☑	A1:1/50 A3:1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	電灯(コンセント)設備 各階便所平面詳細図	E-05



- 凡例
- 非常用押しボタン
 - 非常用押しボタン 引きひも付き
 - 復旧ボタン
 - 表示灯 プラグ付
 - 電源供給機
 - PBa00×b00×c00 F:スチール製(露出) S:樹脂製(隠蔽)
 - 表示器 3 窓用
 - EM-AE0.9-2C PF16
 - EM-AE0.9-3C PF16
 - EM-AE0.9-2C MMA
 - EM-AE0.9-2C コード付
 - EM-AE0.9-2C G16
 - 天井点検口(新設)
 - 天井点検口(既設)

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	●	●	●	A1:1/50・200 A3:1/100・400	黒須小学校校舎便所改修工事	トイレ呼出設備1階全体平面図・東側1階平面詳細図	E-06

	(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。		18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記に示す。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県緑川調達進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。		12 騒音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・バリアフリートイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。			
	(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時期取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時期取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。		1 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ※アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	●給水設備	① 配管材料	配管材料は、※下記 ※図面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。 施工箇所 管種別 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) ※SUS ・SGP-PD ・ポリブテン管 ウエット厨房、浴室等の湿溜シンダー内配管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS ・SGP-PD 地中埋設部(水道直結部分) ※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配用水用ポリエチレン管(PE) 地中埋設部(一般部分) ※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(PE) ・ 県営住宅 住戸内 ※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法) 便所天井内、P S内(注5) ※高密度ポリエチレン管(32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管(10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 湿溜シンダー内配管 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS ・SGP-PD 地中埋設部(一般部分) ※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(PE) 便所天井内、P S内(注5) ※高密度ポリエチレン管(32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管(10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管 (注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部(・圧縮・ダグ)は ※拡張 便所・廊下流し廻り露出配管(※拡張)とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-Iによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を付した通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大径器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂(PE100)を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものを用いる。 7. 地中埋設部(水道直結部分)は水道事業者の指示による。	② 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 ③ 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット 4 柵の適用 別紙柵表による。		
○空気調和設備	1 設計温湿度	外 気 屋 内 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 夏 期 37.1℃ 47.1% 28℃ %℃ %℃ %℃ %℃ % 冬 期 0.5℃ 49.4% 20℃ %℃ %℃ %℃ %℃ % ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	② 円形ダクト	※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。		③ その他		○給湯設備	1 配管材料 ・露出部 M銅管 その他 保温付被覆鋼管(M銅管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管(さや管ヘッダー工法) 2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 3 弁 類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-Iによる。 4 ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型 5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。	
	2 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない	3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト				○消火設備	1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP ・高密度ポリエチレン管(消火用) 消火用 一般配管※SGP(白) ・STPG370(白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP 不活性ガス消火用 ※STPG370(白) Sch40 ・STPG370(白) Sch80 2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4(・(a) ・(b) ・(c))	
	3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) はい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける(測定口は80φとする) ・設けない	4 チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示方法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。				○ガス設備	1 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP(白) 地中埋設 ※PE管 2 ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。	
	4 煙 突	※別途 ・本工事	5 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・)				○厨房設備	1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
	5 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下配箇所は硬質塩化ビニル管(VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管)を使用できる。 ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は(※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・)の排気ダクトには設ける 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(口)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房・湯沸室 ・)用の隠蔽ぺい部ダクト(仕様はh・(イ) ・Ⅹとし範囲は図示による)					○給湯設備	第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥(油分を含む汚泥) m3 ・中間処理施設 市内、(株) ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融含まず) ・中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶融を含む) 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。
	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製	○排煙設備	1 ダクト ※亜鉛鉄板 ・ 2 排煙口の形式 ※天井取付(・スリット形 ※スイング形) ・壁取付(・スリット形 ・スイング形) 3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式(遠隔操作 ・不要 ・要) 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。						舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書
	10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・)	○自動制御	1 中央監視制御装置 ・有り ※無し 2 構成・機能 図示による 3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。						
	12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	●衛生器具設備	① 小便器用節水装置 JIS B 2026(自動水栓)による電気開閉式とし、小便器(※一体形・分離形)とする。 2 バリアフリー対応 ・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり(・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓(・全部 ※一部) ・レバー式水栓(一部) ・シャワー ※サモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・ラック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ※600×800(耐食鏡) ・傾斜鏡(・照明無 ・照明付) ③ 衛生器具付属水栓 (1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。 ④ 自動水栓類の電源 ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電 ⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422(温水洗浄便座)とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ※温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電						
	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空調機と機の冷温水管(出入口共) ※冷水水ヘッダー(往)及び各選り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。 ・洗浄弁操作方は、※手動式・電気開閉式(※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。 7 大便器耐火カバー ※設ける(ピット内は除く) ・設けない ⑧ 掃除流し ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。 ⑨ 排水器具用ゴム継手 ※使用できる ・使用できない							
	15 瞬間流量計	瞬間流量計はビトマー方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は(※1個 ・ 個)付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※図定形 ・着脱形)を設ける。 ・空調機と機の冷温水管の出入口どちらかに(※図定形 ・着脱形)を設ける。	11 水せつけん入れ 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。							
	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷水水ヘッダーの各接続管へ(※図定形 ・着脱形)を設ける。 制御盤には(※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御)の端子を設ける。 なお、フロースイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。								
	17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。								
摘 要		設 計 年 月 日	株 式 会 社 金 子 設 計			総 括 設 計 製 図 縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号	
			事務所登録 一般建築士事務所 埼玉県知事登録(1)第577号 管理建築士 第333287号 木村邦男			●●●	N, S	黒須小学校校舎便所改修工事	機械設備工事特記仕様書(2)	M-02

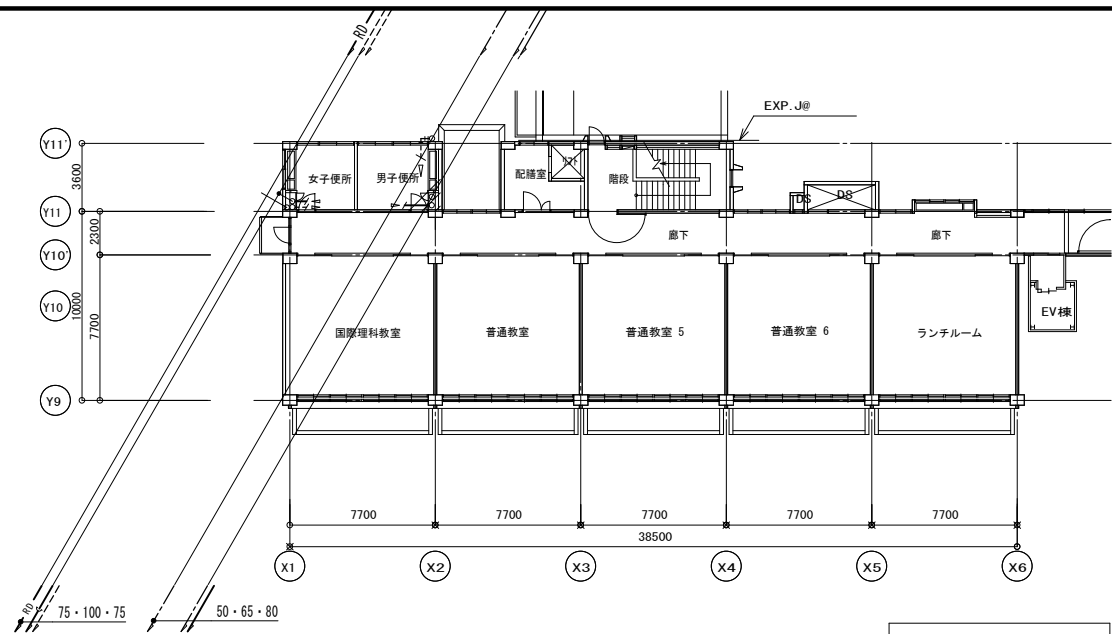


改修後給排水設備 系統図

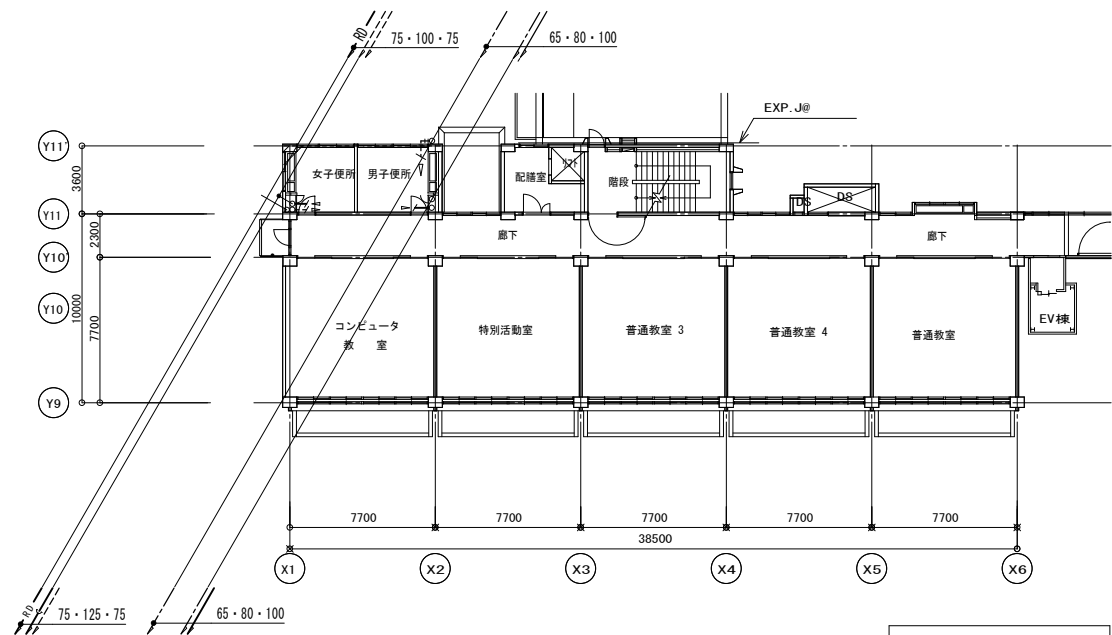
凡 例

記 号	名 称	備 考
	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB）一般 JWWA K 116
		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）土間 JWWA K 116
	排 水 管	耐火性硬質塩化ビニル耐火二層管（VP）防火区画貫通 JIS K 6741
		硬質ポリ塩化ビニル管（VP・VU）地中 JIS K 6741
		硬質ポリ塩化ビニル管（VP）土間内 JIS K 6741
	通 気 管	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（FS-VP）防火区画貫通 JIS K 6741
		硬質ポリ塩化ビニル管（VP）一般・土間内 JIS K 6741
	仕 切 弁	J I S 5 K
	水 栓	
	洗 浄 弁	
	床 上 掃 除 口	
	汚 水 樹	塩ビ製小口径樹
	ベ ン ト キ ャ ッ プ	既存流用
	ス パ イ ラ ル ダ ク ト	亜鉛鉄板 低圧ダクト 厚さ 0.5mm以上
	Ｐ Ｈ （ バ イ プ フ ード ）	ステンレス製深型

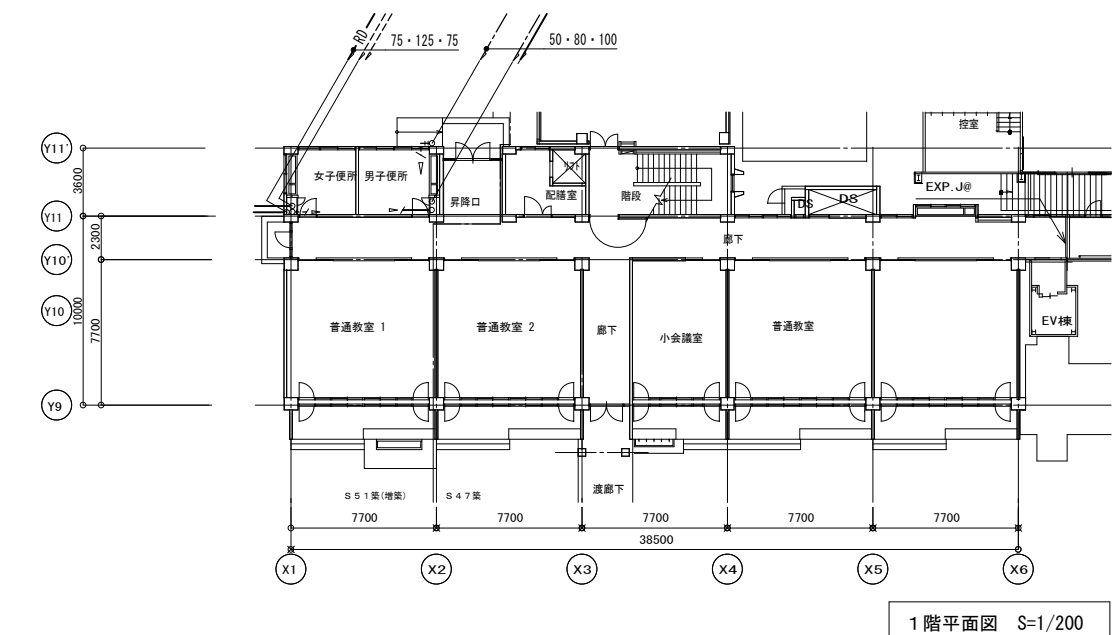
改修前



3階平面図 S=1/200

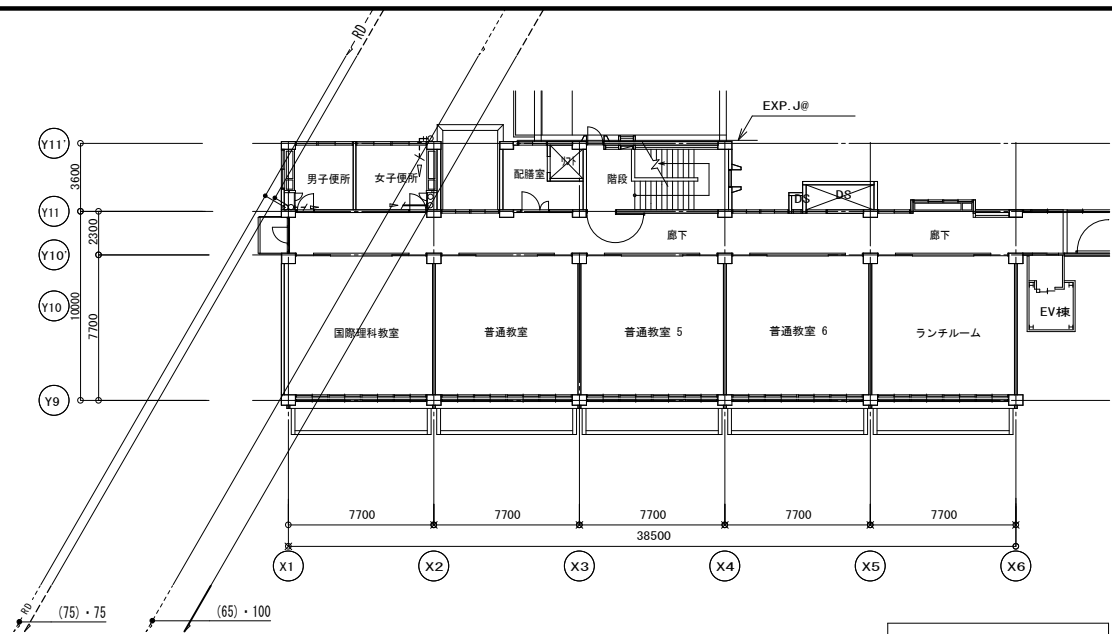


2階平面図 S=1/200

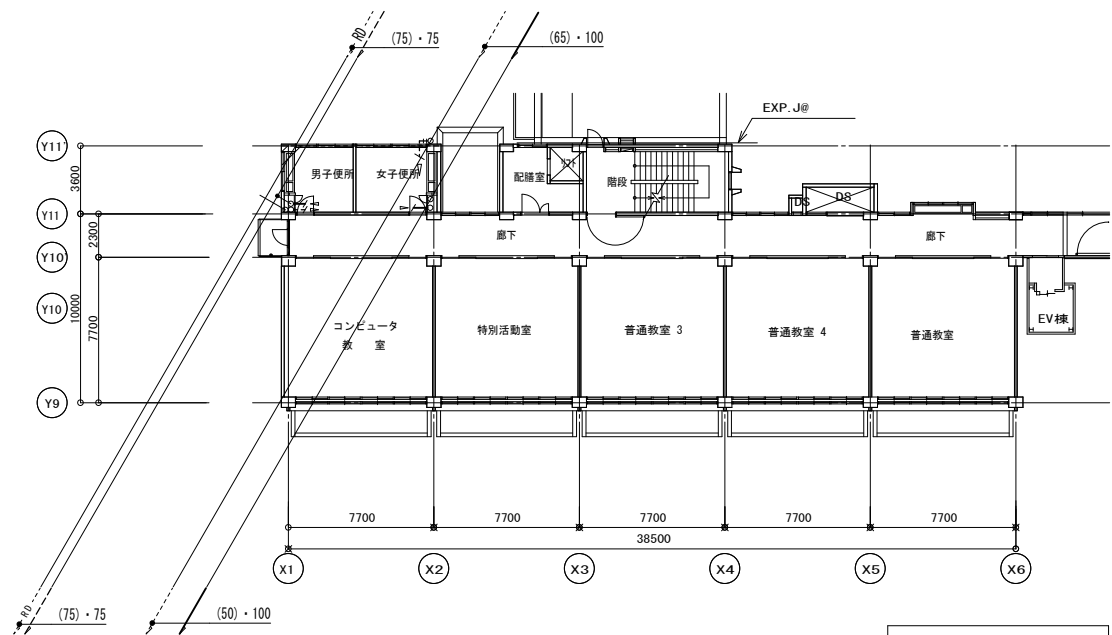


1階平面図 S=1/200

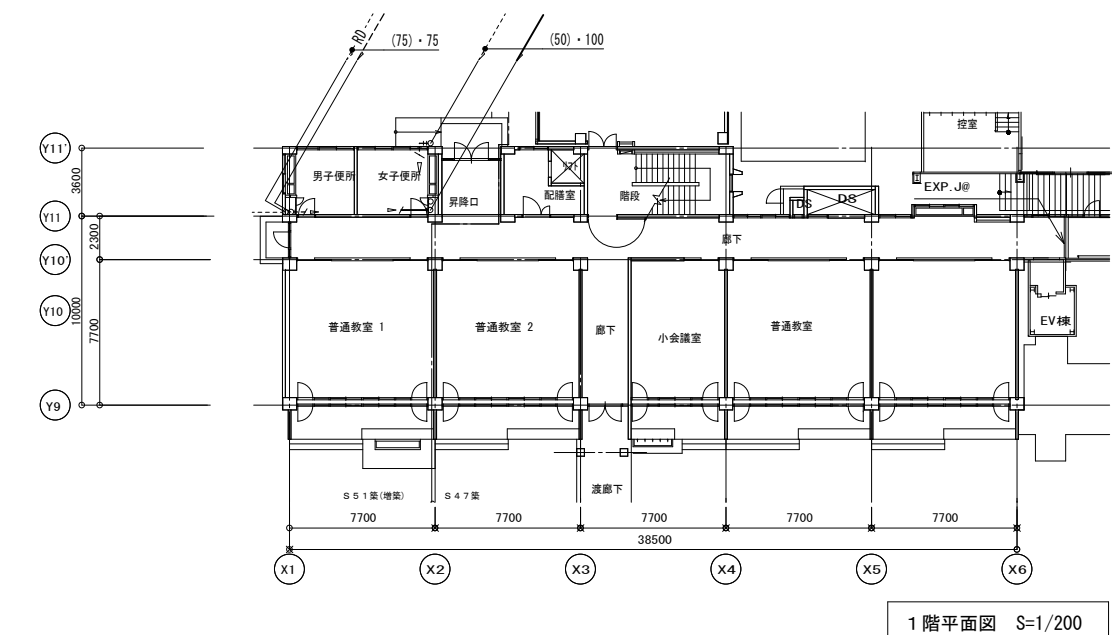
改修後



3階平面図 S=1/200

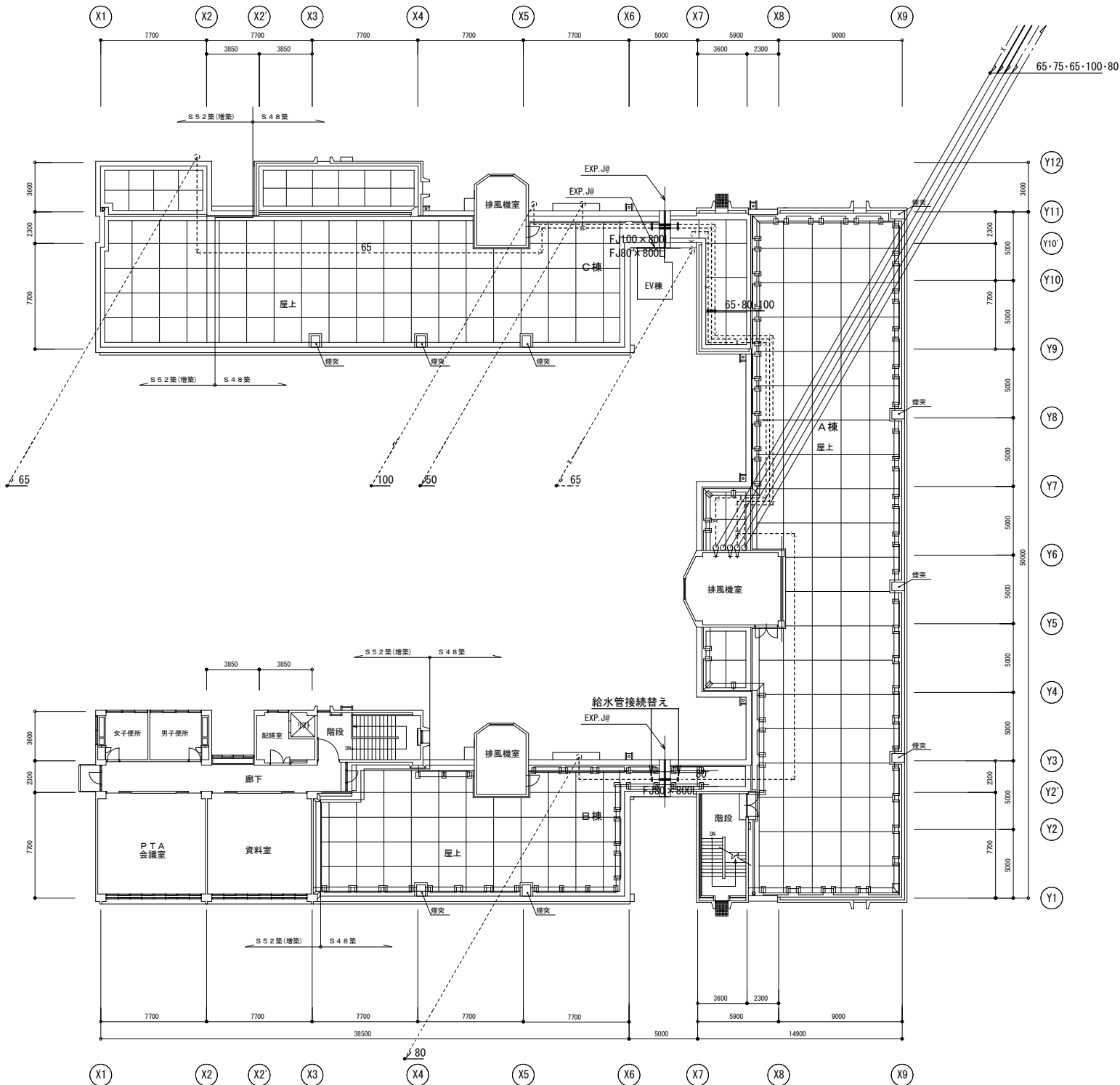


2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200

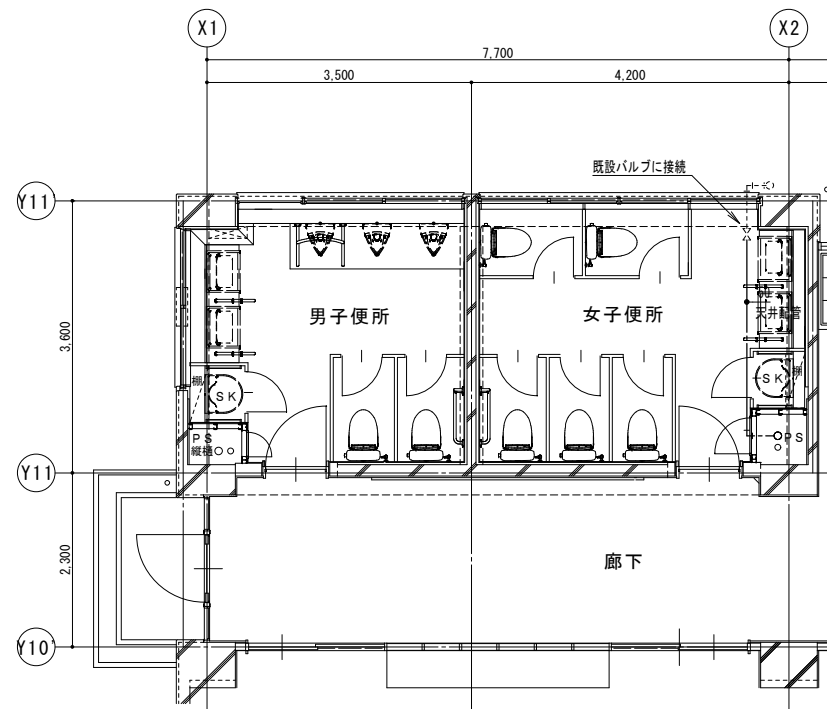
摘要		設計年月日	株式会社金子設計			縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(111)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男			A1:1/200 A3:1/400	黒須小学校校舎便所改修工事	(改修前後) 給排水設備 1・2・3階平面図	M-05



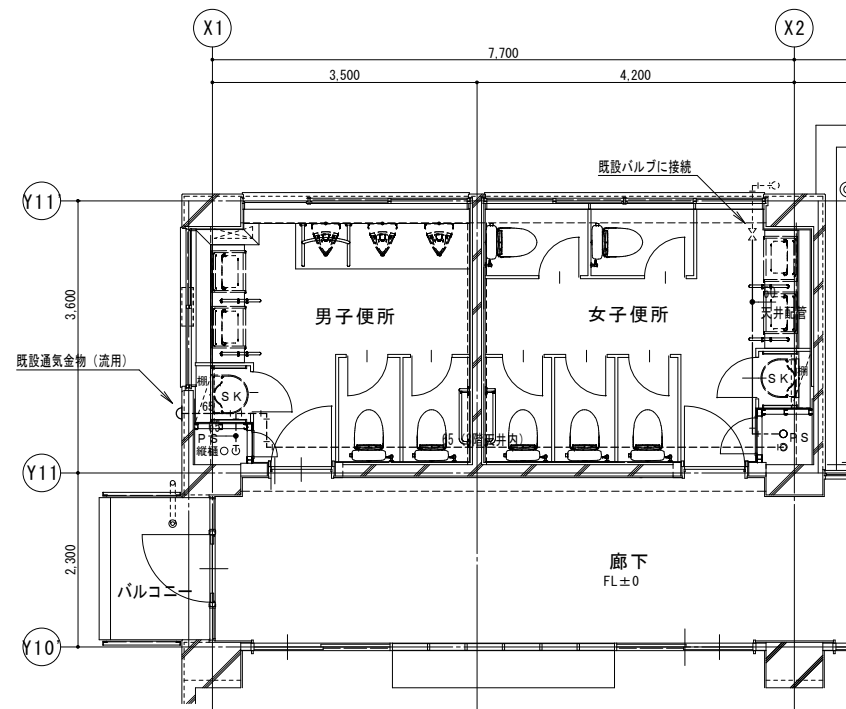
4・R階平面図 S=1/200

* 凡例
----- 破線・細線は既存を示す。

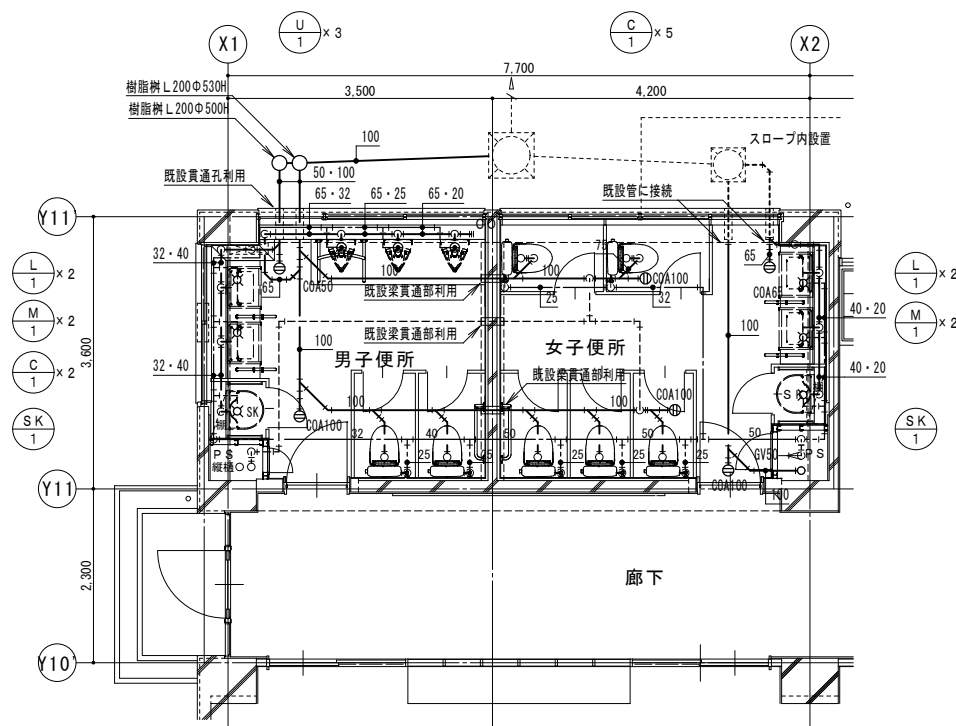
摘要	設計年月日		株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
			事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	会	会	会	A1:1/200 A3:1/400	黒須小学校校舎便所改修工事	改修前 給排水設備 R階平面図	M-06



改修後 C棟1階便所平面詳細図

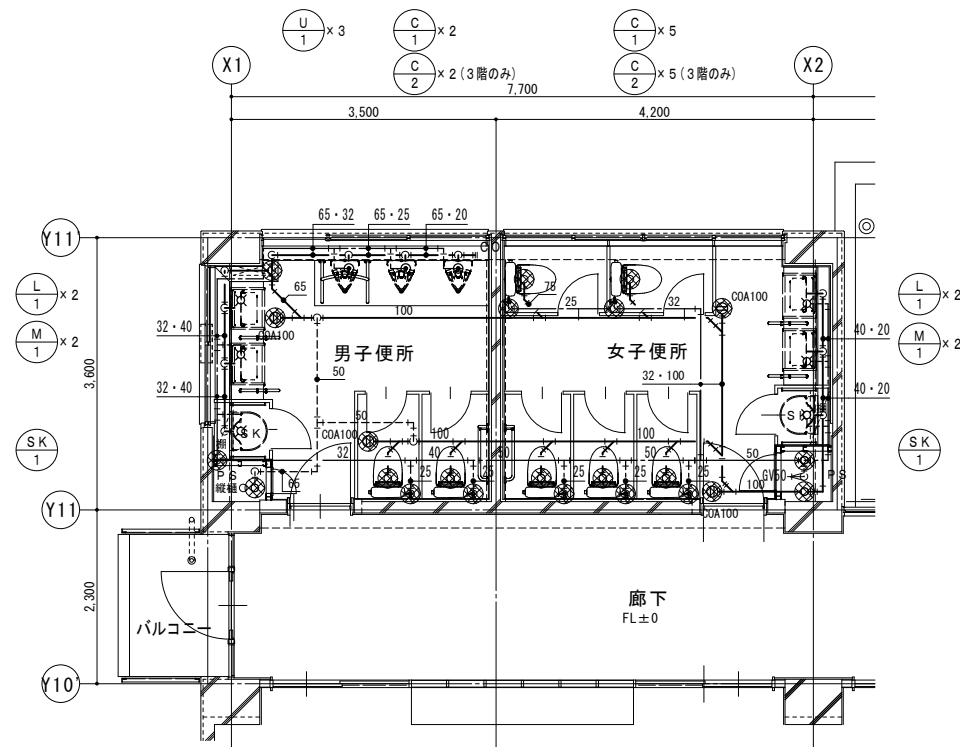


改修後 C棟2・3階便所平面詳細図



改修後 C棟1階便所平面詳細図

※土間コンクリート新補修は建築工事

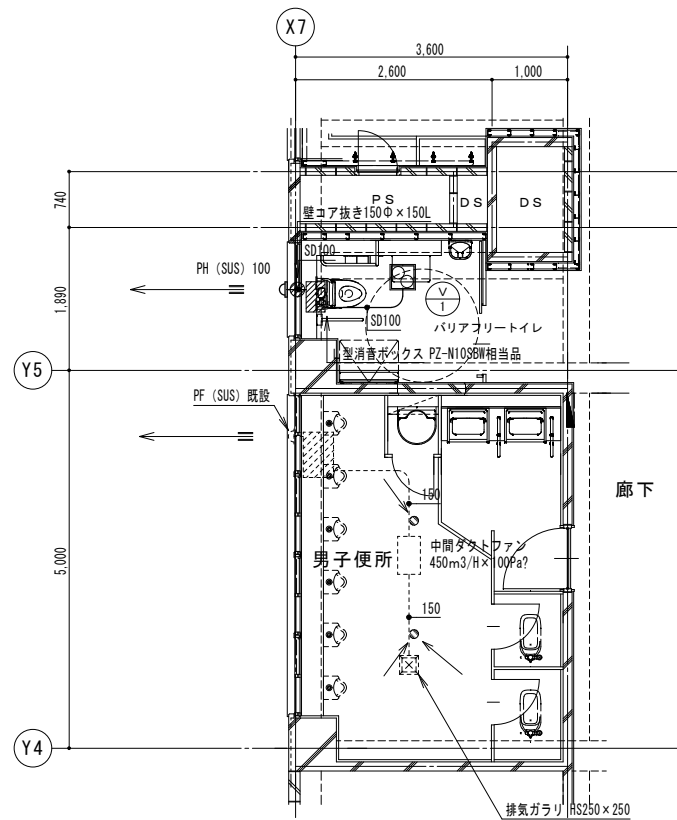


改修後 C棟2・3階便所平面詳細図

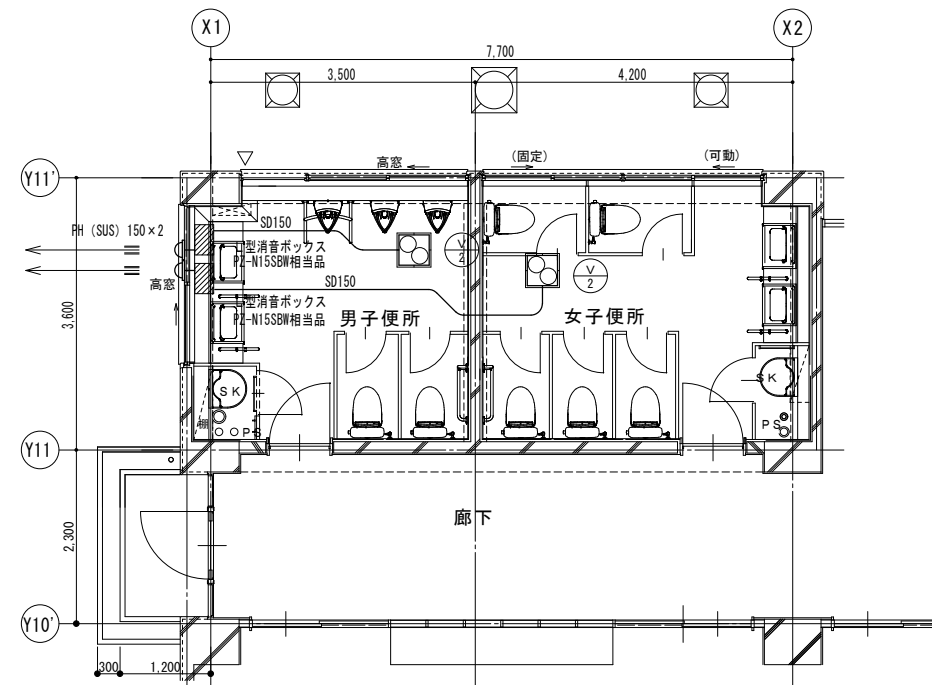
はつり補修は下記を参照のこと

管サイズ	はつり口径サイズ
40・50	75
65・75	100
100	150

凡例
既存スリーブを示す
床はつり補修箇所を示す
壁はつり補修箇所を示す



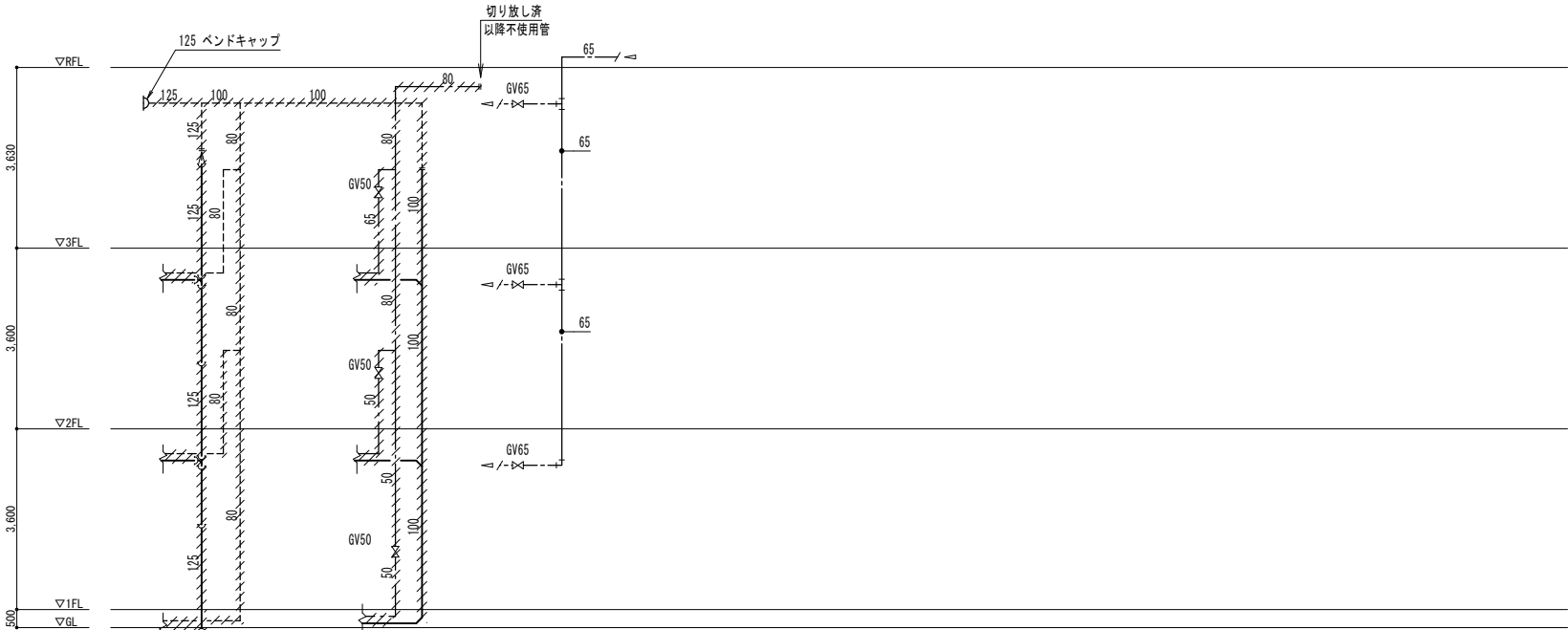
改修後 A 棟 1 階便所平面詳細図



改修後 C 棟 1～3階便所平面詳細図

- ◆ 特記事項
EAダクトは外壁より1mの範囲、OAダクトは全てを0W2Stにて保温すること。
- ◆ 凡例
壁貫通補修

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(111)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	☎	☎	☎	A1:1/50 A3:1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	(改修後)換気設備 便所平面詳細図	M-08



給排水設備 系統図

凡 例

記 号	名 称	備 考
—— — — — —	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（V B）一般
—— — — — —	汚 水 管	排水用鑄鉄管（C I P） 器具接続部は鉛管
—— — — — —	雑 排 水 管	配管用炭素鋼管（S G P）
—— — — — —	通 気 管	配管用炭素鋼管（S G P）1 0 0 A 以上 硬質ポリ塩化ビニル管 7 5 A 以下
—— — — — —	仕 切 弁	J I S 5 K
—— — — — —	水 栓	
—— — — — —	洗 浄 弁	
—— — — — —	床 上 掃 除 口	
—— — — — —	汚 水 枳	塩ビ製小口径枳
—— — — — —	ベ ン ト キ ャ ッ プ	ステンレス製深型
—— — — — —	ス バ イ ラ ル ダ ク ト	亜鉛鉄板 低圧ダクト 厚さ 0 . 5 mm 以上
—— — — — —	PH（パイプフード）	ステンレス製深型

◆ 凡 例

撤去を示す

（撤去）衛生器具表

名 称	仕 様	A棟1階	C棟1階		C棟2階		C棟3階		合 計
		バリアフリートイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	
和風大便器	FV式 紙巻器 耐火力バー共 他付属品一式	2	3	1	3	1	3	2	15
洋風大便器	ロータンク式 紙巻器 便座 他付属品一式		1	1	1	1	1	1	6
小便器	FV式 ストール型小便器			4		4		4	12
化粧鏡	500×2100		1	1	1	1	1	1	6
化粧鏡	400×2400	1							1
化粧鏡	400×1260	1							1
水栓金具	吐水口回転形横自在水栓	6	3	3	3	3	3	3	24

（撤去）換気設備機器表

記 号	名 称	仕 様	設 置 場 所	台数
	天井ダクト扇	450m3/min×100Pa	C棟1階 トイレ	2
			C棟2階 トイレ	2
			C棟3階 トイレ	2

株 式 会 社 金 子 設 計

事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（11）第577号
管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦 男

総 括

設 計

製 図

縮 尺

工 事 名 称

図 名

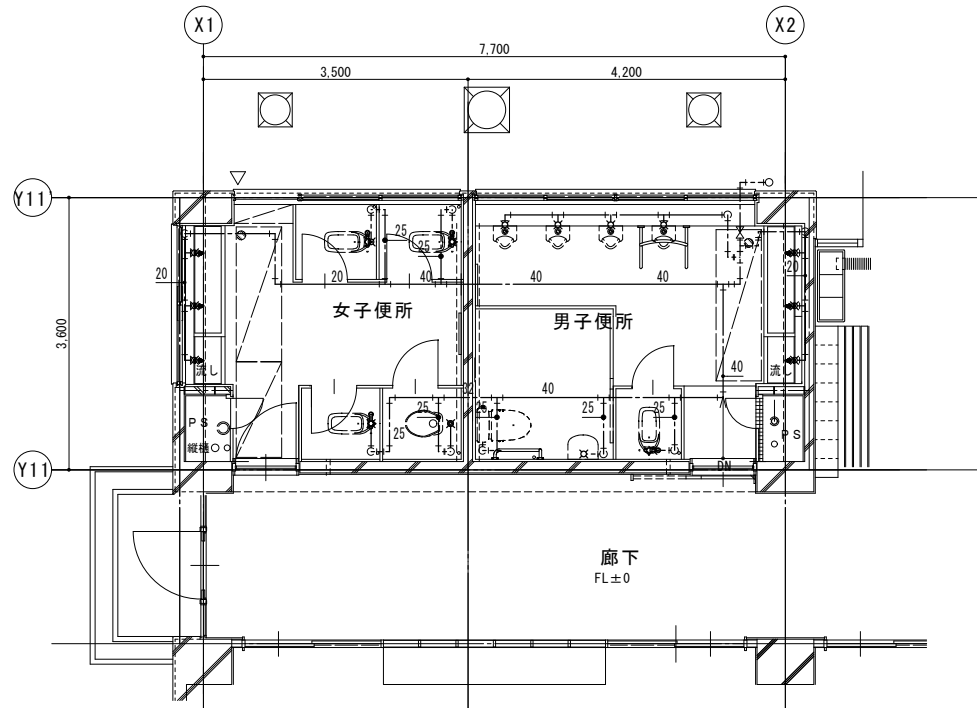
図 面 番 号

黒須小学校校舎便所改修工事

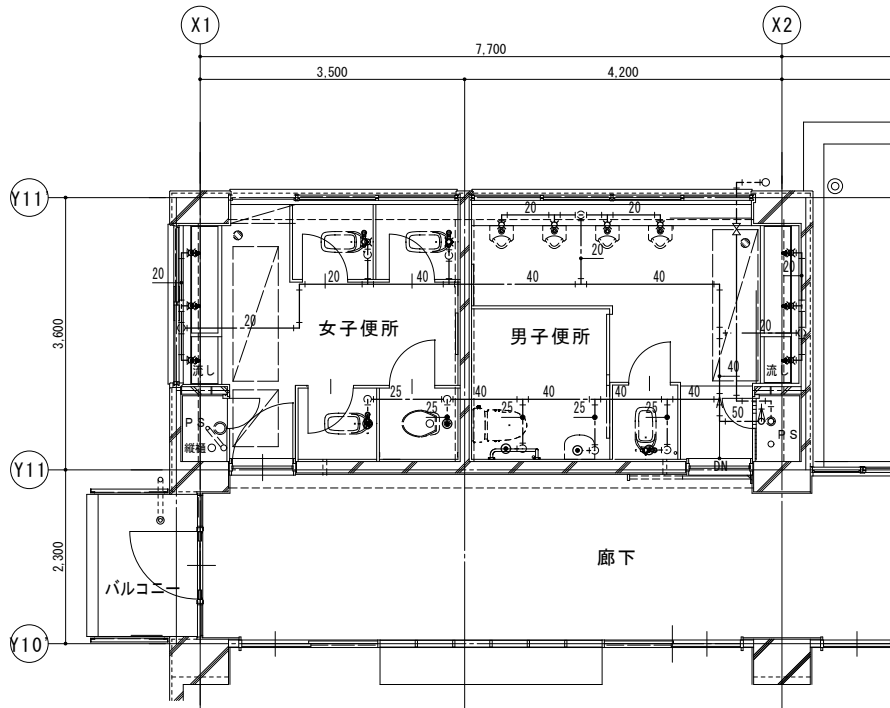
（改修前）給排水設備系統図
器具表・機器表

M-09

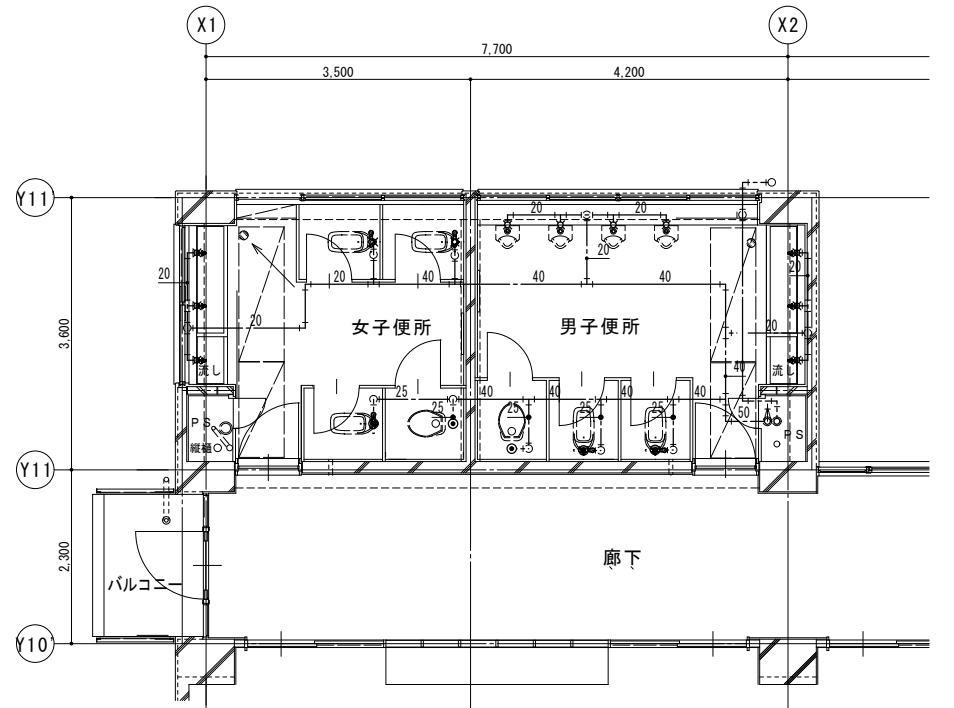
給水



改修前 C棟1階便所平面詳細図

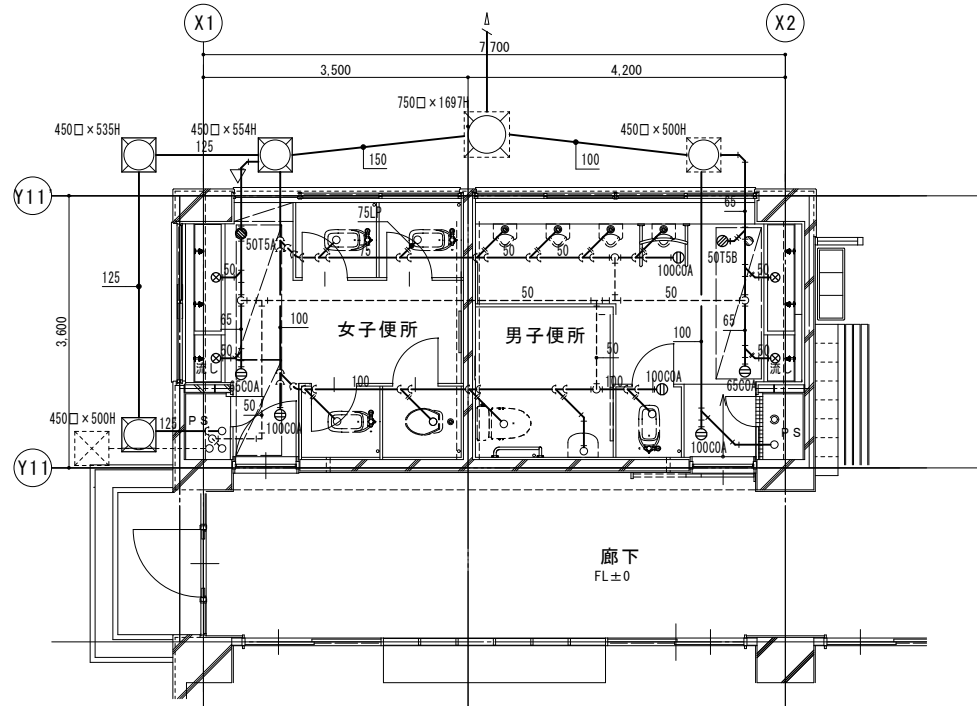


改修前 C棟2階便所平面詳細図

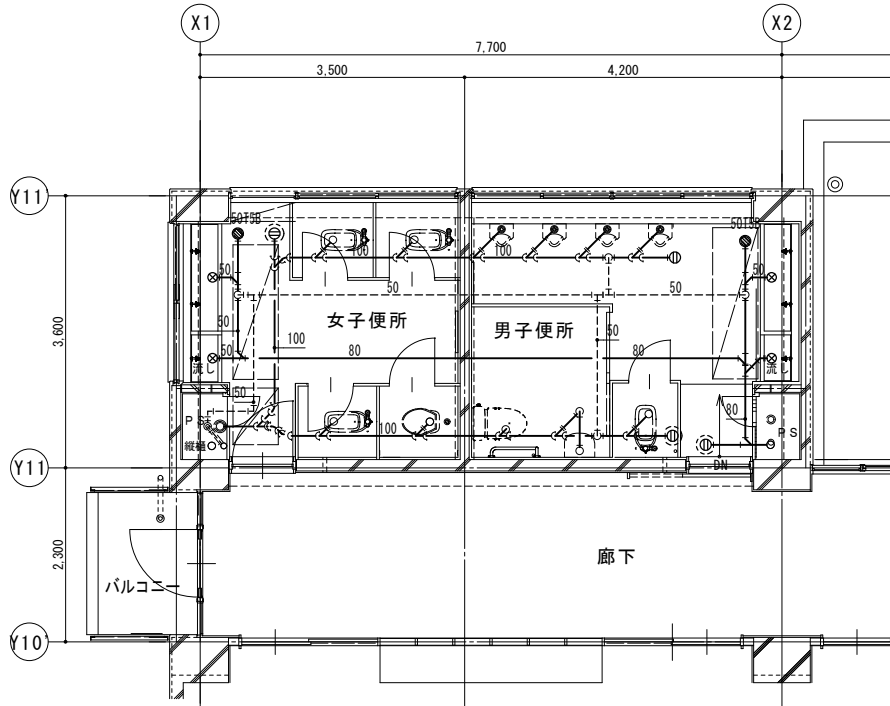


改修前 C棟3階便所平面詳細図

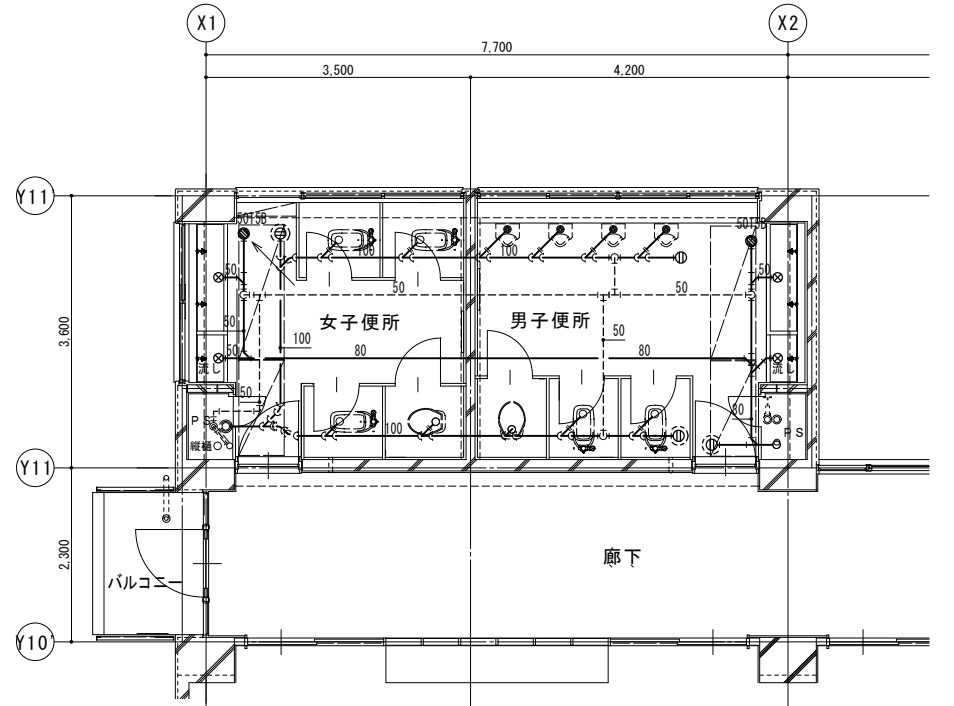
排水



改修前 C棟1階便所平面詳細図



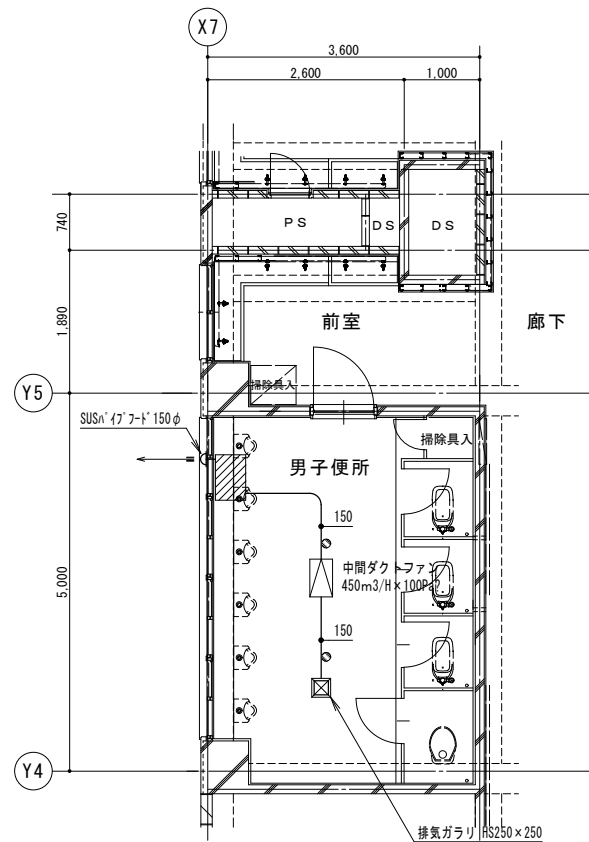
改修前 C棟2階便所平面詳細図



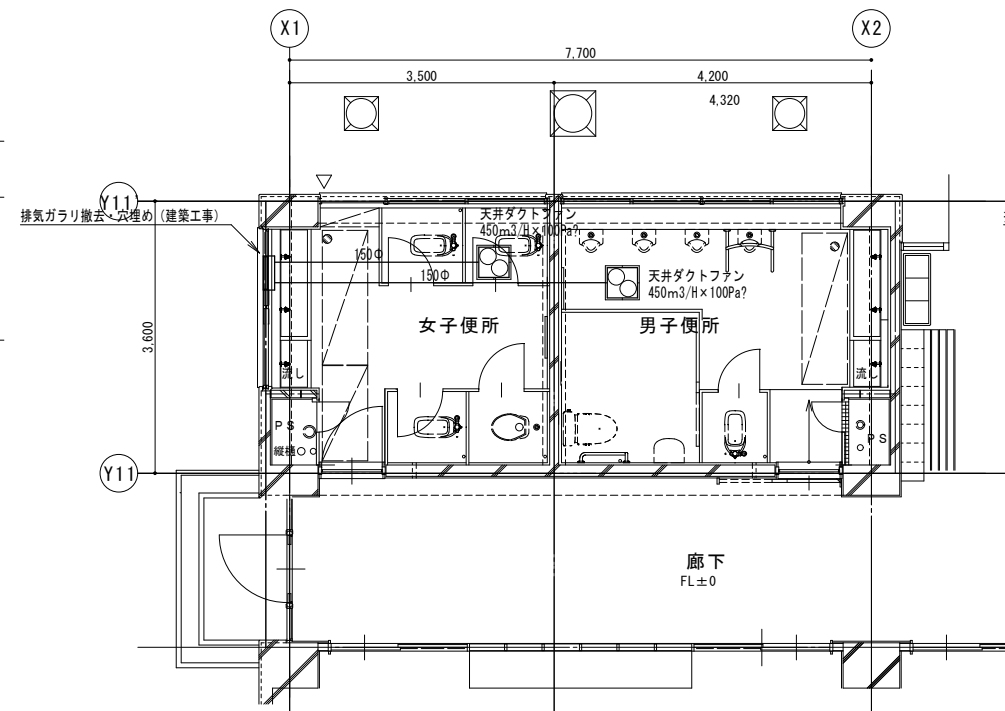
改修前 C棟3階便所平面詳細図

- ◆ 特記事項
- 特記無き配管はスラブ下配管とする
- 点線部分を除く図示配管・機器類は撤去とする

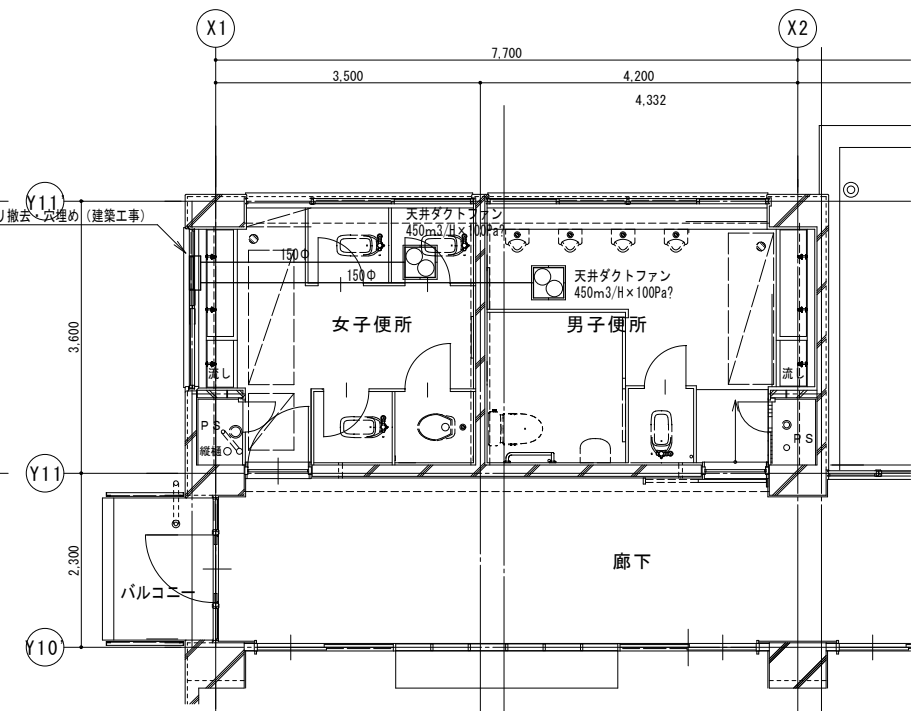
摘 要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(111)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	㊦	㊦	㊦	A1:1/50 A3:1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	(改修前)給排水設備 便所平面詳細図	M-10



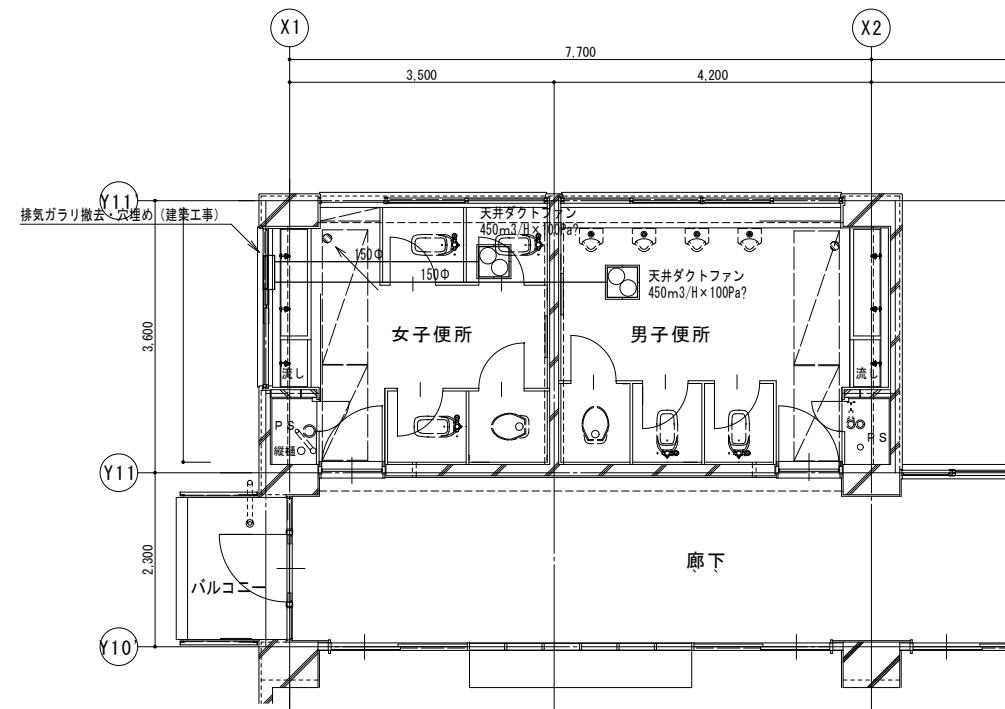
改修前 A棟1階便所平面詳細図



改修前 C棟1階便所平面詳細図



改修前 C棟2階便所平面詳細図

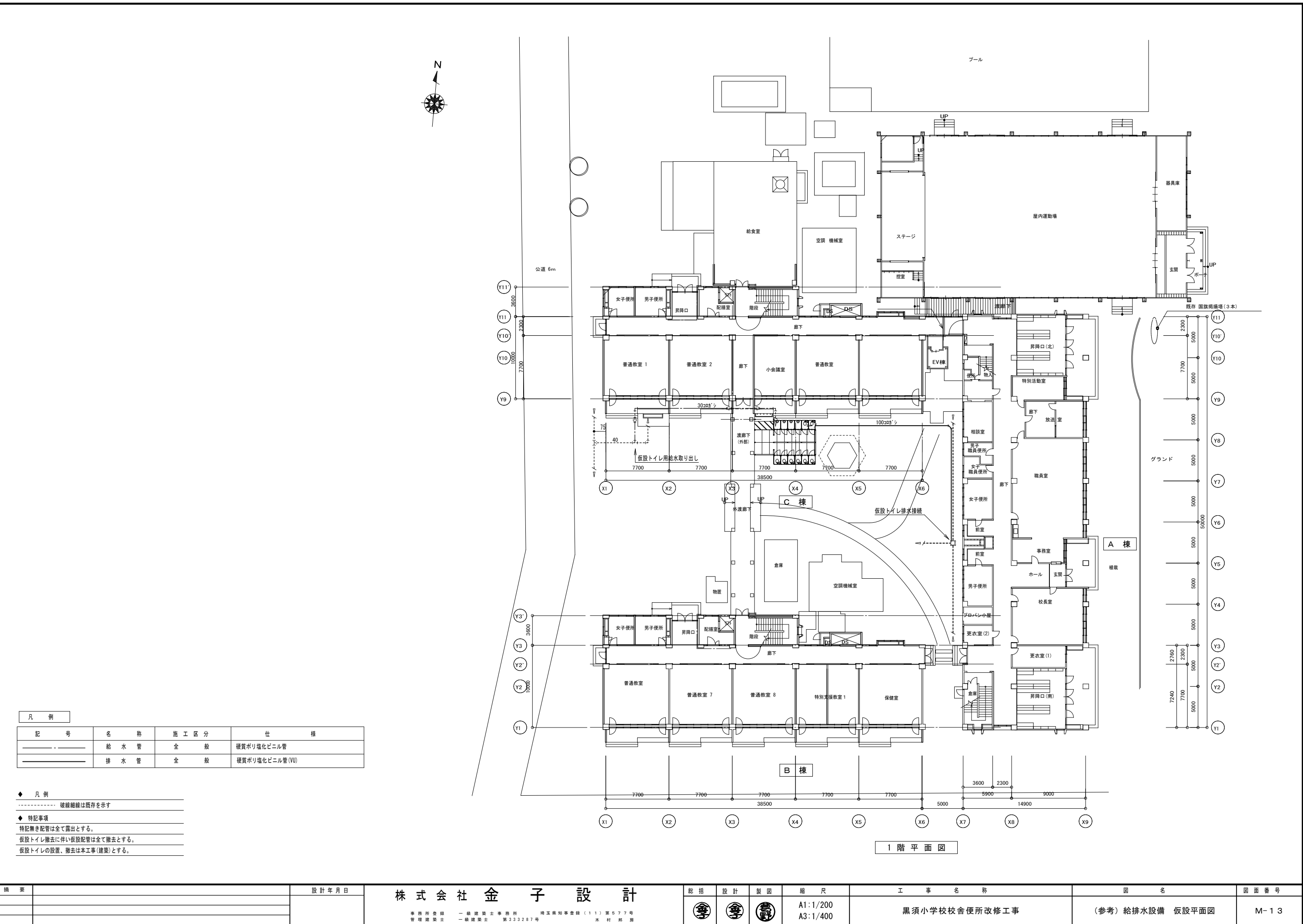


改修前 C棟3階便所平面詳細図

- ◆ 特記事項
特記無き図示ダクト類・機器は撤去とする
- ◆ 凡例
- 排風機（仕様は撤去機器表を参照）
 - 吸込口200φ
 - 防火ダンパー
 - スパイラルダクト
 - パイプフード

摘要	設計年月日	株式会社金子設計	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(11)第577号 管理建築士 一級建築士 第333287号 木村 邦男	☑	☑	☑	A1:1/50 A3:1/100	黒須小学校校舎便所改修工事	(改修前)換気設備 便所平面詳細図	M-11





摘 要		設 計 年 月 日		株 式 会 社 金 子 設 計	総 括	設 計	製 図	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
				事 務 所 登 録 一 級 建 築 士 事 務 所 一 級 建 築 士 第 333287 号	埼玉県知事登録(11)第577号	木 村 邦 男		A1:1/200 A3:1/400	黒須小学校校舎便所改修工事	(参考) 給排水設備 仮設平面図	M-13